

ゴールドマン・サックス
大学受験給付型奨学金

2025年度(最終年度)
報告書



Goldman
Sachs
Gives



NPO法人キッズドア基金



認定NPO法人キッズドア

2026年7月

【目次】

P3	はじめに
P4~5	応募・支給の概要、受給家庭の状況
P6~8	審査・伴走支援の概要
P9~11	受給生インタビュー、受給生・保護者からの声(抜粋)

添付資料(1)	2025年度受給生アンケート分析・報告	保護者編
添付資料(2)	2025年度受給生アンケート分析・報告	子ども編
添付資料(3)	2022年度(1期生)受給生追跡調査・報告	

はじめに

ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、子どもの貧困問題を長く支援しているゴールドマン・サックス社の、「経済的理由で進学をあきらめないでほしい」という強い思いから、2022年度～2024年度の3年間の計画でスタートし、その後協議の上、2025年まで1年間延長しました。

進学前の経済的支援と受験伴走支援により、経済的に困難なご家庭からの進学を後押しするだけでなく、毎年受験生・保護者へのアンケート調査を実施、その内容をふまえ、進学前の支援の必要性を社会に訴えて参りました。

最終年度・4年目となる2025年度は、**616名に受験応援金(5万円)、530名に入学準備金(10万円)**を支給しました。**4年間累計で、2419名に受験応援金(5万円)、2089名に入学準備金(10万円)、総額約3.3億円の奨学金**を届けることができました。

近年、公的奨学金や民間団体等からの支援拡充もあり、**低所得家庭からの高等教育進学率は、2018年度の40%から2025年度は73%(全世帯平均：85%)へと大幅に改善しています***。

*文部科学省調査。高等教育は大学・短大・専門/専修学校・高等専門学校を含む。
低所得家庭：住民税非課税世帯。

こうした環境の中で、**GS奨学生の大学進学率は80%、専門学校等を含んだ進学率は85%**と、低所得家庭からの大学進学率50%、高等教育進学率73%(2025年度)を大幅に上回る結果となりました。

ここ数年、いくつかの他団体が進学準備に対する支援を開始するなど、社会の変革に対しても一定の成果を残すことができたと自負しております。4年間にわたり、多大なるご支援をいただいたゴールドマン・サックス社に心よりお礼を申し上げます。

NPO法人キッズドア基金・認定NPO法人キッズドア GS奨学金チーム一同

GS奨学金2022-2025年度の成果

支給総額
3.3億円

支給人数合計
2419名

大学進学率:80%
専門学校等進学:5%
浪人:7%

**参考：文部科学省調査：2025年度の低所得家庭(住民税非課税世帯)からの大学進学率:50%、専門学校等進学率：23%。

事業概要(2025年度)

○募集人数：500名

○対象：大学・短大の進学を目指す、高3生・浪人生(1浪まで)

○応募要件：

児童扶養手当受給世帯住民税非課税世帯、生活保護世帯、緊急小口資金貸付または住居確保給付金受給世帯、社会的養護、その他特別な事情がある世帯(実質ひとり親等)

○支援内容：受験応援金5万円、入学準備金10万円、受験伴走支援

○スケジュール

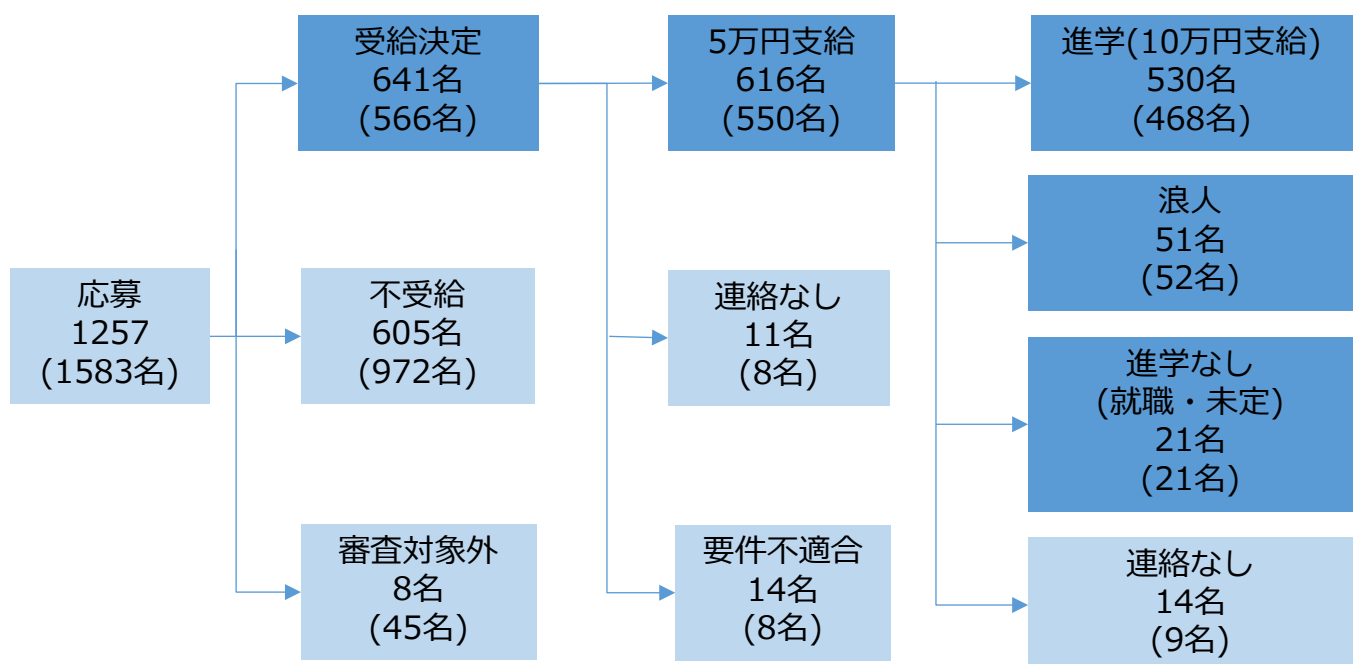
2025年4月1日～5月13日：募集

2025年7月：受験応援金5万円支給

2025年7月～2026年2月：受験情報支援

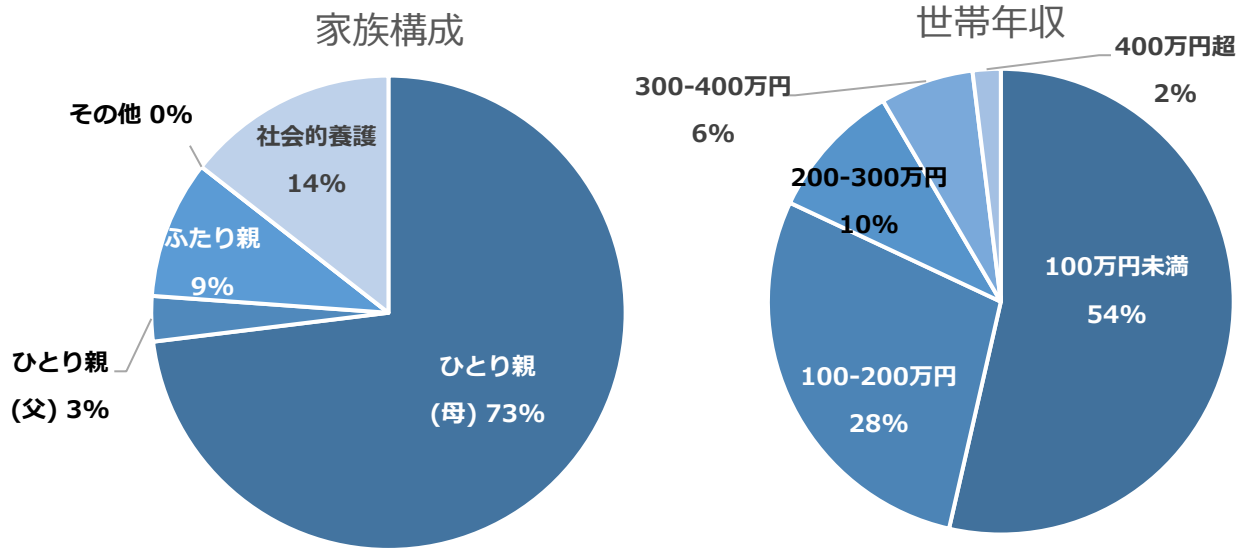
2025年11月～2026年4月：入学準備金10万円支給(合格確認後)

応募者数と受給者数(2025年度)

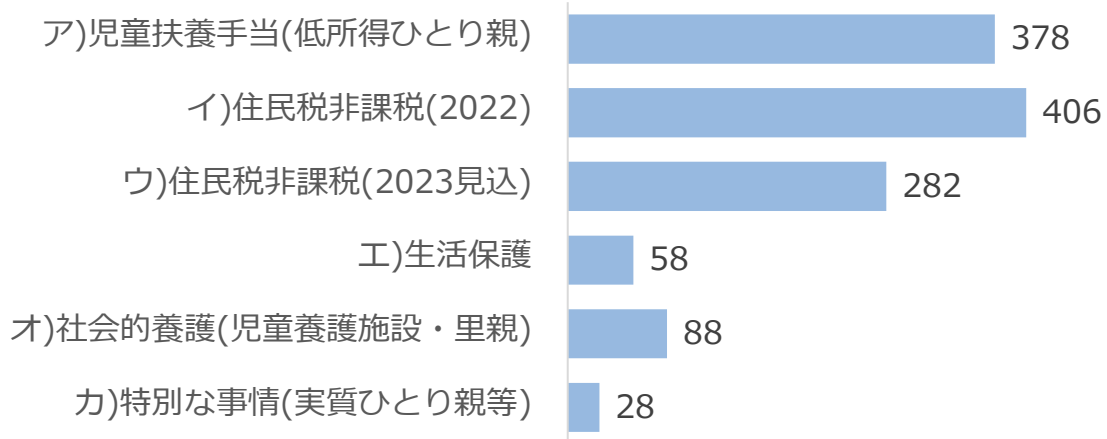


注：（）内の数字は2024年度

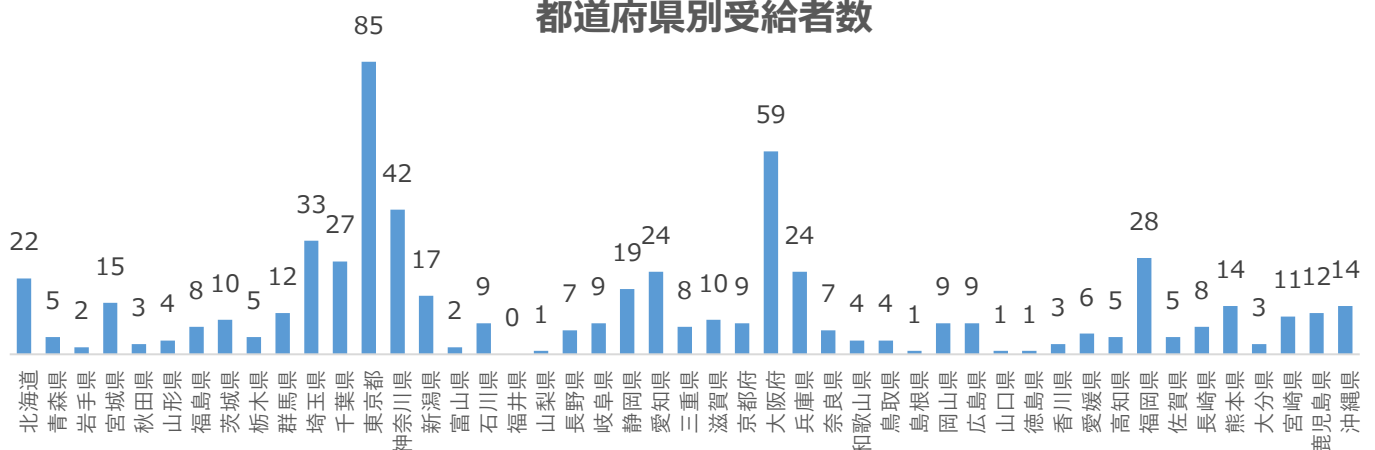
受給家庭(616名)の状況(2025年度)



応募要件別受給者(複数回答可)



都道府県別受給者数



応募者審査・選考

- ①**定量審査**：世帯収入や家庭の状況による定量審査。
 - ②**作文審査**：進学の実意、奨学金の必要性について、GS社ボランティア(GSCTW)、キッズドア理事・担当者により審査。
 - ③**最終審査会にて審議、受給者を決定**
- ＜審査委員＞ 認定NPOキッズドア理事、NPOキッズドア基金理事

【GS社ボランティア(GSCTW) による作文審査】



伴走支援① LINE情報支援(週1回、合計24回)

キッズドア_GS奨学金情報室2025

2025.8.2

みなさん、こんにちは！

今日は【小論文・志望理由書の書き方】についてです。

総合型選抜や学校推薦型選抜等に役立つポイントを整理しているので、興味のある方はご一読ください📖

小論文・志望理由書の書き方

小論文 主な形式と対策

- ① 課題論述型：与えられたテーマについて、自分の経験や社会的な視点等をもとに、自分なりの意見をまとめる形式
- ② 文章読解型：与えられた課題文を読み解いて正確に要約したり、自分の意見を述べる形式
- ③ 資料分析型：グラフや統計データ等から情報を読み取り、分析した内容や自分の意見を述べる形式

★対策ポイント★

- 過去問を必ず確認
→大学のHPで公開されていることが多いので、要チェック。
- 本書と同じ条件で練習
→制限時間や文字数などの条件を揃えて取り組もう。
- 書いた文章は必ず添削してもらおう
→自分では気が付きにくい改善点も見つけることができます。

共通テスト直前準備

試験直前～当日の過ごし方

- **よく寝よう。**
・前日はしっかりと休むことが大切。
・緊張して眠れなくても気にしすぎずに、横になって目を閉じるだけでも休息になります。
- **一夜漬けはNG。慣れた参考書で復習を。**
・新しい参考書に手を出すのは避け、試験会場に持ち込むなら普段使っている教材がおすすめです。
- **試験会場到着は1時間前を目安に。**
・前日までに交通経路を確認。
・特に英語リスニングは遅刻すると入室できないので、時間に余裕をもって行動を。

【試験前日の持ち物チェック】

- 受験票（マイページから各自で印刷）
- 身分証明書（学生証、マイナンバーカード等）
- 筆記用具（シャープペンだけでなく鉛筆も、消しゴムも忘れずに）
- 時計（必ず持参。会場によっては時計が見えないことも）
- 交通費（少し余裕を持った金額を準備）
- 軽食（試験の合間に食べられるものがあると安心）

【試験中に気をつけること】

- 氏名・科目のマークは正しくできているか。
- 自己採点用に問題用紙に回答を転記することも忘れずに。
- マーク防止には、大問ごとに先頭をランダムに確認するのも有効。

★自己採点後の出願検討には、河合塾「バンザイシステム」、東進「共通テスト判定システム」（要事前登録）がおすすめです。

これまでの努力を発揮することができるよう、心から応援しています！

伴走支援② 応援バック

◆第一弾(7月)：進学ガイドと文具



◆GS社ボランティアによるパッキング GSCTW@キッズドアオフィス



◆第二弾(11月)：進学ガイドと文具



伴走支援③ イベント・他の奨学金案内

STEP FOR TOMORROW 2025
毎日ちゅーと不安な
女子高校生のためのプログラム

あなただけの未来を、ここから見つけよう

「未来、何がいんだらう...」
「自分に自信がなくて、一歩踏み出せない...」
もしや、そう思っているなら、
「STEP FOR TOMORROW (ステップ フォー トゥモロー)」は、
あなたにぴったりのプログラムです。

ここは、安心して自分のことを話せる場所で、
あなたの能力を見つけ、それを活かすためのヒントや
スキルを身につけます。
色々な先輩で自分の道を切り拓いている
素敵な女性たちとの出会いが、
あなたの世界を広げてくれるはずです。

自分自身を知り、多様な考え方に触れることで、きっと
「これだ!」と思える夢や、次の一歩が見えてくるでしょう。
私たちと一緒に、新しい一歩を踏み出してみませんか?

参加費 無料
9.14 23:59まで
プログラムの詳細は「ワンダー」をご覧ください

未来を描く
第一歩

【DAISO財団 給付型奨学金】

- 給付期間：2026年4月～、最長4年間
- 給付金額：月5万円（年額60万円）
- 対象者：2026年4月に日本国内の大学に入学する新1年生（2026年4月1日時点で20歳以下。4年制の学部・学科に限る）
- 募集人数：55名程度
- 募集期間：2025年8/15～10/15

■ 募集要項詳細・申込方法：

申込は財団HPから。

🔔 詳細については財団の募集要項を必ずご確認ください。

↓↓ 募集要項 ↓↓

<https://daiso-zaidan.or.jp/recruiting/>

募集要項 | DAISO財団（ダイソー財団） | 返済義務のない大...
DAISO財団奨学金の募集要項を掲載しております。当財団ホーム
ページ上にて必要情報の入力、申請書類の登録を行ってください。...



伴走支援④ フェアウェルパーティー

受験を終えた受給生約50名が参加し、進学のお祝いと新生活を励ますフェアウェル・パーティーを都内会場で開催しました。

GS奨学金1期生の大学生が司会進行し、お祝いのメッセージ、進学後の奨学金情報とエッセイの書き方、グループに分かれて食事を懇談、最後はすっかり仲良く打ち解けて、楽しい時間を過ごしました。



KIDSDOOR
認定NPO キッズドア

外部転載禁止

新大学1年生のための 奨学金情報

2025年度卒業生向け

キッズドア高校生情報室

Copyright(c)2025 NPO Kidsdoor

外部転載不可

奨学金論文 書き方のポイント

2025年3月18日

Copyright(c)2024 NPO Kidsdoor

受給生インタビュー

2025年度受給生3名と、2024年度受給生で大学入学後1年経った卒業生1名に、GS奨学金がどのように進学の後押しになったか、大学生活への抱負についてインタビューをしました。

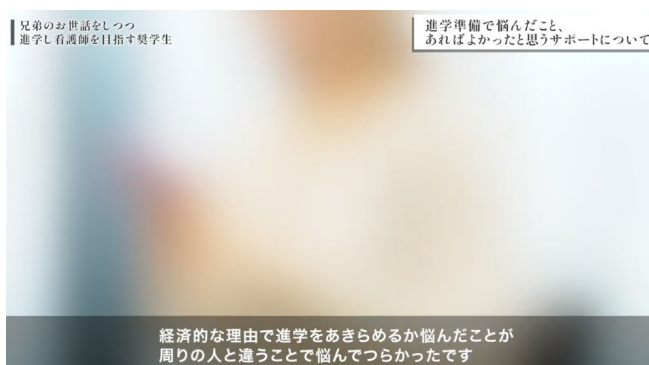
動画はこちらから⇒ <https://youtu.be/3d8AyXJfRk>



地方公立高から首都圏の総合型受験で情報が限られていました。この奨学金のおかげで合格できたといっても過言ではないです。地方の同じような境遇の学生に還元したいです。



ひとり親家庭で要介護の祖父・障害のある兄弟のお世話もあり、大学進学で家族の負担が増えるのでは、と悩んでいました。奨学金で、自分は生きていいのだ、価値があるのだと思うことができました。



塾に通えず、5人兄弟の一番上でお世話をするため、限られた時間で集中して勉強しました。経済的に進学をあきらめるか、周囲と違うことに悩んでいましたが、受験をして看護の道に進学します。将来は、患者さんに信頼される看護師になりたいです。



就職も考えていましたが、この奨学金で大学進学に決めました。大学では心からやりたかったことができて、やりがいがあって楽しいです。(キッズドアの活動にスタッフとして参加して)、経済面等の同じ悩みを共有できる仲間が大事と感じました。(卒業生)

コメント抜粋・保護者

受験で受験料や参考書代や入学金やたくさんお金がかかり大変な時にご支援していただき本当に助かりました。親子で感謝の気持ちでいっぱいです。

ほかの奨学金は入学後から支給のため、入学金と前期授業料支払が大変です。推薦入学は12月には決まるので、御社のような早めの支給は有難いです。

私は生活保護を受給しているため、奨学金がなければ子どもは大学に進学することはできませんでした。家庭の環境によって、子どもが夢を諦めないようにするためにも、この先も奨学金の支援を続けていただきたいと思います。

ご支援ありがとうございました。日々の生活で苦しい中、受験をすべきなのか何校も受験していいのか、など子どもなりの苦悩があったと聞きました。ご支援のお陰で参考書を増やしたり受験する大学を増やすことができ、チャレンジする前向きな気持ちが芽生えたことと思います。

奨学金の給付だけでなく、メッセージが送られてきたことが励みになりました。人に支えられているから頑張るんだ、と子どもたちの心の支えにもなっていたと感じます。



奨学金に選ばれたことで本人に自信がついたように思えます。お金以外にも文房具が届いたり入試などのお役立ち情報が届いたりと至れり尽くせりで驚きと感謝の気持ちでいっぱいでした。母子家庭で経済的に不安が大きい中、素晴らしいご支援を本当にありがとうございました。

支援金をいただけたことで、受験校選びに少し余裕ができました。文具などの支給もワクワクしながら開封し、親子で笑顔になりました。これからもたくさんの家庭を支えてあげてください。

奨学金のおかげで受験費用面で大変助かりました。奨学金がなければ受験校を減らしたり諦めていたと思います。

今回を含め、施設の3名の児童がゴールドマンサックスの奨学金に助けて頂いています。親からの支援がない中、大学進学をあきらめず取り組むことが出来、感謝しております。

学校とアルバイトの両立が非常に厳しい状況で、ご支援いただけることは子どもにとってもとても励みになっています。これからも社会的養護の子どもたちに多くの支援をいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

金銭面だけでなく文房具やキットカットなど応援グッズとメッセージがとても心に響きました。単なるお金だけでなく応援してくれる、そんな存在に救われました。娘とありがたいねと感動し、頑張るエネルギーになったのを覚えています。感謝しかありません。そして結果、第一希望にも合格しました。キットカットは受験日に一包ずつもっていった。

コメント抜粋・受験生

受験期間に大学のことを調べれば調べるほど、お金のことで不安が大きくなり、本当に進学してもいいのかと悩んだこともありました。ですが、貴社のご支援のお陰で安心して受験に取り組むことができました。お陰様で春から夢に向かって進むことができます。

文房具やカイロといった物だけでなく、受験における心構えや学習のアドバイスなどの情報など様々なご支援をいただいたことで、1年を通して受験勉強に集中することができました。

いただいたお金は、受験費用と、前期授業料の一部に充てさせていただきました。志望校に進学できることになり、嬉しいです！

おかげさまで、受験料の支払い、入学式用のスーツを無事購入する事ができました。大学で自分の研究したい分野を学べる事がとても楽しみです。

ご支援のおかげで大学進学に対する不安が軽くなり、勉強により集中して取り組むことができました。

受験準備金と入学準備金だけでなく、文房具やノート、カイロ、キットカットなどの支援、そして合格を応援するメッセージに大変支えられ、勇気を貰いました。何度も大学進学を諦めて就職することを考えていましたが、諦めずに続けてきて本当に良かったと思います。大学に進学できることが本当に嬉しいです。今後社会に貢献できる人材になれるよう、大学でも勉強に励みます。

安心してして受験に臨めた事に感謝します。通塾しないで進学する人は少なく不安でしたが受験料の心配がないことで勉強を頑張ることが出来ました。

受験料や、現地までの旅費等、支援金があるという強みがあった。すべては賄う事はできなかったが、金銭的な負担が、心理面でも軽減することができた

LINEで送られてくる奨学金の情報や受験の乗り越え方などはとても参考になりました。

いただいたカイロをお守りとして常備していたのですが試験当日の会場がとても寒く、大変役に立ちました。



保護者・受験生より要望

大学受験にこんなにお金が必要だと思わず…物価高もあり、もう少し金額を増やしてほしいです。

大学に入っても引き続きサポートをしていただけるととても嬉しく思います。

大学生対象の給付型奨学金は多いのですが、今後も専門学校進学でも給付の継続をお願いしたいです。

普通家庭の情報が多かったため、里親家庭や児童養護施設に対する情報なども配信してもいいのではないかと思います。

国の給付型奨学金の金額が、ずっと変わらないままで、今の経済に合っていないから増額するように大人たちからいってほしいです。

LINEでの情報発信についてはもっと欲しかったとも思います。(特に金銭に関する情報)

アンケート調査分析・報告
保護者編(2025 年度)
子ども編(2025 年度)
3 年後追跡調査(2022 年度受給生)

認定 NPO 法人キッズドア ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金 受給生アンケート 保護者編

2026 年 5 月 認定 NPO 法人キッズドア

2025 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生の保護者を対象に、2026 年 4 月以降の子どもの進路、受験期間の経験や子どもの変化、保護者自身の気持ち、進学に必要な支援、奨学金の感想等についてアンケート調査を実施した。調査の結果について、以下のとおり報告する。

なおゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、2022 年度に第 1 期生の支給を開始し、2025 年度が 4 期目となる。以下の 2 点においてユニークかつ貴重な奨学金制度である。

- 受験期間と進学前の 2 回に分けて支援金を拠出し、大学進学に向けた学習と受験を支援（受験応援金：5 万円、入学準備金：10 万円）
- 文房具等の応援パックや、学習支援・受験支援につながる情報及びメッセージを定期的にお届け

1. 調査概要

- 目的：困窮家庭の高校生の進路や進学における課題、奨学金や伴走支援の効果等を把握し、奨学金事業をはじめとする支援策の改善・充実につなげること。
- 対象：2025 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生の保護者
- 調査期間：2026 年 3 月 13 日～4 月 13 日
- 回答数：546 件（回収率 89%）

2. 調査結果まとめ

本奨学金を受給する家庭において、大学進学は長らく「当たり前」ではなく「諦めるもの」に近い選択肢であった。世帯年収200万円未満が約7割を占める回答者にとって、受験にかかる費用は家庭財政に多大な負担をもたらすものである。そのような状況でも子どもの進学を支えようと苦労を重ねてきた保護者の実態が、今年度の調査からも明らかとなった。

ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金が果たした役割は、費用の一部を補填することにとどまらない。「諦めずにチャレンジすれば、誰かにSOSは届くんだという希望になった」という言葉に象徴されるように、本奨学金は孤立しがちな困窮家庭に対して社会とのつながりを実感させる効果をもたらしている。93%の保護者が子どもの受験によって前向きな気持ちになったと回答しており、本支援が保護者自身の精神的な安定にも寄与していることが示されている。

受験を経た子どもの変化についても、多くの保護者が具体的に言及している。自ら考えて行動する力がついた、困難を乗り越える粘り強さを得た、周囲への感謝を言葉にするようになった等である。こうした成長は、進学という結果と並んで保護者にとって大きな意義を持つものとして語られている。「困窮から抜け出す希望を持てた」という声も複数寄せられており、一人の子どもの受験が家庭全体の将来への見通しを変えうるものが、本調査においても示された。今後もこのような支援が継続・拡充されることへの期待は、保護者からも強く述べられている。

- アンケート回答者の家庭は、年収 200 万円未満が約 7 割を占める。
 - 世帯年収は「100 万円未満」が 42%、「100～200 万円」が 30%、「200～300 万円」が 18%。
- 受験や進学費用の負担は大きい。
 - 46%の家庭が、自費で有料の塾や予備校を利用している。年間費用は、「30-50 万円未満」が 26%と最も多く、「50-100 万円未満」が 24%、「10-30 万円未満」が 21%と続く。
 - 進学準備にかかった費用は「10-30 万円未満」が 33%で最多。
 - 入学金の調達方法は、「親が準備した自己資金（預貯金等）」が 57%と最も多く、「子どもが準備した自己資金（アルバイト等）」が 17%で 2 番目に多かった。
- 87%の保護者が、家庭の経済状況が子どもの進学に影響を与えたと認識している。
 - 家庭の経済状況により、「受験学校数を減らした」という回答が 45%、「塾・予備校に通わなかった、減らした」が 40%。
 - 受験した学校数は、「1 校（推薦含む）」が 48%と最多であった。
- ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、想定通り受験料や学習教材、入学金等に活用されている。
 - 受験応援金（5 万円）は、55%が「受験料」、34%が「参考書、テキスト」に使用されている。
 - 入学準備金（10 万円）は、47%が「進学先の入学金・学費」に使用。
- 93%の保護者が、子どもの受験によって前向きな気持ちになったと回答。
 - 「子どもが受験をしたことで前向きな気持ちになったか」という問いに対し、68%が「とてもそう思う」、25%が「まあそう思う」と回答。
 - 「子どもが受験をしたことで、不安を感じたり気持ちが落ち込むことが減った」という保護者が 64%、「自身や家庭によい影響があった」という保護者は 92%にのぼった。
- 支援企業のゴールドマン・サックスへは、本奨学金のおかげで受験や進学ができたことへの感謝の気持ちが多く寄せられている。
 - 「本当に苦しかったので、本当に学びたいと思っても、誰も助けてはくれない世の中だと絶望していました。1 人で何とかしないと。今回支援をいただけたことで、諦めずにチャレンジすれば、誰かに SOS は届くんだという希望になりました」といったメッセージが見られる。
 - 今後も子ども達のために支援を続けてほしいという声も複数見られた。

3. アンケート結果概要

3.1 家庭の状況

2025 年の世帯年収は、「100 万円未満」(42%)、「100～200 万円未満」(30%)が多く、年収 200 万円未満が約 7 割を占める。さらに、「200～300 万円」(18%) も合わせると、年収 300 万円未満が 9 割となっている。自身と子どもを含む同居人数は、「3 人」(34%) が最も多く、「社会的養護」は 13%であった。

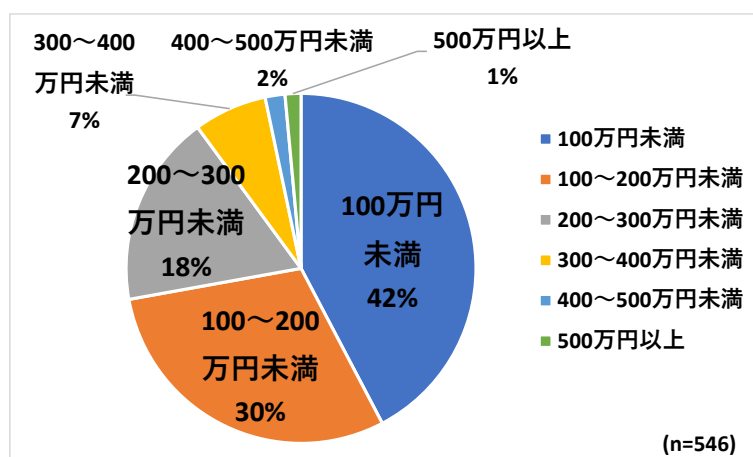


図 1 2025 年の世帯年収

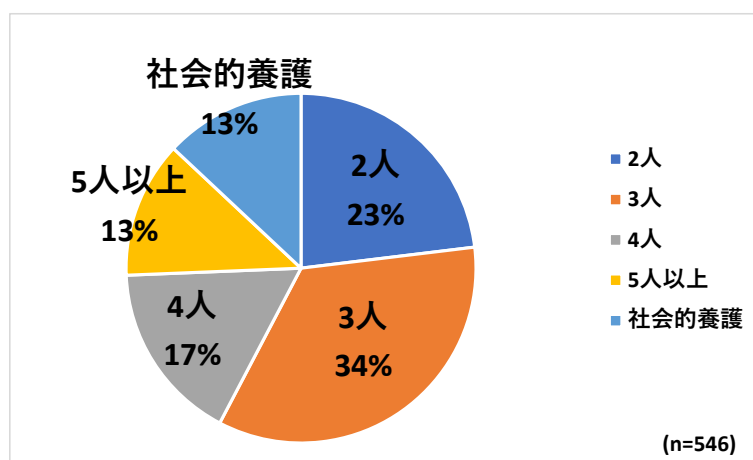


図 2 自身と子どもを含む同居人数

3.2 受験と 2026 年 4 月以降の進路

「子どもが受験をしたか」との質問には 98%が「はい」と回答している。「いいえ」(2%)を選択した回答者の子どもが受験をしなかった理由としては、受験費用を準備できなかったこと、進学より就職が合っていると判断したことなどが挙げられている。

2026 年 4 月以降の子どもの進路としては、「大学」(82%) が約 8 割を占め、「短期大学・3 年制大学」(2%)・「専門学校」(5%) と合わせると約 9 割が進学という結果となった。決定した進学先の受験方法では、「一般選抜」が 45%と最も多く、「総合型選抜 (AO 入試)」(22%)、「学校推薦型」(21%)が続いている。受験した学校数は「1 校 (推薦含む)」(48%) が約半数と最多であった。

経済的理由による子どもの進学への影響としては、「受験学校数を減らした」(45%)、「塾・予備校に通わなかった、減らした」(40%) が上位に挙げられた。「進学のために子どもがアルバイトを始めたり、増やしたりした」(22%) との回答も約 2 割あった。「影響はない」との回答は 13%であった。

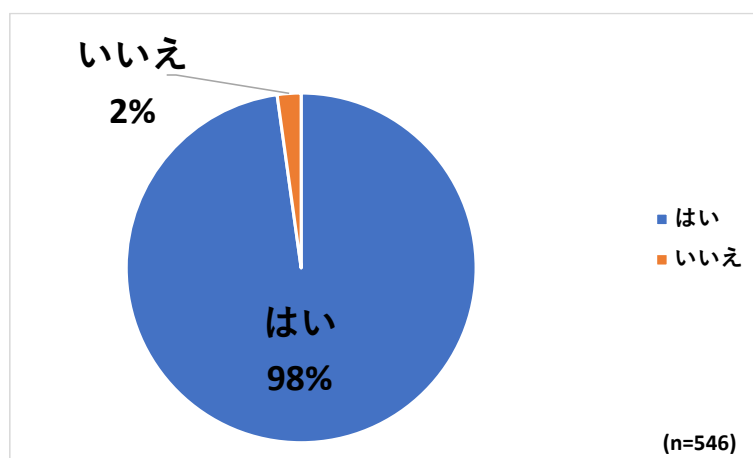


図 3 子どもが受験をしたか

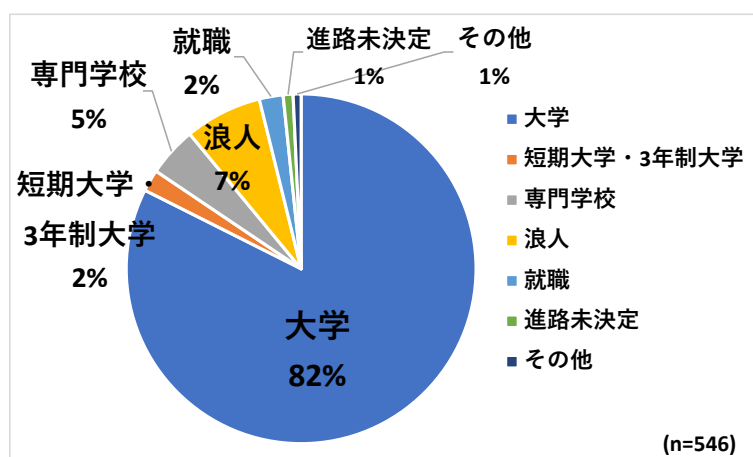


図 4 2026 年 4 月以降の子どもの進路

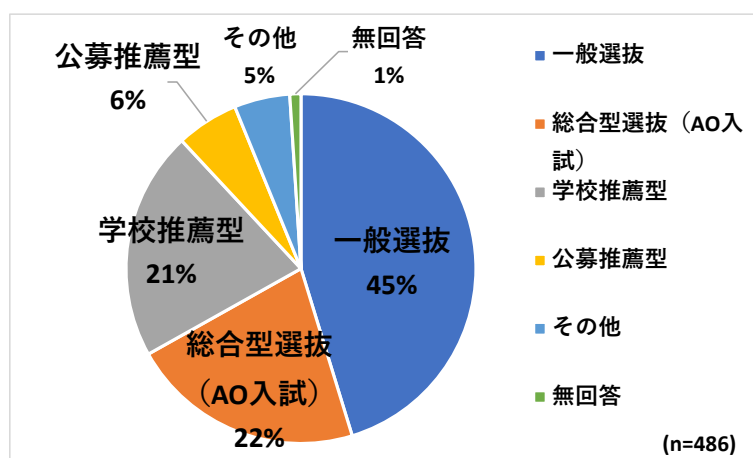


図 5 決定した進学先の受験方法¹

¹ 2026 年度の子どもの進路として「大学」「短期大学・3 年制大学」「専門学校」を選択した回答者が対象。

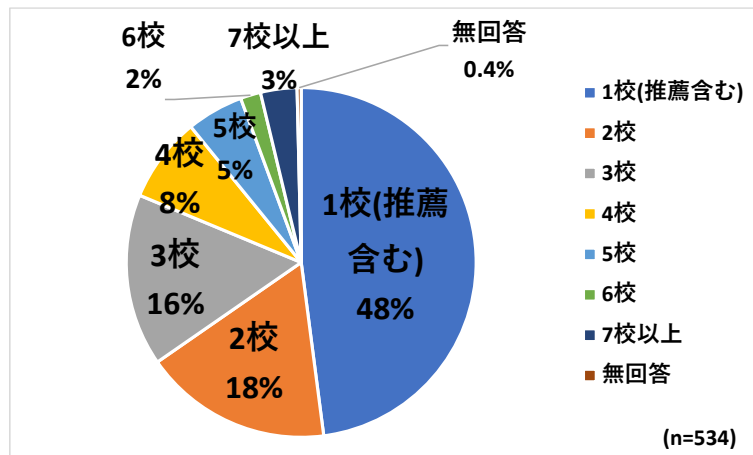


図 6 受験した学校数²

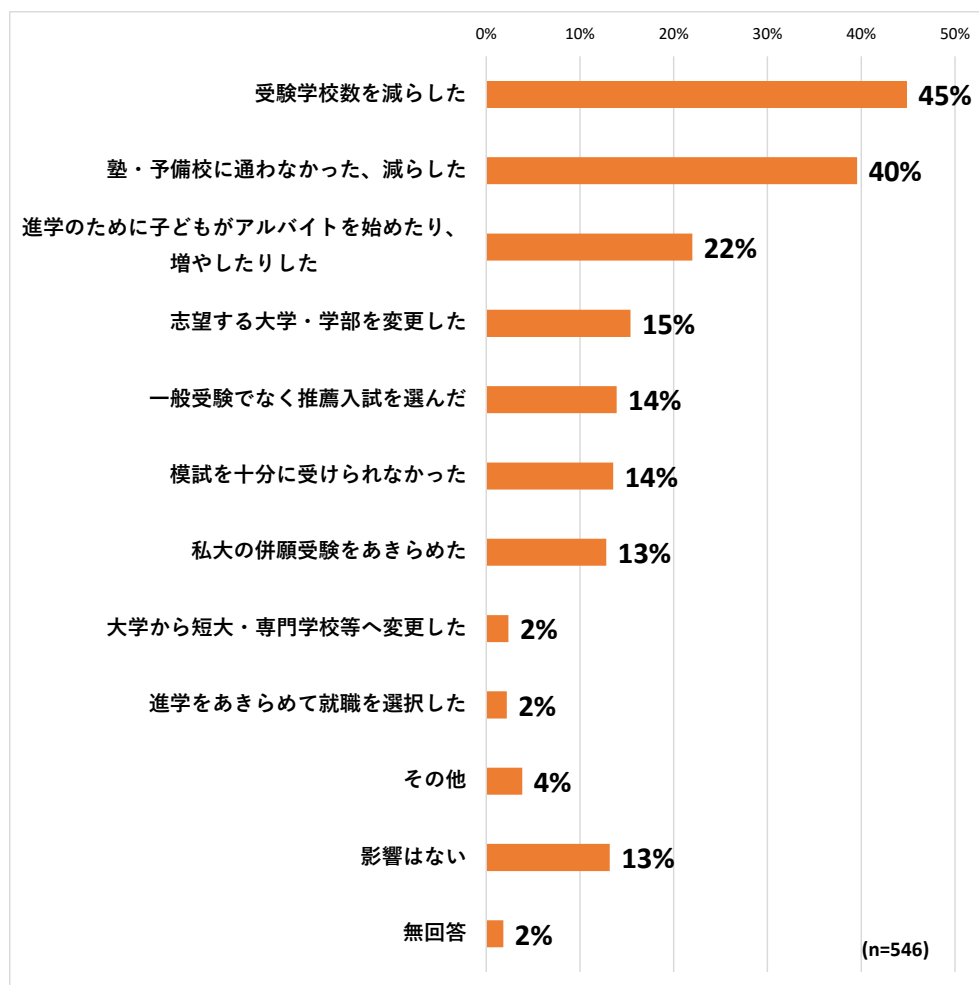


図 7 経済的理由による子どもの進学への影響（複数回答）

² 子どもが受験をした回答者が対象。

3.3 受験や進学にかかるお金

受験のために有料の塾や予備校を自費で利用した回答者は 46%であり、その年間費用は、「30-50 万円未満」が 26%と最も多く、「50-100 万円未満」(24%)、「10-30 万円」(21%)が続いている。

進学準備にかかった費用は「10-30 万円未満」(33%)が最多であった。入学金の調達方法として最も多く挙げられたのは「親が準備した自己資金(預貯金等)」(57%)であり、約 6 割が選択した。次に多かったのは「子どもが準備した自己資金(アルバイト等)」(17%)となっている。「その他」の具体的な内容としては、奨学金や、入学金の免除が多く見られた。

進学後に利用予定の奨学金では、「日本学生支援機構(JASSO)の給付型奨学金(高等教育修学支援制度)」(92%)が特に多く、「JASSO の貸与型奨学金(無利子)」・「民間の給付型奨学金」(いずれも 22%)が続く。「奨学金は利用しない」との回答は、わずか 1%に止まる。

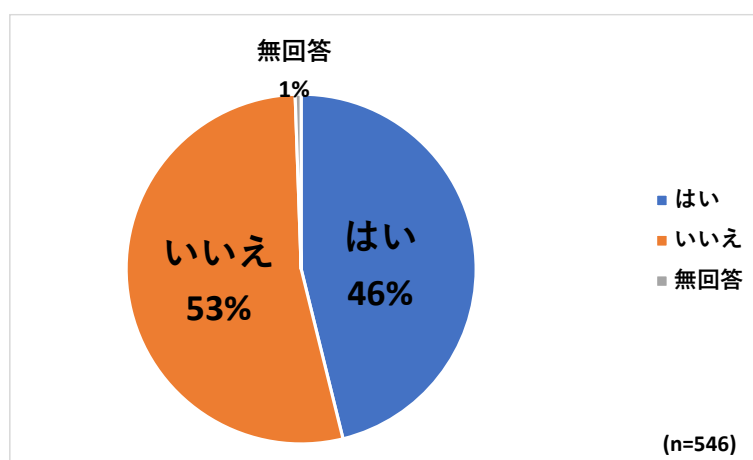


図 8 受験のために有料の塾や予備校を自費で利用したか

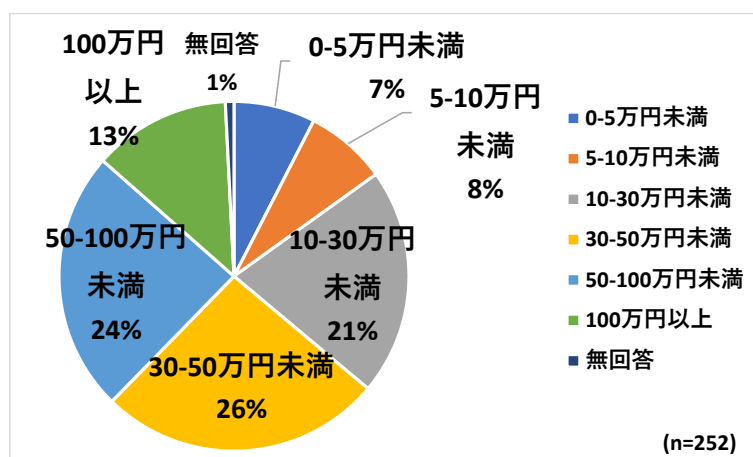


図 9 塾や予備校の年間費用³

³ 受験のために有料の塾や予備校を自費で利用した回答者が対象。

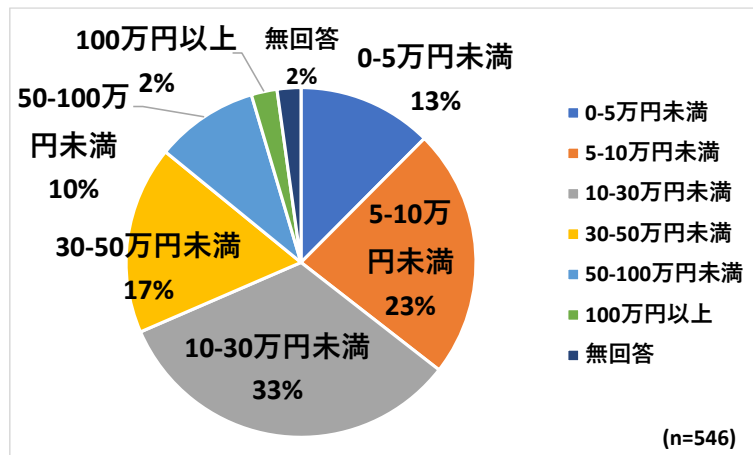


図 10 進学準備にかかった費用

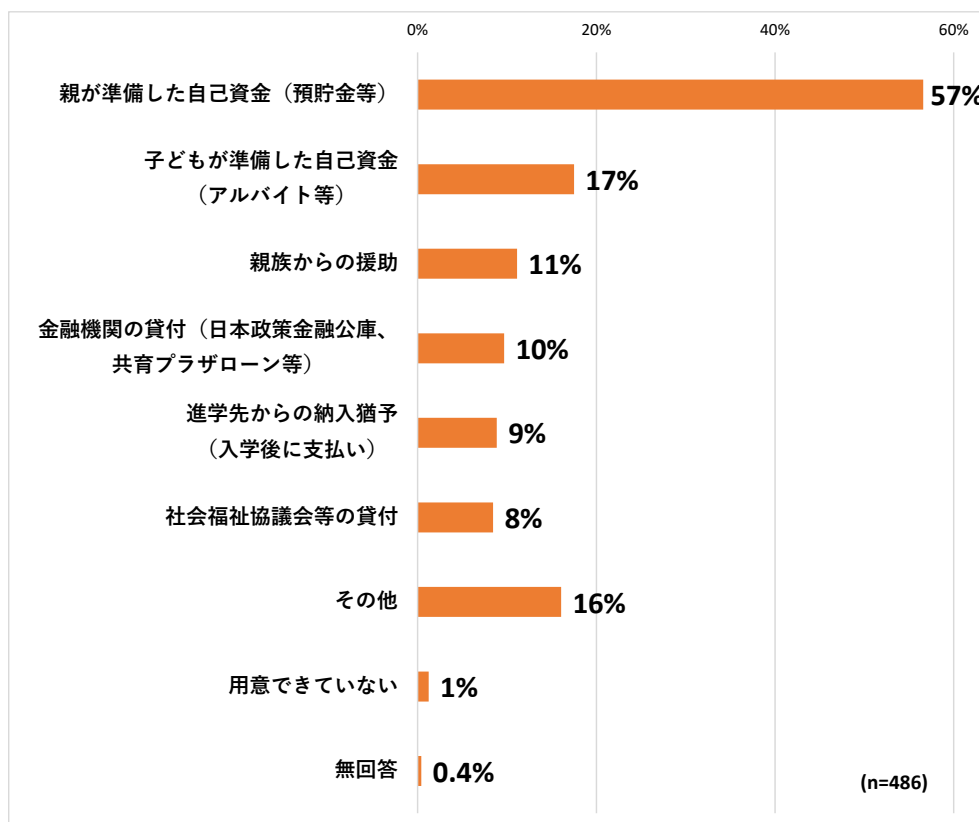


図 11 入学金の調達方法（複数回答）⁴

⁴ 2026 年度の子どもの進路として「大学」・「短期大学・3 年制大学」・「専門学校」を選択した回答者が対象。

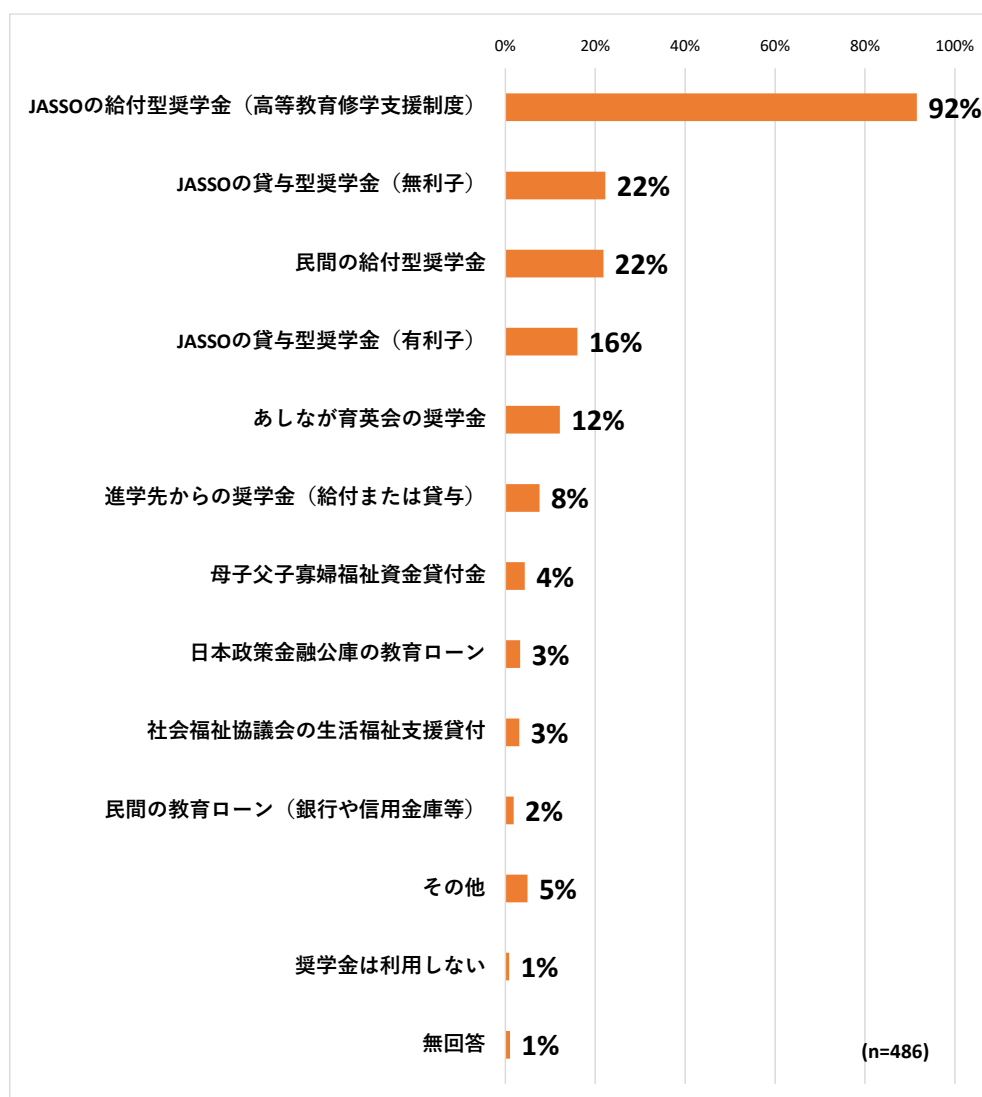


図 12 進学後に利用予定の奨学金（複数回答）⁵

3.4 GS 奨学金の使い道

受給決定後すぐに給付される「受験応援金（5万円）」の使い道は、「受験料」（55%）が最も多く、「参考書、テキスト」（34%）が続いている。

「入学準備金（10万円）」の使い道では、約半数が「進学先の入学金・学費」（47%）を挙げた。「その他」（9%）の中には、進学後に使用するパソコン、入学式用のスーツといった回答が多くあった。

GS 奨学金の他に受給した進学支援関連の給付金・奨学金としては、「高校生等奨学給付金」（35%）との回答が約4割、「その他民間の進学支援給付金・奨学金」（23%）が約2割であった。

⁵ 2026年度の子どもの進路として「大学」・「短期大学・3年制大学」・「専門学校」を選択した回答者が対象。

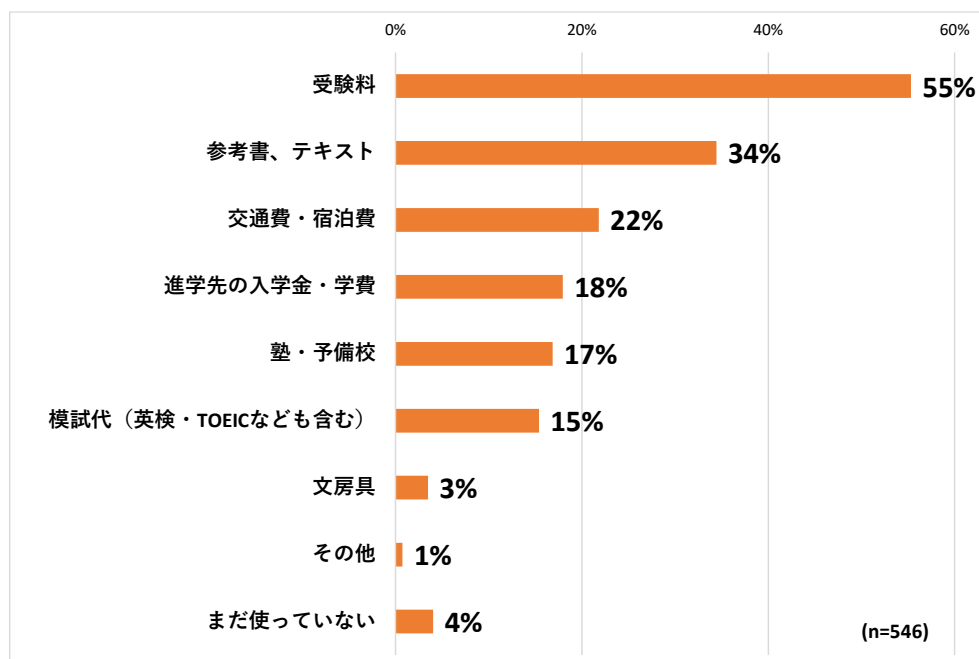


図 13 受験応援金（5 万円）の使い道（複数回答）

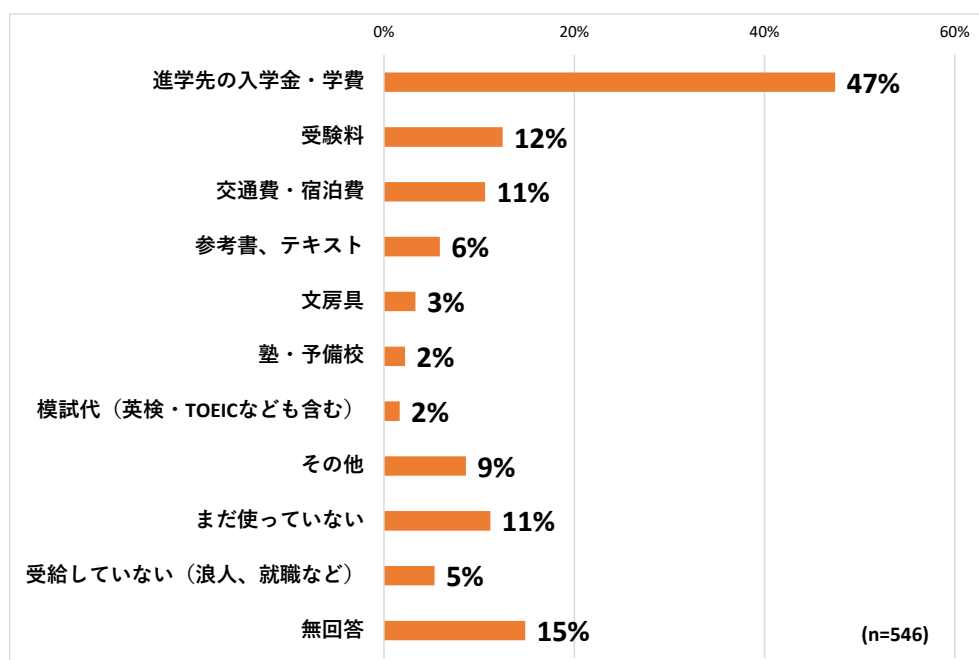


図 14 入学準備金（10 万円）の使い道（複数回答）

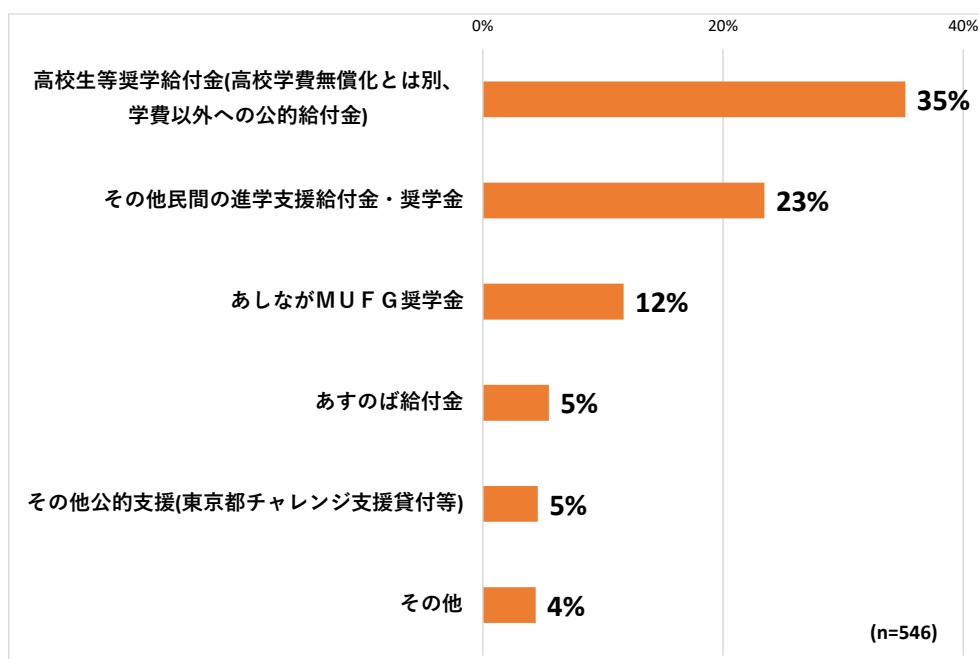


図 15 他に受給した進学支援関連の給付金・奨学金（複数回答）

3.5 進学に関して必要な支援

進学に関して必要な支援では、「受験料に対する免除、補助」（70%）が最も多く、「奨学金支給時期の早期化」（49%）、「高校生への児童手当の増額」（44%）、「進学未定の私大入学金の納入猶予（国公立の結果が出るまで）」（43%）、「共通テストの無償化」（41%）が続いている。

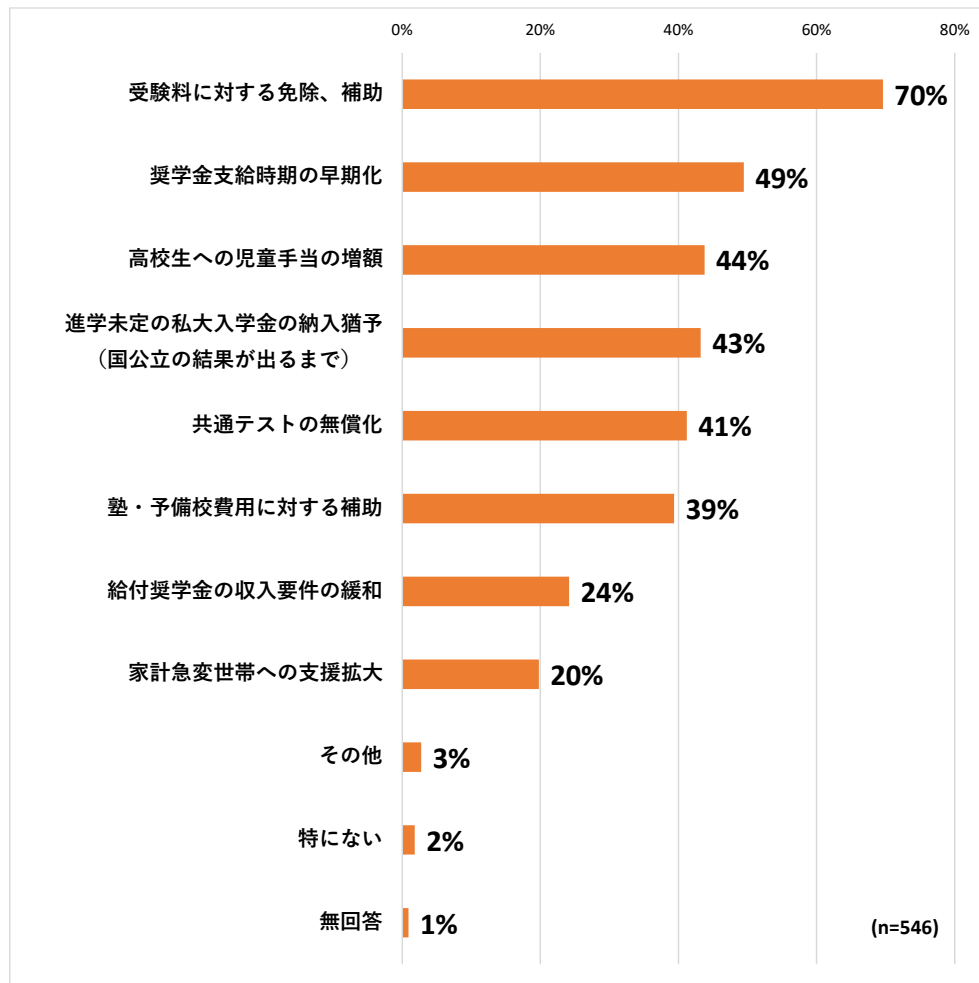


図 16 進学に関して必要な支援（複数回答）

3.6 奨学金受給や子どもの受験が保護者自身や家庭に与えた影響

「子どもが奨学金をもらったことで、困ったときに人に相談しようと思うようになったか」という質問に対しては、「いつもそう思う」が 31%、「ときどきそう思う」が 54%であり、約 9 割の回答者が困ったときに人に相談しようと思うようになったという結果が得られた。

「子どもが受験をしたことで前向きな気持ちになったか」については、「とてもそう思う」（68%）が約 7 割であり、「まあそう思う」（25%）と合わせると、全体の 93%が子どもの受験によって前向きな気持ちになったと回答している。「子どもが受験をしたことで、不安を感じたり気持ちが落ち込むことは減ったか」では、「とてもそう思う」が 25%、「まあそう思う」が 39%となっている。

「子どもが受験をしたことで、自身や家庭にいい影響があったか」との質問には、半数超が「とてもそう思う」（56%）と回答した。「まあそう思う」（36%）も合わせると約 9 割を占め、多くの保護者が子どもの受験によって何らかの良い影響があったと感じていることが明らかとなった。

受験をして子どもが変わったと思うことでは、子どもの様々な成長が挙げられた。「自己管理能力が高まり、計画性、責任感が増しました」、「進路や選択肢は誰かに用意してもらうのではなく自分で考え、調べ、選ぶものだと自覚した」など、自ら考えて行動できるようになったことを伝える声が多くあった。その他にも、最後までやり切る力がついた、失敗を恐れぬ強さが身に付いた、自分に自信が持てるようになったなど、受験を通じた多岐にわたる成長の様子も伝えられている。周囲の人との関係について触れた回答も多く、周りの人への感謝を口にするが増えた、受験をきっかけに困り事を相談できるよ

うになったなど、周囲の人に感謝するとともに、時には相談したり頼ったりすることもできる良好な関係を築けるようになっていることがうかがえた。

子どもが受験して良かったと思った場面や内容では、多くの保護者から、進学して将来の夢への一歩を踏み出せたことに安堵し、希望を持てたとの回答が寄せられた。また、子どもの成長や前向きな変化を感じられたことが保護者にとって大きな喜びであったことも伝えられている。受験に挑戦する子どもの姿を見て保護者も励まされた、弟や妹も刺激を受けたなど、家庭全体に良い影響があったとの声もあった。この他に、困窮から抜け出す希望を持てたという回答も複数寄せられた。

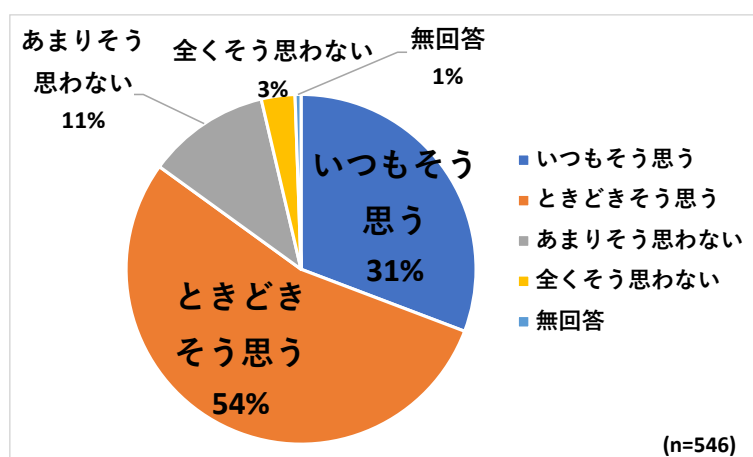


図 17 子どもが奨学金をもらったことで、困ったときに人に相談しようと思うようになったか

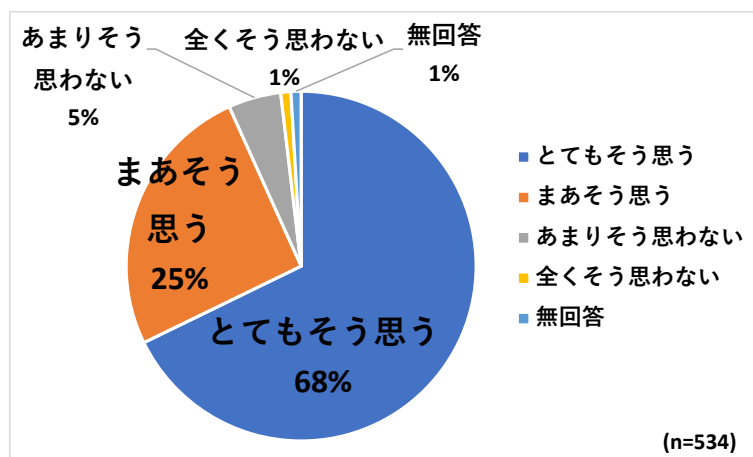


図 18 子どもが受験をしたことで前向きな気持ちになったか⁶

⁶ 子どもが受験をした回答者が対象。

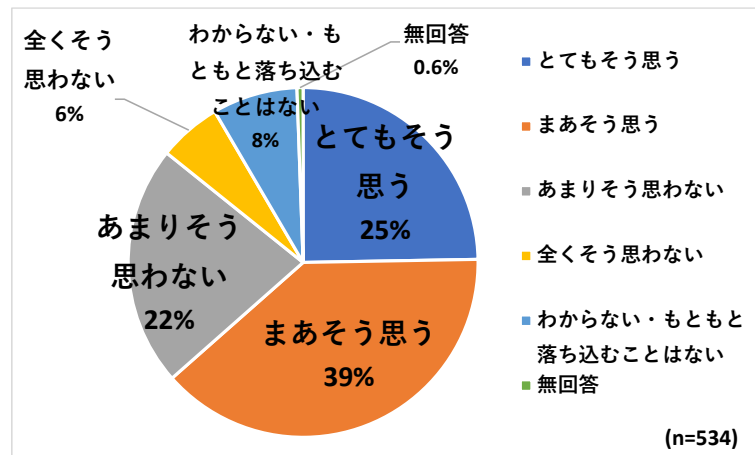


図 19 子どもが受験をしたことで、不安を感じたり気持ちが落ち込むことは減ったか⁷

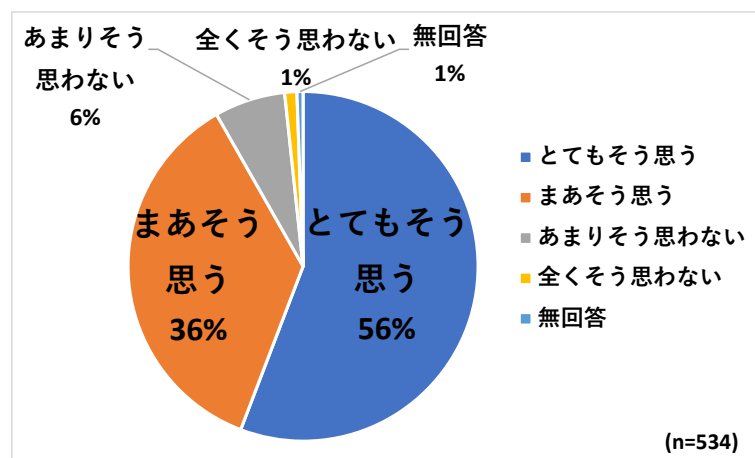


図 20 子どもが受験をしたことで、自身や家庭により影響があったか⁸

表 1 受験をして子どもが変わったと思うこと
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ 自ら考えて行動できるようになった

- ・ 今まで人任せなことが多かったが自分で取り組まないと先に進めない状況にぶつかり、大学進学のために自分から取り組むようになった。
- ・ 自己管理能力が高まり、計画性、責任感が増しました。限られた環境の中でも自発的に最善策を考えて頑張る姿は、安心して見ていられました。
- ・ 一人で行動する力。大学は高校とは違い、親への連絡は一切ないので入学前の手続き等全て本人へのメールやHPで自ら確認し動かなければいけないので、責任感も出た気がする。
- ・ 学校の先生に相談して受験対策をするなど、自分から動けるようになったところ。
- ・ 少したくましくなった。例えば、遠方の目的地に自分一人の力でたどり着いたり、オンラインでの手続きを不備なく進めたりとか。
- ・ 親に相談はしてたものの最後は自分で取り組み決まるようになりました。今までやってもらうことが当たり前だったことを自分の責任で動くようになった。
- ・ 進路や選択肢は誰かに用意してもらうものではなく自分で考え、調べ、選ぶのだと自覚し

⁷ 子どもが受験をした回答者が対象。

⁸ 子どもが受験をした回答者が対象。

たように思います。

- ・ 大学受験前後スマートフォンをメインに出願や合格発表など全て確認していました。自分の事を自分で行うという事全てがまた一回り大きく成長したと感じました。大学からのメール確認、入学前の学習や課題にも積極的に取り組んでいます。そして合格したことが嬉しい、自信ある表情で卒業まで頑張りました。
- ・ 調べる力がついたと思います。奨学金についても子どもが全て自分で調べて、応募して、面接に行くと成長を感じられました。
- ・ 表情がとても明るくなり、家事手伝いなど協力してくれるようになりました。一人暮らしを始めるのにいろんなことを考えて、決めるようになりました。

➤ **精神面での様々な成長が見られた**

- ・ 頑張る力、自分を信じて突き進む力が付いたと思います。また悔しさを乗り越える力も付いたと思います。
- ・ 最後までやり切る力は以前とは比較にならないほどついたと思います。
- ・ 自分の結果ときちんと向き合い、思うようにいかない時でも気持ちを切り替えて最後まで諦めない姿勢が、以前より強くなったと感じます。
- ・ 失敗を恐れない強さが身に付き、何事にも挑戦する様になった。
- ・ 進路に対して良い意味でも図太く芯のある人間になった。
- ・ 受験を通して、自分の将来と真剣に向き合うようになり、精神的に大きく成長したと感じています。以前は不安や体調面の影響で思うように進めないこともありましたが、その中でも自分なりに工夫しながら前に進もうとする姿が見られるようになりました。最後まで諦めずに努力する力が身についたことが、一番の変化だと思います。
- ・ 将来についてより具体的なイメージを持つようになったと感じました。何故この大学に決めたかなど、しっかりと考えている事が分かり嬉しく思いました
- ・ 大学受験に落ちたと言う、いままでに味わったことのない挫折を乗り越えて次は絶対に合格すると強いメンタルを持てるようになったこと。
- ・ 努力をしても報われない事があるという事を知れたと言っていました。辛かった分いろいろな人に優しくできそうだと言っていました。
- ・ 目標に向かって励むことで、困難にぶつかりながらも立ち上がって頑張ることで、少しずつたくましくなったと思います。
- ・ 一度失敗しただけにかなり切羽詰まった感じでしたが、合格出来たことで自信がつき前向きになったと思います。笑顔が増えました
- ・ 引っ込み思案の子供が、どんどん自分から準備を整えて、バイトを見つけて面接し決めてきました。自分に自信が持てるようになったようです。
- ・ ぼんやりしていた自分の未来の輪郭が見えてきたことで、一つ一つ行動が変化していきました。自分で考えて自分の意思で行動することの大切さを、身をもって実感したのではないかと思います。何よりも、自分で自分の進路を変更し、自分の力で合格を勝ち取ったことは、大きな自信につながったと思います。

➤ **周りの人に感謝をするようになった**

- ・ 周りの人への感謝を口にすることが増えました。支えてくれてありがとうと言葉にするようになったことに、人間的な成長感じて驚いています。
- ・ 合格出来た事は本人の頑張りですが、周りの協力があつたからこそ安心して勉強に取り組めた事を学んだようです。感謝の言葉を口に出して素直に伝えてくれるようになったと思います

す。

- ・ 受験を通して、関わり合う大人の人を見て憧れを持ったようでした。自分の為に努力してくれている大人の人が輝いて見えたようでした。
- ・ 大学4年間で自分がとれだけできるかと自問自答する日々が続いたようです。そんな日々の中で、高校の顧問や中学の恩師がほんとうに寄り添ってくれました。『まだまだ成長できる!』『○○やったらできる!』と背中を押してくれたり『もっとできるやろ!』と叱咤激励してくれたり、いつでも自分は一人じゃないんや。とほんとうに実感したと思います。

➤ **周りの人に相談したり、頼ったりできるようになった**

- ・ もともと内気な子で、あまり相談などしない子でしたが、受験をきっかけに困り事を相談できるようになりました。
- ・ 高校で学んだことを活かしたいと意識できるようになったと思います。大人に相談できるようになったことが変化に思えます。
- ・ 自分のことを自分でできるだけできるようになったし、できないことは他人に頼ってもいいという判断がつくようになった。
- ・ 大きな挫折を味わい、人を頼る、人に心を打ち明けることがよりできるようになったのではないかと思います。
- ・ 大学に期待してる部分もありつつ、新しい場所に行くことの不安もあるようですが、言葉にして不安だと言えるようになっている。
- ・ 勉強は一人でやるものだと思っていたところもありましたが、仲間や先生方の協力を仰ぎながら取り組み、成長したと感じました。

➤ **経済感覚が身についた**

- ・ お金のやりくりや、節約、バイトにと親に負担をかけないよう気を遣ってくれていました。
- ・ 家計に対して関心をもつようになった。
- ・ 自立して、計画的にお金の管理ができるようになった。
- ・ 将来就く仕事について興味を示しています。アルバイトを探すなど家計を助け、自立をしようと頑張っている様子も見受けられます。
- ・ 自力で色々と準備する努力をしています。準備にお金がかかる事を通して、お金の貴重さを感じているようです。それと同時に奨学金受給できた事に感謝しているようです。
- ・ 大学合格後、大学から送付された入学金や授業料の振込用紙を見て、大学を受験、進学、卒業するまでに総合いくらかかるかを理解できたと思います。

➤ **将来に希望を持てるようになった**

- ・ 自分の夢を諦めず、目標をもって将来に向かって歩み始める姿勢が芽生えました。将来の自分について考える時間が増えました。大人になるのが楽しみだという言葉が聞けました。
- ・ 経済的な理由で、大学受験は考えていなかったが、受験し、入学が決まったことで、将来のことを前向きに考えるようになった。
- ・ 科捜研で働くことができるかもしれないとやる気に溢れてます。大学での学びを本当にウキウキしながら楽しみにしている姿を見ることができて幸せです
- ・ 将来の不安で落ち込むこともありましたが、自ら学習する姿勢を持つようになったことや、分からないことは自分で調べて、学びを深めるようになりました。目的が決まり、明るい表情がみられ、コミュニケーション能力も高まってきたことを感じました。
- ・ 将来の夢にまた近づき、自身と希望に溢れているように見えます。以前よりも落ち着いてい

て、自分のすべき事に集中できていると感じます。

- ・ 辛い時期もあったが、それらも含め乗り越えることによって自分に自信がつき、未来に希望を抱けるようになった。
- ・ 大学受験後は、進学への不安はあるものの、履修内容を調べたり、学べる喜びを感じている様子です。表情も明るくなりました。
- ・ 大学生活の学びを楽しみにして、アルバイトを凄く頑張っています。

表 2 子どもが受験して良かったと思った場面や内容
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ 将来に向けて進学することができる

- ・ 経済的な理由で進学を諦めさせたくなかったので、なんとか奨学金をいただき助かりました。希望する大学に受かりこれから夢に向かって頑張ると張り切っている子どもの姿を見ると生きている楽しみが増えました。
- ・ 経済的に諦めかけた時もありましたが、薬学部で薬剤師を目指し、将来的には幼い弟達の学費を支援したい、との思いを聞き、大変複雑ですが嬉しい気持ちになりました。本人には可能な限り負担はかけたくないですが、夢に向けてこれから母として併走していきたいと思います。
- ・ 自分の将来やりたい事に向かって、受験する事が出来た。金銭面の不安、親に迷惑をかけたくない専門学校も視野に入れた事もあったが、夢に向かって一歩近づいたと感じられたのが良かった。
- ・ 自分の進みたい道を歩んでいけること、そんな娘がただただ眩しいです(母親である私自身にはそうした選択肢すらなかったのだ)。
- ・ 自分の夢に向かって頑張る娘の姿を見ることができました。家庭の事情で夢を諦めさせず、受験し、希望の大学に合格でき親として安心しました。
- ・ 息子の将来の夢は医師になることであり、夢への一歩が踏み出せた。高校3年間絶え間なく努力をしてきた。結果が良く、とてもよかったと思う。授業料の捻出が厳しく、今後の悩みはあるが、とりあえず、晴れやかな気持ちで入学式を迎えることができた。
- ・ 母子家庭だったり、非課税世帯で、子供には大学までの進学をさせてあげるか、とても不安でした。それでも、援助の手があり、後押ししていただき、本人の希望通り受験、進学が決まり、これからの進路に向けてのステップアップがはかれるスタートラインに立てたことがとても良かったと思っています。
- ・ 私たち親子は大学へ通えない、通わせられないと悩んでいたのも、希望が光がさして明るい気持ちになりました。ありがとうございます。
- ・ 私自身中卒なので子どもが大学生なんて夢のまた夢です。このアンケートも上手く送信出来ず何回も書き直し。頭のいい人はそんな事ないんだろうな…なんて思いながら書いています。自分の夢を子どもに託したわけではないですが立派に育ってくれてとても嬉しいです。
- ・ 将来に夢や目標をもっていましたので、それを実現する為には大学進学は必須でした。目標があったからこそ、前向きに受験に取り組む事ができたのだと思います。合格した時は、一歩自分の夢に近づく事ができ大変喜んでいましたし、教育学部で学ぶ事への期待で一杯といった嬉しそうな娘の姿を見る事ができて、金銭的に不安ではありましたが、受験をして本当に良かったと感じております。
- ・ 専門学校ですが、自分の将来を真剣に考えて、希望を持ったと感じました。やりたいことのために勉強ができる学校に行くことができて喜んでいてと思います。
- ・ 地方から東京への進学は経済的にとても勇気がいったし、大きな決断だった。でも奨学金を

受験費用や交通費として利用できたので、受験する後押しをもらったと気持ちが強くなった。奨学金がなければ、受験すらあきらめていたかもしれない。

- ・ 入学金や授業料などお金の不安があり、進学を諦めようと考えた時期がありましたが奨学金のおかげでもう一度頑張ろうとやる気に繋がり、大学進学することができました。夢をあきらめないで良かったと本人から聞いた時、私も本当に嬉しかったです。希望を持たせていただきありがとうございます！
- ・ 先が見えなくヤングケアラーとなっている家庭から子どもがやっと開放されること。

➤ **子どもの成長や前向きな変化を感じることができた**

- ・ ここの一年は、かなり本気で毎日勉強に取り組んでいた。計画性と効率化は物凄かった。友達と情報交換したりして大学生生活に夢を馳せ、一人暮らしを楽しみにしていることがわかり、成長を感じて嬉しかった。
- ・ 一般受験のため、かなりの勉強時間が必要とされましたが、長時間勉強する、忍耐力と集中力が養われたと思います。また、目標に向かって、コツコツと努力できる力もついたと思い、良かったと思います。人生において、大学の受験勉強期間は、辛い期間であったと同時に、必死に勉強に挑むという貴重な体験ができる期間でもあったと思います。
- ・ 高校生になって希望の進路が見えてくると自分から勉強を頑張るようになった。進学後の費用面の心配はあるが、最後まで本当によく頑張っていた。信頼できる他者を頼ったり、自分を信じて頑張るちからがついたことを何よりも嬉しく思う。
- ・ 受験校候補のオープンキャンパスに、各校とも複数回参加。将来やってみたい仕事や、職業につながる学び内容、意欲想いをぶつけられる講義、取得資格等を実際にリサーチしていく中で、子ども自身葛藤しつつも「何かに向かって自分の意思で動く」「誰かに自分の想いを聞いてもらい、アドバイスを受け、更に調べる」等将来に向き合っていたと思えます。
- ・ 親の事情を考えなくていい、自分の好きなことをやるために大学に行きなさいと、言い続けてきました。なので、娘が選んだのは地元の大学ではないし、寮に入ることになり、離れるのは寂しいですが、自分で考えて決めた、本当に第一歩を踏み出したんだなと成長を感じました。
- ・ 里親をしています、小さい頃の生活の影響で無気力な方向にありました。高校2年生頃から大学進学を希望するようになり、児童相談所からも様々な奨学金制度を教えて下さり、金銭的な問題で諦める事なく大学にチャレンジする気持ちになり、良く頑張りました生活面でも活発化して成長しました。
- ・ 受験はメンタルの強化につながります。2つ本命を落ちてしまいかなり、ショックが大きく落ち込んでいましたが、次に向けて気持ちを上げなければならない事が大変でした。残り2つが合格しましたが、今は前向きに大学で頑張ろうと気持ちを切り替えてくれた事が救いです。社会に出てもこのような挫折はあります。乗り越える大切さを学べた気がします。
- ・ まずは自分がやりたいこと、学びたいことに挑戦できたことが一番良かったと思います。心理の勉強をするのですが、保護者や友人、施設職員との人間関係の中で感じてきたことを整理したい、という思いが強かったようで、今後心理を学んでいくことで、自分自身の考えや気持ちを整理しながら自分に目を向けられるようになると期待しています。
- ・ 浪人が決まった時は本人がとても落ち込み、見ているこちらもとても辛かったです。もう一度挑戦すると決めて頑張り抜き、希望していた学部に合格することができました。二度の受験を通して、改めて、受験というのは目標を定め、それに向かって努力する、その過程そのものに意味があると感じました。その点において、浪人をとても良い経験に昇華することができ、また嬉しいことに結果にも繋がって、とても良かったです。

- ・ 受験を通して、子どもが自分の将来について真剣に考え、目標に向かって努力する姿を見ることができたことです。思うようにいかず悩むこともありましたが、自分なりに工夫しながら勉強に取り組み、最後まで諦めずにやり抜いた経験は大きな成長につながったと感じています。受験を経験したことで、精神的にも強くなり、自立に向けた一歩を踏み出せたことを嬉しく思っています。
- ・ 以前は家計の事情により通信制大学を検討しており、周りの大学を目指す子にたいして引け目を感じて落ち込むことが多々ありました。大学受験を目指すことになり、目標を持って取り組むことで、生き生きと過ごすことができました。
- ・ 教師になりたいとの思いがあったが母親からのネグレクトがあり大学進学をあきらめていたが、児童相談所に保護され当施設で生活するようになり同じような境遇の利用者たちが大学進学し生活するのを見て「自分も大学に行くんだ」と大学進学への希望を持ち前向きに取り組むようになった。
- ・ 子どもが生きていて楽しいよ、お母さんありがとうと言ってくれたこと。
- ・ 中学から行きたいと願っていた大学を、高校 2 年時に家庭環境が変わった(離婚)のをきっかけに就職すると言っていた時期もありました。この奨学金を受給できるとわかった時から、彼女は自分の行きたいと言う気持ちを我慢せず大事にして、何とかがんばって進学しようと決め、受験に向けて自分で動けるようになったきっかけだと思います。
- ・ 中学はコロナの中、あまり学校に通えず、高校も出席日数ギリギリまで休みながらの登校だったが、受験をした事でこれからの生活への期待が大きくなり自分から体力をつけるために運動をし、積極的に外に出るようになった。

➤ 子どもと向き合うことができた

- ・ 自分の将来したいことを応援できたこと。子供がどんなことをしたいか、子供と真剣に話し合い、子供と向き合うことができました。
- ・ 自分の将来についてきちんと向き合い、親子でじっくり話をすることができたことです。周りに流されることなく、親に気を遣うことなく、自分の気持ちを正直に話すことができました。これから先の自分の未来を、具体的に思い描くきっかけになったと思います。
- ・ 受験自体は第一志望を落ちたため、100 点満点とは言えない結果でしたが、親子で下見や受験に行って、色々将来のことを話し合ったり、お金の話をできたことはとてもいい経験になりました。
- ・ 塾に通わせてあげられず、自宅で 1 人で受験勉強をしていたので、励ましたり、話し合ったりと子供と接する時間が増えたのが 1 番良かったです。

➤ 家庭に良い影響があった

- ・ 何度も話し合い、ぶつかり、悩み、笑い大変でしたが、家族で一緒の方向を見て進むことができて良かったです。下の息子も姉の頑張りを見て思うことはあったと思います。
- ・ 大学へ行く前提での高校生活の中、高校 2 年生最後で急遽離婚になり、不安になり、家族みんなが落ち込んでいる中で、大学受験する為に頑張っていた息子の為に落ち込んでいられないと、弟、妹も、私自身もお互いを支え合って、1 年を過ごしてきたと思います。弟も兄の背中をみて今また頑張っている最中なので、受験は 1 人ではなく家族も一緒に受験する事なんだと思いました。
- ・ 勉強が楽しいと言って取り組む姿を見る時、受験校に合格した時見せた笑顔ややればできると自己肯定感を上げていく姿を見る時、子ども自身が道を開いていく力を身につけていっていることを嬉しく思う。また、親の経済的状況は苦しくなる一方だが、私も頑張ろうと生き

る意味になっている。

- ・ 娘が毎日の放課後、土日に、図書館などで、塾に通うことなく、自力で頑張ってる姿に、親である自分も頑張らなきゃと、大変励まされました。
- ・ 毎日志望校に向けコツコツ勉強してる姿に、不登校の長男も刺激を多少受け、家族全体が少し前向きな雰囲気になった事があった。
- ・ 将来いろんなことにチャレンジできる期間になると話しており、下の妹と弟にも明るい未来を作り出すことができるということを示してくれた。
- ・ 目標に向かって四苦八苦しながら取り組む姿勢、自身の力だけではなく、様々な方々の支えがあっているという感謝の気持ちを育むことにつながったと感じます。本児自身の心の成長と、頑張りを見て他児童にもいい影響があったように感じます。

➤ **困窮から抜け出せる希望を持てた**

- ・ ひとり親家庭でこの貧困を抜け出せるのではという希望を持てた事です。
- ・ 貧困家庭から抜け出す手段として「学歴」があります。今の日本は新卒一括採用で、大卒でないと応募できない企業がたくさんあります。「大卒」というのは、一種の資格のようなもので「大卒」になれる可能性ができたことで、本人がすごく安定しました。また、高校の同級生も7割が進学する状況だったので、その中で進路の選択を「就職」に絞らずにすんだことは、本人がとても安心していました。
- ・ 負の連鎖が止まる事を想像できた。また自分で学び前向きになっている姿、夢を形に変える手段として受験に向かった事は誇らしいし良かったと思っています。

3.7 ゴールドマン・サックスへのメッセージ

支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージでは、GS奨学金のおかげで受験や進学ができたことへの感謝の気持ちが多く寄せられた。感謝のメッセージとともに、早い時期に奨学金を受け取れることが受験や進学の費用を確保する上で有用だったとする回答、今後も支援を続けてほしいとの回答も複数寄せられた。

表 3 支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージ
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

- 1円でもあると嬉しい大学受験への道のにご協力本当にありがとうございました。子どもと私の2人暮らしで、私が疾病で働けないため、進学準備、進学等にお金をかけることがなかなかできず、大学は行かせてあげられないと思っていました。ですが、ゴールドマン・サックスのおかげで、親として子どもを進学させてあげることができ、心より感謝しております。
- ゴールドマン・サックスからのご支援があったおかげで、本人が納得いくように複数の受験形式で受けることができ現役合格することができました。また、ノートパソコンも4年間大学でしっかりと使えるものを購入することができました。受験勉強に全てを注いできていた本児にとっては心強いものとなりました。今後も進学を目指していく児童は増えていくと思います。児童の選択肢、将来が広がるためにも引き続きご支援いただければと思います。
- このたびは支援をいただきありがとうございました。おかげさまで入学までの色々なピンチを切り抜ける事ができました。貧困家庭なので分不相応だし、子供の進学を何度もあきらめそうになりました。これからも大変ですが、やれるところまで親子で未来のために頑張りたいと思います。
- 経済的に不安定な社会ですが、それに反比例するように進学率があがっており、費用の工面が大変だったので、本当に助かりました。総合型選抜で受験するためには複数回のオープンキャンパ

スの参加が必要で、交通費も嵩みました。でも、奨学金があったので、躊躇なく参加することができました。

- 我が家にとって支援をいただいた事は家計的にも、私自身の精神的にも大変ありがたいものでした。子供の夢に力を貸したい。しかし私に出来る事には限度があります。金銭的な事は特に…。支援をいただき、不安が軽減され子供に優しくする事が出来ました。
- 子供が安心して受験に臨む事が出来ました。大学に行っているの？行けるの？と嬉しそうに言った時の顔が忘れられません。親が思っているよりも家計を気にしていたんだと改めて感じました。
- 全体的な手続きも分かりやすく、LINEでのメッセージも大変励まされました。このようにお顔も知らない方々が支えてくださる社会なんだと、我が子が理解し、社会貢献出来るような大人に成長してもらえたら嬉しく思います。
- 無事に合格することができました。浪人する、予備校に通うという決断は難しく勇気がいりました。そんな私たちにお力添えくださった事、医学部で学び研究をする事で将来社会に役立つ人材になる事で恩返しをしないと息子に話したいと思います。
- 私立大学は経済的に無理でしたので、国立大学を目指すために、応援金を利用して、共通テスト対策や模試などで力をつけたことが、合格に繋がったと思います。将来の夢をあきらめないで前向きな気持ちになれたこと、とても感謝しています。今後は、この気持ちを忘れずに社会へ恩返ししていけるようにより専門性を高めて頑張っていってほしいと思います。
- この度は奨学金をいただき大変助かりました。ありがとうございました。大学受験にはまとまった資金が必要で、不安しかありませんでしたが、安心して受験することができました。今回受けた支援をまた次の世代へ返していけるよう、大学でしっかり勉強し社会に貢献できる大人になってほしいと思います。
- 子どもたちの大切な時期に母の私が体調を崩してしまったことで家計が急変し、途方に暮れていたところで救いの手を差し伸べていただけていたのです。感謝してもしきれません。自分の体調が許す限りでの就業となってしまうしましたが、今できることの中から収入につながるアイデアを探すことに向き合うきっかけにもなり、収入は少なくとも、得たものはたくさんありました。少しずつ収入が安定してきた時に、この度の奨学金に助けられたご恩を次に必要な方に恩を贈ってあげたいと思います。
- 家族に頼ることができない中、私ひとりの力では正直希望の大学を（複数）受験させることも難しかったと思います。夢に一步近づくことができました。本当に助かりました。大学に行くために、こんなにお金がかかるのかと絶望しました。受験費用、交通費、宿泊費、滑り止めの入学金×複数校分、大学に受かったら賃貸料、引越し費用、生活費、光熱費、食費、授業料、テキストやパソコンと、この先も様々な支払いが待ち受けています。借金も限度額、日々一生懸命に働いていますが、やはり苦しいのです。今回は私たちを救っていただきありがとうございました。これからも娘の夢のために頑張りたいと思います。
- 日々の生活で苦しい中、受験をすべきなのか何校も受験していいのか、など子どもなりの苦悩があったと聞きました。ご支援のお陰で参考書を増やしたり受験する大学を増やすことができ、チャレンジする前向きな気持ちが芽生えたことと思います。感謝いたします。
- 家庭の事情や、経済状況から、子どもの進学を諦めさせたくなかった。給付の奨学金制度があると、夢を後押ししてもらえる気がして、親子で頑張れることができました。感謝する気持ちを忘れず、夢の実現に向けて、一步を踏み出すことができました。
- 国公立大学一校だけではプレッシャーがかかりすぎるため、奨学金のおかげで複数校受けることができ、落ち着いて受験に望むことができたようです。第一志望に合格でき、感謝しております。
- 私立大学に入学が決まりました。うれしい反面、高額な入学金と授業料。もちろん給付奨学金に

よって、普段は減りましたが、それでも1人1台のパソコンが必須であり、また通学の定期代も値上がりするばかりです。そんな中、いただいた奨学金は、私の心の負担を減らし、安心して子どもに「パソコンを選んでいいよ!」と言えました。

- 受験前の早い時期のご支援のおかげで、子どもの挑戦を奪わずに済み、子どもも背中を押していただいた思いでした。心より感謝申し上げます。
- この度は大学受験給付型奨学金を受給させていただきありがとうございました。入学金、授業料の振込みの期限が早かったため支払いへの不安や焦りがありましたが、奨学金をいただいていることですごく助かりありがたかったです。
- 夏に給付金をいただけたお陰で、子どもはオープンキャンパスに行き大学1校に決め全力で受験に集中出来ました。合格後の給付金も大切に使います。
- 給付型奨学金など制度が昔に比べ良くなっていますが入学前段階のものはなく模試などを受けるための補助として大変助かりました。おかげで子供の選択肢を増やす事ができ大変感謝しております。
- 私は生活保護を受給しているため、奨学金がなければ子どもは大学に進学することはできませんでした。家庭の環境によって、子どもが夢を諦めないようにするためにも、この先も奨学金の支援を続けていただきたいと思います。
- 模試や参考書、交通費、宿泊費などかかる費用があり、おかげさまで心が軽くなりました。これから学びたい若者を支えて頂きたいです。感謝しかないです!
- お金の不安が和らぎ子供の希望を叶えてあげることが出来ました。これからの時代、貧困が加速しそうですが、このような支援があると助かる家庭がたくさんあると思います。この支援が今後も継続されますように。
- 私が娘に大学を受験させる事が出来たのはゴールドマン・サックスの支援があったからだと思っています。娘は希望大学に無事合格出来、4月からは大学生活を送る事ができます。ありがとうございました。これからも私達親子のように、支援を希望している家庭は沢山あると思います。1人でも多くの夢見る子供達の応援よろしくをお願いします。
- 児童養護施設に入所している子どもなので奨学金の支援がなければ4年大学は本当に厳しいと思うので、こういった支援があることで子どもたちの将来就きたい職業に近づけていること、本当にありがたいことだなと感じています。本人がきちんと大学に四年間通えるようにサポートしていきます。
- 自身の障害のため、就労時間が限られている中、就学支援をしていただきありがとうございます。シングルマザーで、全て1人でお金のことを片付けていけない中。相談できる人もいなくて、こうやって、支えてくださる支援の場を設けていただき本当にありがとうございました。
- 受験の為にかかる費用を子どもがとても気にしているのを感じていましたが、支援していただけることになり、前向きに頑張ってくれました。欲しかった物を欲しいタイミングで送ってくださった事もとても感謝しています。辛い受験期を支えてくださり、本当にありがとうございました。
- 受験応援金、そして入学準備金を支給して下さり本当に感謝しています。また受験前応援パックが届いた時にはとても温かい気持ちになり涙が出そうでした。経済的にも精神的にも支えられ、心強かったです。
- 受験期間中と入学準備の2段階で支援をいただけたことで、大学を目指す精神的負担・不安が和らぎました。いざ合格できてもその後の納入金や指定準備品に対する備えがなければ水の泡でしたので。子ども本人もアルバイトを続けつつの受験でしたが、背中を押してくれる・応援してくれる支援企業さまの存在は大きかったようです。親子共々感謝の想いでいっぱいです、ありがとうございます!
- 受験前に文房具を送って頂き、子供が凄く喜びました、「こんなに送ってもらえて、こんなに良

くしてもらって嬉しい」と言っていました。生活が苦しく塾代も足りなくてどうしよう、別居して
る夫は子供から支援の願いをしても渋られ、どうやって用意しようと心が折れそうな時、こち
らの事を知り支援金を頂きました。子供と二人で「こんなに良くしてくれる人も世の中にいるん
だね」と感謝してなりません。

- 息子のモチベーションにもなり、皆さまからのお届けものを見たり、メッセージを見て、とても
嬉しそうにしていました。先日の 10 万円給付も、これで前期授業料を支払うことができるとい
う安心を心から喜んでいました。大学は jasso が仮決定していても前期授業料の納入を待つて頂
けない学校でしたので、ゴールドマン・サックスからの給付金がなかったら、合格していても入
学できませんでした。息子の人生を救って頂き、本当にありがとうございました。
- 大学受験については、受験料に加えて、試験会場までの交通費・宿泊費など付随する費用も多く、
こうした支援がなければ受験自体困難な子どもは多くいると思います。合格後の入学金支払等
も、高等教育の修学支援新制度を利用してもいったんは支払いが必要になるため、支援はとても
重要なことだと思います。
- 金銭的だけでなく、心の支えとしての意味合いがとても大きかったです。支援を頂いているから、
当然だし、感謝の気持ちも溢れ出ていますが、普段から余力のない母子家庭、受験時の手の足り
なさは想像を絶します。途中、決まっていく方への連絡をしつつ、まだ決まらない私たちへ負担
にならない案内も非常に有難かったです。本当に有難うございました。
- 本当に苦しかったので、本当に学びたいと思っても、誰も助けてはくれない世の中だと絶望して
いました。1 人で何とかしないと。今回支援をいただけたことで、諦めずにチャレンジすれば、
誰かに SOS は届くんだという希望になりました。金額よりも、助けて欲しいと伝えれば、支援し
たいと思ってくれる誰かに思いが届いたこと、それがとてもうれしく誠に感謝申し上げます。
- 里親です。大学には行って欲しいとの望みはあったものの、学費の問題で現実的には難しいと思
っていた所、様々な給付型の奨学金がある事を知りました。10 以上応募するも、なかなか狭き門
で自信をなくしていましたが、1 番最初にゴールドマン・サックスの奨学金を受けることが出来、
どんなに嬉しく、心強く思ったか分かりません。本当に感謝の気持ちで一杯です。
- 娘は浪人生でした。現役で進学せず浪人を希望した際、正直相当の費用負担に驚きました。しか
し勉強に関しての金銭面では心配させない！そう思って親として受験を応援しました。浪人生で
も受給できる奨学金をつくってくださり本当にありがとうございました。全額カバーできるもの
ではなかったですが、金銭面だけでなく文房具やキットカットなど応援グッズとメッセージがと
ても心に響きました。こんなことまでしてくれるの？単なるお金だけでなく応援してくれ
る、そんな存在に救われました。娘とありがたいねと感動し、頑張るエネルギーになったのを覚
えています。感謝しかありません。

表 4 その他の意見・要望等
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

- ジャッソなどほかの奨学金は入学後から支給のため、入学金と前期授業料支払が大変です推薦入
学は 12 月には決まるので、御社のような早めの支給は有難いです
- 早い段階での給付だったので受験料にも使えてとても助かりました。
- 総合型推薦、指定校推薦は受験が早いので、受験料の時に支払いに使うことができとても助かり
ました。
- 合格する前に 5 万円頂けたことがとても助かりました。そのお金をもとに大学受験をすることが
できました。受験料を捻出する事も大変なんだと痛感いたしました。
- この度は温かいご支援をいただき、本当にありがとうございました。特に大きな要望はありませ
んが、実際に受験を経験してみて、受験前の参考書代や交通費などの負担が想像以上に大きいと

感じました。もし可能であれば、合格前の支援額がもう少し大きい形になると、受験に臨む家庭にとってさらに心強いのではないかと思います。

- このような制度があることで、救われている家庭がたくさんあることに感謝してます。奨学金は、申し込みの期限があるので情報が伝わってない人もいます。奨学金のサイトや学校から生徒に伝わるなど確実に学生に伝わるのが望ましいと思います。
- 今回、貴基金を知ったのは、インターネット検索で奨学金を調べていた時偶然に発見したという形でした。社会的養護（特に里親家庭）に対して広く門戸を開いていただければ、里親会や児童相談所等に貴基金の募集を情報提供してもらえるとよいのかなと思います。
- 情報がわかりにくく、応募できなかったご家庭もあると思います。大変ありがたい支援ですので、必要な方にもっと周知されるといいと思います。
- 私は市役所のこども支援課の方から教えていただきましたがそれまで全く知りませんでした。もっと多くの方に知ってもらいたいと思いました。
- 私としては感謝でいっぱいでも改善点などありません。言うなればまだ給付型奨学金をきちんと知らない人が多い気がします。実際、私も気づくことにだいぶ遅れました。どうしたら広く世間に浸透するようにできるか難しいかもしれませんが、もっとたくさんの困っている家庭も把握できるような日本政府が動くくらいの改善が見られると嬉しいです。
- 同じ苦労をされているこれからの方々にも支援の輪が広がりますように、長く活動を続けていただけますと幸いです。
- とても素晴らしい社会貢献だと思いますので、ぜひ、来年度以降も未来ある高校生たちのために支援を続けてあげてほしいです。
- 社会的擁護の子供達が大学へ進学するにはまだまだ金銭的支援が必要です。これからも積極的な支援をお願いします。
- 母子家庭で感じたことは、高校生からがお金の負担が一気に増えることです。進路選択に重要な高校生や大学生の選択肢を減らさないように、必要ところに必要な支援を引き続きお願いしたいです。
- 大学生対象の給付型奨学金は多いのですが、専門学校生対象の給付金は少ないです。今回は専門学校進学でも給付していただき助かりました。今後も専門学校進学でも給付の継続をお願いしたいです。
- 浪人することになり、申し込める奨学金もなく今後の不安です。このような場合にも利用できるとうれしいと思います。
- 地域などによるかもしれませんが、今回は社会福祉協議会の方が本当に力になって下さり進学を諦めると言う最悪の事態を避ける事ができました。困った時の相談先の一つとしてみなさんにもっと知って欲しいです。
- あらゆるジャンルで活躍されている方のお話が聞けたり、合格された方の体験談などがあれば受験する際の指針やモチベーションになるとと思います。
- 国立大学合格前の私大入学金免除や返還義務の社会的議論につながるような活動も行ってもらいたい。
- 受験応援グッズのご支援は、引き続き実施されることを願っております。受験期の精神的な助けとなる支援だと感じました。

以上

認定 NPO 法人キッズドア ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金 受給生アンケート 受給生編

2026 年 5 月 認定 NPO 法人キッズドア

2025 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生を対象に、2026 年 4 月以降の進路、受験や進学後の不安、受験期間を終えての自身の気持ち、奨学金や伴走支援についての感想等についてアンケート調査を実施した。調査結果について、以下のとおり報告する。

なお、ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、2022 年度に第 1 期生の支給を開始し、2025 年度が 4 期目となる。以下の 2 点においてユニークかつ貴重な奨学金制度である。

- ・ 受験期間と進学前の 2 回に分けて支援金を拠出し、大学進学に向けた学習と受験を支援（受験応援金：5 万円、入学準備金：10 万円）
- ・ 文房具等の応援パック、学習支援・受験支援につながる情報及びメッセージを定期的にお届け

1. アンケート調査について（概要）

- 目的：困窮家庭の高校生の進路や進学における課題、奨学金や伴走支援の効果等を把握し、奨学金事業をはじめとする支援策の改善・充実につなげること。
- 対象：2025 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生
- 調査期間：2026 年 3 月 13 日～4 月 11 日
- 回答数：383 件（回収率 62%）

2. 調査結果まとめ

今回のアンケートでは、受験という経験が受給生にもたらしたものが多面的に浮かび上がった。98%が「受験してよかった」と回答しており、その理由として最も多く挙げられたのは、将来の夢への前進や自己成長の実感であった。「諦めないことの大切さを学べた」、「やり遂げたことが自信につながった」、「周囲への感謝の気持ちが生まれた」といった自由記述からは、大学受験が困難な状況の中で自分自身と向き合い、前に進む力を育む機会となったことが読み取れる。

こうした経験を可能にした要因の一つが、ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金だ。経済的な制約の中で不安やプレッシャーと対峙した受給生にとって、奨学金は費用面の支援にとどまらず、「自分には応援してくれる人がいる」という心理的な支えとしても機能していた。ほぼ全員にあたる 98%が「ゴールドマン・サックスの奨学金は受験の後押しとなった」と回答していることは、その効果の広がりを示している。

一方で、本調査は進学後に生じる新たな課題も明らかにしている。学費が払えず退学することへの不安を約 7 割が、アルバイトで勉強が滞ることへの不安を約 8 割が抱えており、奨学金受給決定時と比べて自身の将来や社会に対する前向きな回答の割合が全項目で低下している。受験期の苦勞を乗り越えた先に、進学後の経済的負担という厳しい現実が待ち受けており、子どもたちの不安は形を変えながら続いている。「私のような子どもや家庭を助けられるように社会に貢献したい」という受給生の言葉を受け止め、受験期を超えた継続的な支援のあり方を引き続き検討していく必要がある。

- アンケート回答者の 99%が実際に大学等を受験し、84%が大学へ進学する。
 - 4 月以降の進路は、「大学進学」が 84%、「短大・3 年制大進学」が 2%、「専門学校進学」が 5%で、約 9 割が進学する。

- 約 9 割が「進学費用に関して保護者に気を遣った」と回答。
 - 経済的理由により、50%が「受験する学校の数を減らした」と回答。「予備校・塾に通えなかった」・「受験・進学を諦めようと考えたことがある」・「進学費用のためにアルバイト等をした」と回答した受給生もそれぞれ 3 割程度存在する。
 - 家庭の経済的な状況について、苦しいと感じている回答者が約 8 割。
 - 受験・進学を諦めようと考えたことがある回答者のうち約 9 割が、理由として「入学金や学費を用意できるか不安になった」を選択。
- 98%が「受験してよかった」と回答。受験経験が進学のためだけではなく、将来への前向きな一歩であり、自身の成長を実感できた機会であったことが読み取れる。
 - 「受験をしてよかったと思うか」という問いに対し、76%が「とてもそう思う」、さらに 22%が「まあそう思う」と回答し、98%が肯定的な意見を示した。
 - 自由記述では、将来の夢に近づくことができた、自分自身の様々な成長を感じた、周囲への感謝の気持ちが生まれた、という声が見られた。
- ほぼ全ての回答者にとって、GS 奨学金が受験の後押しになっていた。
 - 「GS 奨学金は受験の後押しとなったか」という問いに、98%が「はい」と回答した。
 - 受給生に文房具等を送る応援パックや、受験関連情報の配信といった伴走支援に対しても、9 割以上が満足したと回答。
 - ゴールドマン・サックス社に対しては、「奨学金を使えば大学にも行けることを親から教えてもらい、未来への期待が生まれました。こうして支援がなければ大学への道は厳しいものになっていたと思います」という感謝の気持ちや、「私のような家庭環境の方達へこの奨学金を知ってもらい必要な方へ必要な支援を繋いでほしいと思います」、「私のような子供や家庭を助けられるように社会に貢献していきたいです」といったメッセージが多数寄せられている。
- 7 割が、学費の負担に耐えられず退学することへの不安を抱えている。
 - 進学後に学費が払えず退学してしまうことに対し、「とても不安」が 21%、「少し不安」が 50%と、不安を抱えている回答者が 7 割を超える。
 - 自由記述では学費や生活費等の負担に関する不安や、学業とアルバイトの両立への心配の声も多数見られた。
- 奨学金の受給決定時より、自身の将来や社会に対する前向きな回答の割合が低下している。受験時に経済的に苦勞したことや、進学後の負担が現実的になってきたことが影響している可能性がある。
 - 「自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもある」「大人になるのが楽しみ」といった項目に対し、ポジティブな回答が 10%程度低下。昨年度も同様の傾向であった。
 - 一方で、自身や気持ちの変化を直接尋ねた質問では、「以前より自分の将来に希望が持て、頑張ろうと思うようになった」という回答が 58%にのぼった。

3. アンケート結果概要

3.1 受験期間の経験と 2026 年 4 月以降の進路

本アンケートに回答した受給生の 99%が大学等を受験している。高校での評定平均は「3.5～4.0 未満」・「4.0～4.5 未満」・「4.5～5.0 未満」（いずれも 28%）が多く、平均 4.0 以上が全体の約 6 割を占めている。2026 年 4 月以降の進路としては、「大学進学」（84%）が約 8 割を占め、「短大・3 年制大進学」（2%）と「専門学校進学」（5%）を合わせると約 9 割の進路は進学となっている。「浪人」は 6%、「就職」は 1%であった。

進学費用で保護者に気を遣ったかという質問に対しては「はい」（93%）が約 9 割と大多数を占めた。経済的理由による進学への影響では、「受験する学校の数減らした」（50%）が最も多く、半数が選択した。このほか、「予備校・塾に通えなかった」（33%）・「受験・進学を諦めようと考えたことがある」（28%）・「進学費用のためにアルバイト等をした」（26%）も 3 割程度となっている。受験・進学を諦めようと考えた理由としては、「入学金や学費を用意できるか不安になった」（88%）が約 9 割とトップであったほか、「受験料を用意できるか不安になった」（54%）との回答も多かった。

受験期間の悩みでは、家庭の経済状況に端を発する様々な悩みが寄せられた。受験期の資金繰りに悩んだ、受験費用や入学金、授業料が足りず進学できないのではないかと不安になったという回答があり、それに対して、奨学金や家族の後押しが助けとなったことも伝えられた。経済的理由で塾や予備校に通うことができなかったとの回答も多く、学校の先生の協力、YouTube などのインターネットの情報を活用して乗り越えたとの声もあった。私立大学への進学はできないので国公立大学のみを受験する、受験料を抑えるために 1 校に絞るという回答者もいた。自宅に学習する環境がないとの回答も複数あり、無料の学習スペースや図書館を利用するなどの対策も見られた。アルバイトや家事で学業に専念できないという悩みもあった。様々な悩みを抱える中で、周囲の支えによって乗り越えたとの回答も多くあり、友人、学校の先生、施設の職員といった身近な人の支えを伝える回答のほかにも、GS 奨学金の支援を通じて一緒に頑張っている人がいると感じたとの回答もあった。これらのほかに、ひとり親が外国出身で受験制度に詳しくなかったため、受験に関する様々な手続きを一人で行ったことが大変だったとの声もあった。

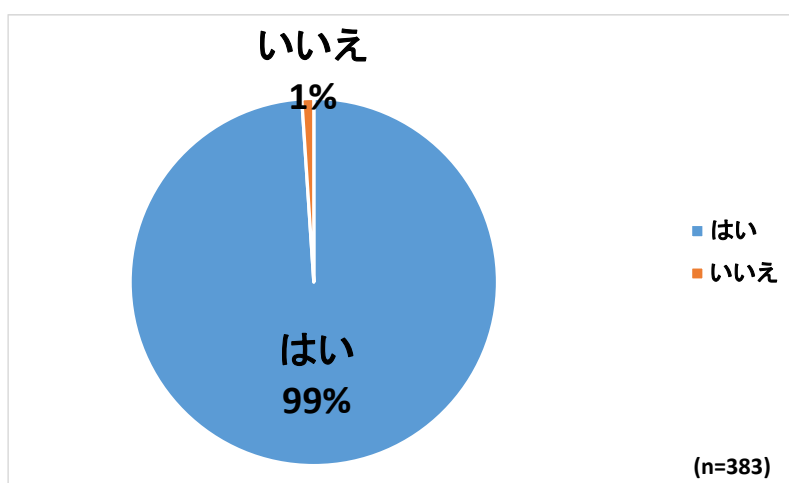


図 1 受験をしたかどうか

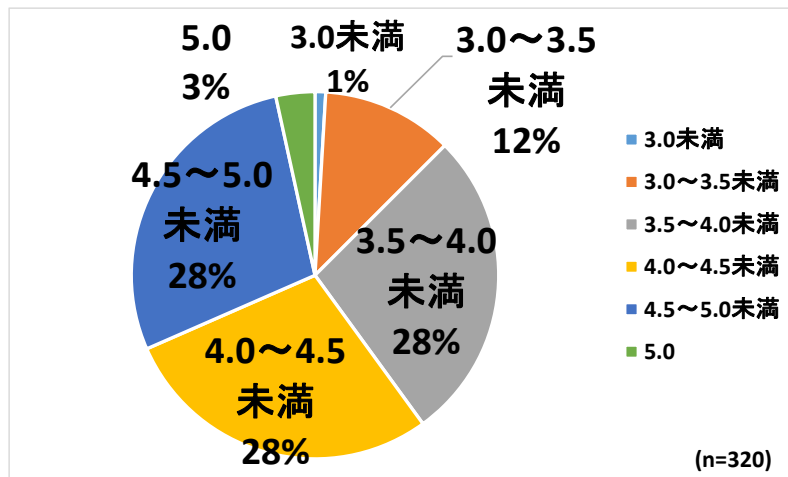


図 2 高校での評定平均

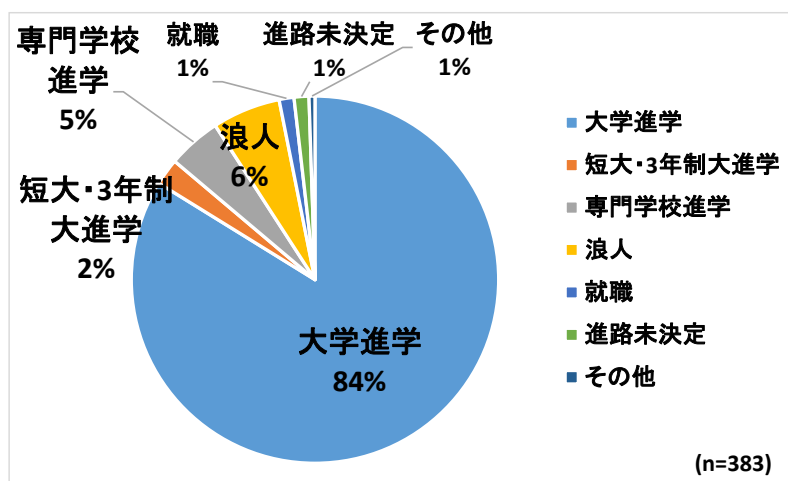


図 3 2026 年 4 月以降の進路

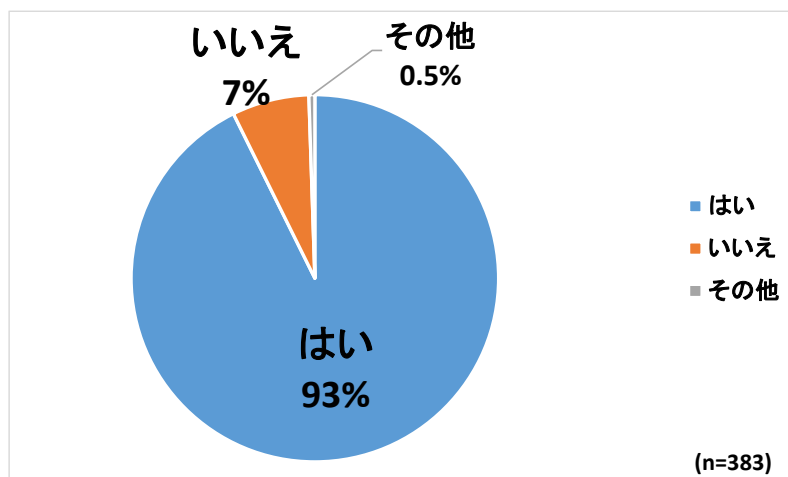


図 4 進学費用で保護者に気を遣ったか

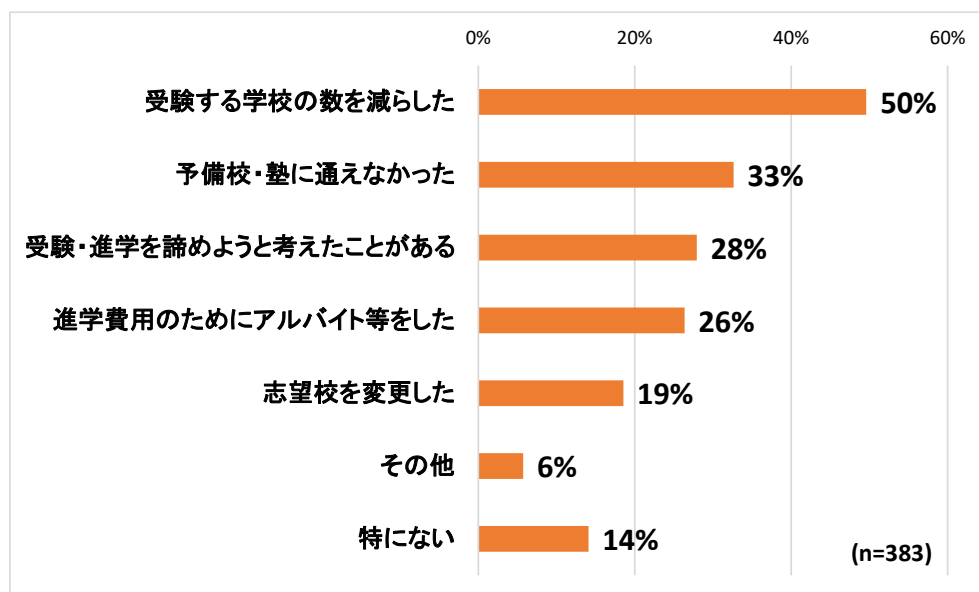


図 5 経済的理由による進学への影響（複数回答）

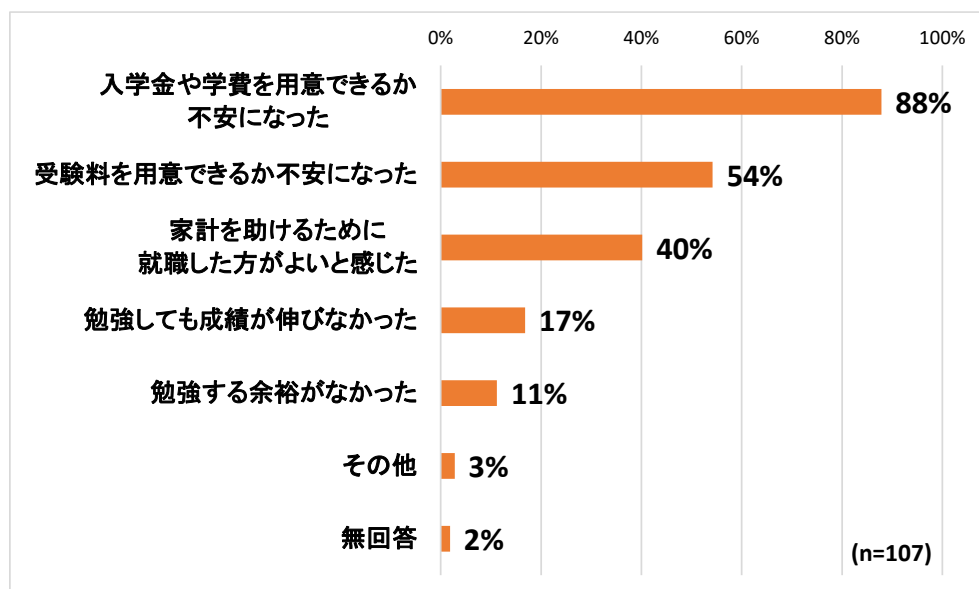


図 6 受験・進学を諦めようと思った理由（複数回答）¹

表 1 受験期間の悩みや乗り越え方
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ 経済的な不安全般

- ・ 4年大学に通いたかったのですが父親の病気で仕事ができる状態ではなく母が父の介護、家事、子育て等で大変だったので、とても悩みましたが、金銭面と両親を助けたい思いから通信教育のある短期大学に変更しました。
- ・ 県外にある第一志望の大学に合格したが、お金に余裕がなく進学することができなかった。
- ・ 受験のことやお金のことが頭から離れず、本当に進学してもよいのか、母の負担になる

¹ 経済的理由による進学への影響で、「受験・進学を諦めようと思ったことがある」を選択した方が対象。

のではないかなどグルグル毎日考えてしまいながらも勉強を続けていたので、体調が不安定になり受験期はずっと吐き気と戦う毎日でした。

- ・ 受験期の資金繰りに悩んだ。自分が入学する大学は、入学金だけでなく、学費を先払いし、進学辞退の際は返還される制度なのだが、そのためにひとまず振り込まなければならず親に気を遣った。支払期日までに母の仕事を手伝い、学費の足しにした。
- ・ 受験費用や入学金、授業料が足りず進学できないのではないかと不安になり、受験勉強のやる気に波があったが、入学前に受け取れる奨学金を調べ申請することで資金調達をした。
- ・ 入学金や授業料の用意が出来ないと言われて進学を諦めかけましたが、給付型奨学金と授業料減免を利用し、なんとか進学にこぎつけました。
- ・ 学校のスクールカウンセラーや担任、YSWの方とお話し、どうやったら実現できるかを話し合った。他にも民間の奨学金にたくさん応募して、大学の費用を貯めようと努めた。
- ・ 家族のために就職も考えましたが家族の後押しもあり頑張ろうと思えた。
- ・ お金がなく毎日一食だったが、どんなことがあっても勉強しようと努力した。

➤ 塾・予備校に通えない不安

- ・ 塾に通えて勉強できていたら県外他の大学の選択肢が選べたかなと葛藤もありました。
- ・ 塾の授業料が高く、母親に相談するのに気を使ってしまい、勉強に集中出来なかった。
- ・ 塾などに行かず自力で勉強していたので、夏頃に気持ちが不安定になり鬱気味になった。しばらく勉強から遠ざかった。
- ・ レベルの高い受験対策のしっかりできる塾に通いたかったが、高額の為それは無理でした。無料の学習スペースに毎日通い受験勉強していました。自宅より集中するために毎日行って勉強していました。
- ・ 希望の塾には通えなく、受験戦略や対策に不安があった。自習室会員の塾に通って自分で自習室を使い頑張った。
- ・ 塾などには通えないので、学校の先生方に色々と相談したり、教えていただきながら、受験に挑みました。
- ・ 塾に行っていなかったのが勉強の質問をしたい時などは姉に手伝ってもらいました。
- ・ 塾に行っておらず、学校も通信制高校に通っていたため受験戦略や参考書ルート、勉強法などを教えてくれる人がいなかった。なので、大学の説明会やネットからそれらの情報を仕入れていた。また、参考書ルートや勉強法は自分に合っており、最大効率を出せる方法であるかを常に自問しながら進めていた。
- ・ 塾に通えず独学で勉強をしていたので、孤独を感じた時がありました。クラスの友達と悩みを共有し何とか乗り越えました。
- ・ 経済的理由で、塾に通えず限られた教材だけで学習していた点で苦労しました。YouTubeなどの無料配信を視聴して学習していました。
- ・ 周りの友達が塾に通う中自分は通えなかったため、小論文の書き方を身につけることに時間がかかったことです。先生に質問し、添削をお願いしたり、YouTubeで動画を見ながら練習をして乗り越えました。

➤ 受験校の制限

- ・ 金銭的余裕がなかったため、私立受験を諦め、国公立一本で受験しました
- ・ 私立大学はお金がかかってしまうので絶対に国公立大学に受からないといけないというプレッシャーを感じていました。少しずつ勉強を重ねて、自信をつけていき、受験に臨

みました。

- ・ 私立は経済的に進学出来ないから、国公立のみ！と決めていたが、落ちてしまったらどうしようという不安。だから、年内受験や公募制推薦などを利用し、少しでも早めに行けるようにした。
- ・ 受験校数を増やしたいのにお金がかかるため増やせず併願校が少なくなり大変だった。
- ・ 受験料がかかることを懸念し、絶対受かりそうなところを入れ、大学数や学部数を少なくし、チャレンジ校や相応校を少なめにしてしっかり対策した。
- ・ 受験料の高さに悩みましたが、自分が本当に行きたいと思う学校のみ受験することにして解決しました。
- ・ 他に受験したい大学があったが、受験料も高く、迷惑をかけてしまうと思ったので単願受験、推薦にして、1校のみ受験しました。

➤ 参考書の購入

- ・ 学校での購入する教材とは別に大学別の参考や問題集の購入を親に言えない事があったが、先生や友達が貸してくれたりコピーしてくれたりと助けてくれました。
- ・ 苦手な教科の克服がむずかしかった。参考書の費用もかかってしまうので学校にあるものを使ってがんばった。
- ・ 参考書の購入費用が心配でした。学校図書館にある過去問題集を積極的に活用しました。
- ・ 参考書を買うだけでもかなり慎重になってしまった。できるだけ中古を買うようにした。
- ・ テキストなどを購入してもらうのをためらい、バイト代から捻出していた。

➤ 勉強場所の確保

- ・ 家で勉強をしにくかったけど自分で机を買って勉強スペースを作った。
- ・ 家に個人の空間がある訳ではなく集中して勉強し続けることが難しく、毎日図書館まで通いモチベーションや集中力を保った。
- ・ 小さい里子と一緒に生活していたので、朝や勉強しているときに騒がしい音が聞こえる時が何度かあった。そういう場合は、なるべく図書館や学校で勉強するようにして、家と外での勉強時間の配分を気をつけていた。

➤ 学業に専念できない葛藤

- ・ アルバイトを続けながらの受験になり、勉強を十分にできなかった。
- ・ アルバイトに時間が割かれて面接などの練習があまりできなかった。空いた時間に動画などで知識を蓄えて備えるようにした。
- ・ 受験勉強とアルバイトの両立が難しかったが、奨学金のおかげで、平日は勉強に専念することができた。
- ・ 受験勉強とバイトの両立に苦労したが、日々スケジュール管理に努め、時間の管理の仕方を練習した。自分に合った参考書選びに時間をかけ、また参考書も多くを中古で買うなどして時間と費用を最大限活用できるようにした。
- ・ 家事などに時間を取られ、勉強時間が確保できない時期があった。
- ・ 家事を任せっきりをしていることに罪悪感を覚えた。その程度も乗り越えられないようじゃどのみち落ちる、といった気持ちで逆に手伝えることにした。
- ・ 浪人中はアルバイトをしながらの宅浪生活だったのでバイトをしている間にも他の人は勉強をしているのではないのかと不安になったり、入学金の準備が間に合うのか怖かった時もありましたが、奨学金を頂けたことでバイト時間を減らすことができてとても安

心しました。

- ・ 親元を離れているため、家事をやる時間が必要だったこと。周りよりも勉強できる時間が少なかったこと。受験 1 週間前からは母親が来てくれてサポートしてくれた。
- ・ 受験期においては、進学に必要な費用を用意できるかという経済的な不安が大きな悩みでした。また、勉強に集中しなければならない中で、家族の状況にも配慮しながら両立していくことの難しさを強く感じていました。こうした精神的・時間的な負担を抱えながら受験に向き合っていたことが、当時の大きな課題でした。

➤ 成績の伸び悩み

- ・ 共通テストの点数が模試でも伸び悩み、志望校が受けられないだろうなあと悟りつつあり、共通テスト 1 か月前は友達に心配をかけるほど取り乱しました。しかし、落ち込んでいる暇はないので、とにかくギリギリまで 1 点でも取りに行くことを常に心がけました。勉強の心配は勉強で解消することが 1 番だと思いました。
- ・ 苦手な数学でかなり精神的に苦労した後に、得意の生物をして自信を取り戻すなどしてモチベーションを維持した。
- ・ 苦手教科の点数がずっと伸びなくて他の人と比較してしまい精神的に辛い時期があったが、友達どうして励まし合ったり家族や先生方に応援してもらえたことで、自分のやるべきことに集中して取り組めるようになった。また自分の最も集中できる時間で分けて勉強するようにした。
- ・ 高い模試を受ける分、結果が十分でなかった時の不甲斐なさや親への申し訳なさがひとしおでした。考え方をよりフラットにして最低限基礎だけを固めてせめて土台から型崩れしないよう模試にも試験にも望むようにしました。そうすることで自然と点数も安定し、少しずつ伸びていくことが実感できました。
- ・ 過去問や模試で中々目標点が取れない時は、とても辛かったですが、自分なりに改善点を見つけ、弱点を克服し、点数を伸ばすことができました。
- ・ 受験勉強で大変だったことは、模試の点数が安定しなかったことです。例え模試の点数が低かったとしても、苦手な教科の復習を徹底して取り組み、穴をなくすことで最後の方の模試は点が安定するようになりました。

➤ 面接・小論文の対策

- ・ 志望理由書を書く時に自己分析をして書き出すことが難しかったが、しっかり自分と向き合う事で書き上げることができた
- ・ 面接が緊張しました。何が聞かれるのか分からないものなので対策のしようがないので何を聞かれても良いように準備しました。
- ・ 面接が不安でいっぱいでしたが、先生方が何度も面接練習をしてくれたおかげで少しずつ不安が解消されていきました。
- ・ 面接練習を何度やっても上手くできるか不安だったが、面接官にここまで来た経緯を 1 から話すことで合格出来た。
- ・ 過去の受験の情報がまったくなかったが、ChatGPT を利用して面接の練習をしたり一人でなんとかした。

➤ 周囲の支え

- ・ 私は里親家庭に来たのが高校 2 年だったから、受験ということ以前に心身ともに疲れ、不安でいっぱいだった。それを助けてくれたのは里親さんであり、私も誰かを救い、支

えたいという思いを抱かせてくれた。

- ・ ストレスが溜まったりすることがあったが、周りの友達と一緒に勉強しようと元気づけてくれ、それらが努力の元になった。またゴールドマン・サックス奨学金の有用な文房具やお菓子などで自分と一緒に頑張っている人がいると感じ頑張れた。
- ・ 勉強に加え、学校生活などの他の悩みもあり辛かったけれど、先生方や友人、そして支援機構の方々、たくさんの応援してくださる方が自分にはいるとわかって頑張ることができた。
- ・ 受験料や学費を用意できるか不安でしたが、施設で職員と相談していくうちに解消していきました。
- ・ 志望校のレベルが高かったので、勉強を諦めそうになったが、周りの人に目標を共有していたので、何度も励まして貰え、最後まで頑張ることができた。
- ・ 志望校を 2 つに絞り、公立大学と私立大学の受験の勉強を部活と両立してやりました。学校の先生方の協力や友達とみんなで乗り越えました。
- ・ 今やっている勉強が本当に合ってるのか。色んなことが初めてで分からなかったのを、沢山の人の話を聞いたり、親に協力して貰ったりして乗り越えました。
- ・ 周りの受験生との差を感じ、自分の実力に自信を持てなくなることが多かったです。それでも、応援してくれた家族、先生、友達などのおかげで自分に自信を持てるようになり、受験を無事乗り越えることができました。
- ・ 浪人は毎日が変わらない日々で鬱屈とした気分になりましたが友人と昼食を食べる時間や会話する時間を大切にして精神の安定を保ちました。
- ・ 自宅浪人だったため、分からない問題があった時に質問しにくかったけれど、卒業した高校の先生や友達に教えてもらって乗り越えました。

➤ その他

- ・ ひとり親で親が外国出身で受験制度について詳しくなかったため、志望校の出願やサイト登録、移動手段やホテルの予約などをほとんど 1 人で行ったことは少し大変だった。わからないことはその都度調べてなんとかした。キッズドアの LINE の受験情報が役に立った。
- ・ 自宅が遠隔地にあり、JR 線しかないため、模試や検定試験を受けるのに交通費が高く苦労しました。

3.2 受験に必要な支援

今後実施してほしい受験関連支援について最大 3 項目までの複数回答形式で質問した結果、最も多くの回答者が選んだのは「受験料の免除」(59%)であった。「ひとり親家庭への支援」(54%)、「給付型奨学金の対象者拡大・増額」(52%)も半数超が選択している。

自らの受験期間にほしかった支援としては、共通テストを含む受験料への支援、塾や予備校に通うための支援などが多く挙げられた。塾や予備校に関しては、代わりになるものとして、無料の添削・質問サービスや学習支援、勉強計画についてのサポートなどを求める声もあった。受験関連の情報として、入試方式についての分かりやすい情報、受験料割引など経済的負担の少ない学校の情報、同じような境遇の受験生の体験談などがあるとよいとの回答もあった。この他にも、模試や参考書にかかる費用の支援、受験会場までの交通費・宿泊費の支援、入学金二重払いの問題解決、授業料等減免における立替払いの改善を求める回答もあった。

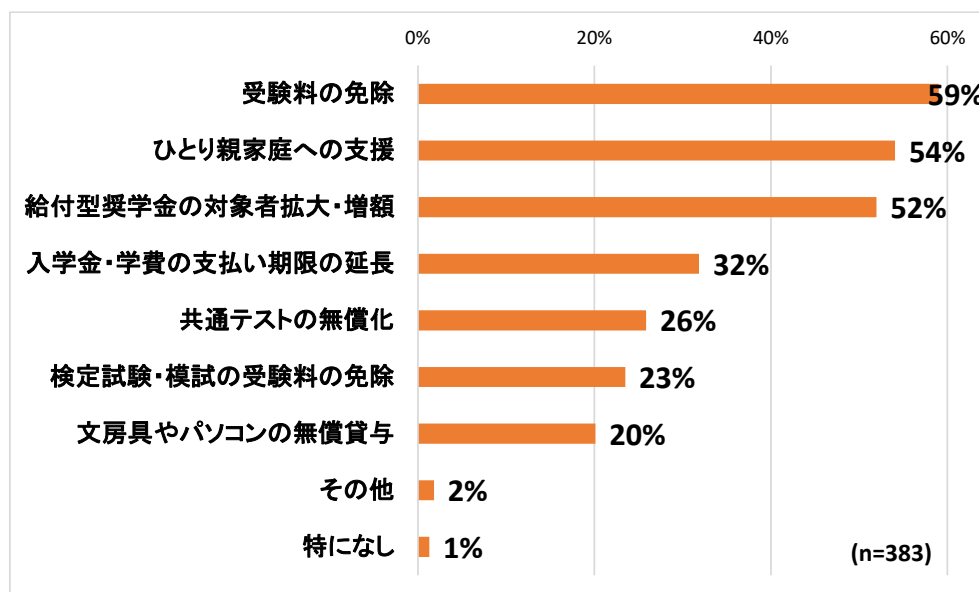


図 7 今後実施してほしい受験関連支援（最大3つまでの複数回答）

表 2 受験期間にほしかった支援
（自由記述、一部抜粋・引用者にて編集）

➤ **受験料**

- ・ 共テや受験料の補助
- ・ 私立大学の受験料の支援
- ・ 出願する大学の入学検定料の減額や免除
- ・ 受験料を借りられる制度があると一旦費用面の問題を置いて受験しやすかったかなと思います。

➤ **塾・予備校**

- ・ 塾に通うための補助金など
- ・ ひとり親など低所得層への塾の費用を安くしてほしい。
- ・ 塾に行けない分、オンライン授業などのサポートがあるとさらに嬉しく思います。
- ・ 無料の添削・質問サービス。ネット上だと確実性に不安があり、有料サービスは難しかったため。
- ・ 自分は、金銭的な事情から1校のみの受験しか考えていなかったため、指定校推薦を第一に狙っていました。その際の、小論文講座などに、まわりの友だちたちは予備校や塾にたくさんかよっておりましたが、zoomなどでの添削があれば嬉しかったです。
- ・ 無料で学習できるスペースの提供。無料で学習支援を行ってくれる場所。進路や家庭のことを相談できる公的な場所。
- ・ 予備校とは言わないので勉強計画が正しいかわかるようなサポート機関があると有り難いと思います。

➤ **受験関連の情報**

- ・ 出願スタイルや入試方式が複雑化のため、分かりやすい情報サイトがあればいいと思う。
- ・ 複数の学部を受けたら受験料が割引になったり、共通テスト利用での出願が無料の大学が探したらあったので、それについてまとめた資料が欲しかったです。

- ・ 過去に受験を受けた先輩達の声とか聞けたり、受験までにした方が良い事や、大学に関する状況提供があると、ありがたいなと思いました。
- ・ オンラインによる受験に関する話が聞ける機会があれば良かったです。
- ・ ひとり親家庭や支援を受けている受験生が悩んだことについて知りたかった。
- ・ 同じような状況の人がどうやって受験を乗り越えたかを知りたかった。

➤ 模試、参考書

- ・ 模試の無償化
- ・ 模試等の受験料無償か、割引などがあればもう少し多く受験したかったです。
- ・ 毎月ある模試の費用の助成
- ・ 参考書代がかなりかかったのでその支援が欲しかった。
- ・ 参考書代が何冊も必要だったので、補助金があればよかった。中古でもいいので、支援があればよかった。
- ・ 教材や参考書の無償貸与
- ・ 赤本配布

➤ その他

- ・ 入学前にもかなりお金が必要になり困ったので、入学準備期間中に借りることのできる貸与奨学金。
- ・ オープンキャンパスへの交通費支援、受験会場への交通費支援。
- ・ 受験の際の宿泊費や交通費の支援をしていただけるとありがたいです。
- ・ 私立の入学金を補助する制度があればいいと思った。
- ・ 私立大学の入学金の返金や免除、受験料が高額な事と、入学金の二重払いの問題の解決をお願いしたいです。
- ・ jasso で授業料減免の制度が 1 年生は返金ではなく、全大学が 1 度支払わなくてもいいようにしてほしい。
- ・ 1 日に 1 冊大学ノート消費していた時期があり、母がバザーなどを探し回ってノートを大量に購入してくれました。各家庭で余った文房具や消耗品を寄付してもらい、欲しい人に届けられるようなしくみの支援があれば良かったです。
- ・ パソコンとプリンターの貸与などあれば助かります。

3.3 2026 年 4 月以降の生活

回答者の多くは、進学後の経済的な面について不安を感じている。進学後に学費が支払えずに退学してしまうという点については約 7 割が不安と回答している（「とても不安」(21%) と「少し不安」(50%) の合計）。さらに、進学後に学費や生活費のためのアルバイト等で勉強が滞るという点については約 8 割が不安と回答した（「とても不安」(30%) と「少し不安」(53%) の合計）。

進学後にアルバイトで得たい毎月の収入としては、「5～10 万円未満」(48%)、「3～5 万円未満」(31%) との回答が多い。学費や生活費などお金に困った場合の相談先では、「親や兄弟、親戚」(82%) が約 8 割と特に多く、「大学や専門学校の学生課・教員」(24%)、「友人」(17%) が続く。「相談する人はいない・相談しない」との回答は 4%であった。

現在抱えている悩みや困りごととしては、進学後の学費や生活費への不安が非常に多く寄せられた。「経済的理由で大学を退学せざるを得ないことにならないかが心配」、「児童養護施設を出た後の大学の授業料を自分のアルバイトで払っていくことが不安」、「本当にお金がなく、毎日お母さんが「どうしよ

う？」とこぼしており、助けたいけど、今の私にはどうしようもなく、途方に暮れています」といった心情が伝えられている。経済的な問題を解決するために必要なアルバイトについても、アルバイトに追われて学業に支障が出ることを心配する声が複数あった。奨学金が支給されるまでの費用のやりくり、将来の奨学金の返済についての回答もあった。

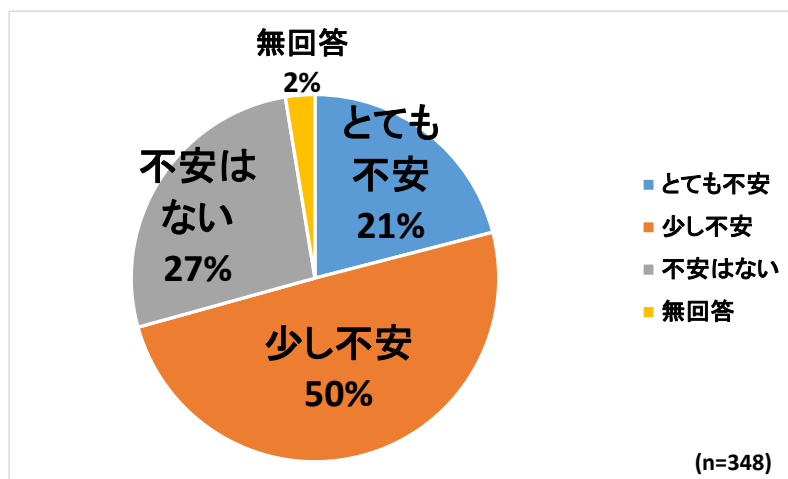


図 8 進学後に学費が支払えずに退学してしまうという不安²

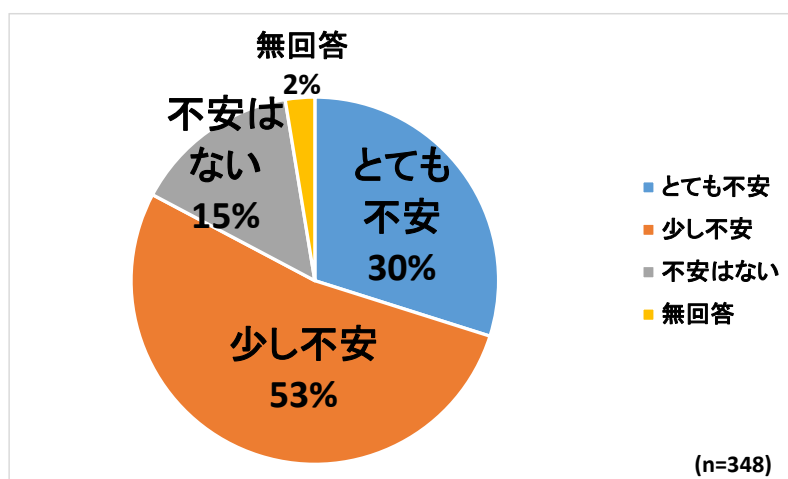


図 9 進学後に学費や生活費のためのアルバイト等で勉強が滞るという不安³

² 2026 年 4 月以降の進路で、「大学進学」・「短大・3 年制大進学」・「専門学校進学」のいずれかと回答した方が対象。

³ 2026 年 4 月以降の進路で、「大学進学」・「短大・3 年制大進学」・「専門学校進学」のいずれかと回答した方が対象。

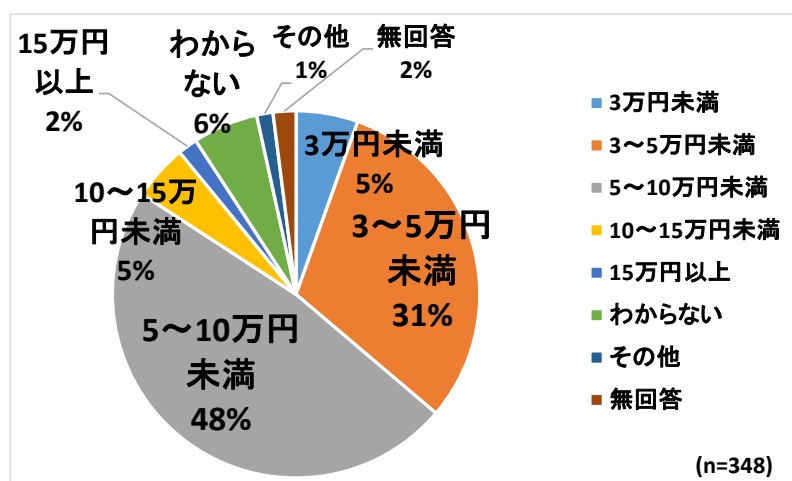


図 10 進学後にアルバイトで得たい毎月の収入⁴

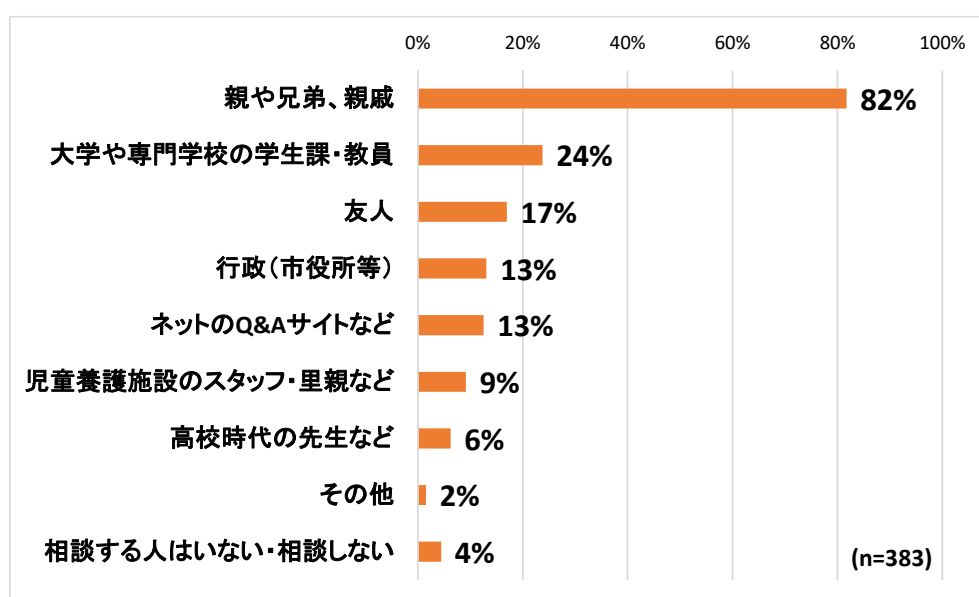


図 11 学費や生活費などお金について困った場合の相談先（複数回答）

表 3 現在抱いている悩みや困りごと

（自由記述、一部抜粋・引用者にて編集）

➤ 進学後の学費や生活費

- ・ 大学に4年間通い続けることができるか不安。お金が足りないかもしれない。
- ・ 学費と生活費を自分で賄えるかが不安です。
- ・ 経済的理由で大学を退学せざるを得ないことにならないかが心配です。
- ・ 父が寝たきりの状態で、家計を母のアルバイト収入に頼っているため、私立大学への進学に伴う学費を用意できるかという経済的な不安があります。
- ・ 親からの支援がないため、奨学金で入学はできたものの、児童養護施設を出た後の大学の授業料を自分のアルバイトで払っていくことが不安。
- ・ 看護学部は思ったよりも、お金がかかることがわかり、学費が支払えるか不安です。
- ・ 進学は決まったがひとり親世帯のため母は進学資金を作るのにとても苦労しているのが

⁴ 2026年4月以降の進路で、「大学進学」・「短大・3年制大進学」・「専門学校進学」のいずれかと回答した方が対象。

わかる。入学手続き、アパートの契約も済んでいるがこの先のお金が心配です。

- これからの学費が医学部なので、授業料以外にどれくらいかかるか。
- 4月から、私の大学生活と弟の高校生活が始まり、制服代や大学に使うパソコン代などの出費が多く、食事もなんとか切り詰めて過ごしている日々です。本当にお金がなく、毎日お母さんが「どうしよう？」とこぼしており、助けたいけど、今の私にはどうしようもなく、途方に暮れています。
- 進学先の大学に必要なパソコンが、18万と27万と言う予想より高いのが困っています。
- 進学先でパソコンが必要になるので、アルバイトして、少しでも親の負担を減らしたい。
- 大学から保険や生協、同窓会費等、入学金と授業料の他に予想していたかった費用が次々に請求され不安に感じています。
- 留学が必須の学部なので、費用をどうするか。
- 大学院進学に向けて、貯蓄や費用をどうすればいいか。
- 通学の交通費、下宿するならば生活費。
- 一人暮らしを始めるにあたり、家賃の高騰に悩んでいます。
- 持病があるため、18歳以降のひとり親の支援(医療費)がなくなると病院代、お薬代がかかること。

➤ 学業とアルバイトの両立

- 授業料等を支払うためにアルバイトをたくさんしなければいけないため、学業に支障がでるのではないかということ。
- 大学では実習が多いので学業とアルバイトを両立できるか心配です。
- 大学進学後には生活費まで自分で準備しなければいけません。学業と両立していけるのか不安です。
- 東京での生活費捻出の為、アルバイトに追われて、勉強が疎かにならないか心配しています。
- 入学しても卒業できるかまだまだ不安です。親の病気が今年悪化して通院費と学費、生活費がかさみ奨学金だけではカバーできない見通しになり、アルバイトをどれだけこなせば大学生活を送れるか漠然と不安感しかありません。
- 勉学とアルバイトの両立がこなせるか。これから、目に見えない出費もあると思うので春休みはアルバイトを沢山入れています、新学期が始まるとどこまで働けるのか分からないので心配です。
- アルバイトをはじめました。入学前の課題と両立させながら大学生活へシフトチェンジしています。

➤ 大学での勉強や人間関係

- 大学で良好な人間関係を構築することができるのか。
- おそらく大学では自分よりもずっと良い家庭環境で育った子が大半なので価値観や金銭感覚が果たしてどれくらいあっているのかと言う疑問。
- 通信教育なので新たな人間関係を作るにはどうすればいいか不安です。
- 大学の講義についていけるか。単位を落とさないか。
- 大学の勉強についていけるか不安。留年になれば Jasso の奨学金もなくなるのでプレッシャーになっている。ですが薬剤師を目指して頑張ります。

➤ **奨学金の利用と返済**

- ・ 給付型の奨学金に採用されるだろうかの心配。
- ・ 奨学金がきちんと借りられるか、返還がきちんと出来るかが不安。
- ・ 奨学金が返済必要なものがあることで、将来的に負担が続くそうというところで不安がある。
- ・ 親の反対を押し切り専門学校に進学を決めましたが、大学と比べ民間の給付型奨学金がほとんどなく、あるならそういった情報が欲しいです。
- ・ JASSO などの奨学金は入学後からしかもらえないので入学前に受けられる金利なしの奨学金があったらいいなと思います。
- ・ JASSO の奨学金の支給が始まるまでの費用のやりくり。
- ・ 母子家庭で弟と妹が 4 人いるので僕が大学に行く事で国の授業料無償化とはいえ入学前に入学金授業料を振り込んでいるので母親が大変だったと思うので、後から返ってくるのではなく入学金や授業料無償化になるならよい制度を作してほしい。
- ・ 6 年制大学向けの奨学金が少ない。

➤ **浪人生活**

- ・ 浪人したい気持ちがあったけど、金銭的にも精神的にも難しく感じて断念した。
- ・ 浪人費用をどうするか、予備校か宅浪か。
- ・ 後期の結果次第では浪人させてもらうことになりそうだが、経済的に予備校に通うつもりはなく、小論文をどう対策すべきか、通信教材の添削サービスを使うかどうかなど悩んでいる。規則正しい生活リズムで頑張れるか不安。
- ・ 医学部への進学が捨てきれず、浪人したい気持ちもありますが、経済的理由で、浪人はいできない。

3.4 自身の気持ちと変化

本調査では、受験期間を終えた受給生に自身の気持ちについて質問している。これらの質問項目については、2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時にも同様の内容を聴取しており、その結果についても併せて掲載する。自身の気持ちについては、8 つの質問に対し、それぞれ 4 段階で回答してもらっている（「とてもそう思う」/「まあそう思う」/「あまりそう思わない」/「全くそう思わない」など）。

まず、受給決定時と本調査の両方に回答した 377 名のグループを対象に回答結果を比較した。その結果、全ての質問で、受給決定時と比べて前向きな回答の割合が低下していることが分かった。次に、回答者一人一人の回答の変化に着目した。8 つの質問項目全体で見ると、ポジティブな変化をした回答者が 3 割、ネガティブな変化をした回答者が約 6 割となっている⁵。

一方で、この 1 年での自身や気持ちの変化を直接尋ねた質問では、「以前より自分の将来に希望が持て、頑張ろうと思うようになった」(58%) が約 6 割、「人に相談したり、助けてもらったりすることが増えた」(41%) が約 4 割と、前向きな変化があったとする回答者も一定程度いる。

⁵ 各質問に対する 4 段階の回答を、最も前向きな回答を「4」として、「1」～「4」で得点化し、第 1 回（受給決定時）と第 2 回（本調査）の得点の比較を行った（例：「自分には夢や目標を叶える力があると思うか」に対して、「とてもそう思う」→4、「まあそう思う」→3、「あまりそう思わない」→2、「全くそう思わない」→1）。同一の回答者で、第 1 回に比べて第 2 回の得点が上昇した場合に、ポジティブな変化があったとしている。

表 4 各質問への前向きな回答の割合

	第 1 回 (受給決定時)	第 2 回 (本調査)	差分
周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えているか (「とてもそう思う」・「まあそう思う」)	87%	78%	－9
自分には夢や目標を叶える力があると思うか (「とてもそう思う」・「まあそう思う」)	91%	87%	－4
自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもあるか (「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」)	63%	53%	－10
自分の将来に不安を感じているか (「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」)	27%	26%	－1
大人になるのが楽しみか (「とてもそう思う」・「まあそう思う」)	80%	69%	－11
今の社会は公正だと思うか (「とてもそう思う」・「まあそう思う」)	36%	34%	－2
困っているとき、周囲の大人や友人が助けてくれると思うか (「とてもそう思う」・「まあそう思う」)	90%	88%	－2
困ったときに人に相談することはどのくらいあるか (「必ず相談する」・「ときどき相談する」)	77%	71%	－6

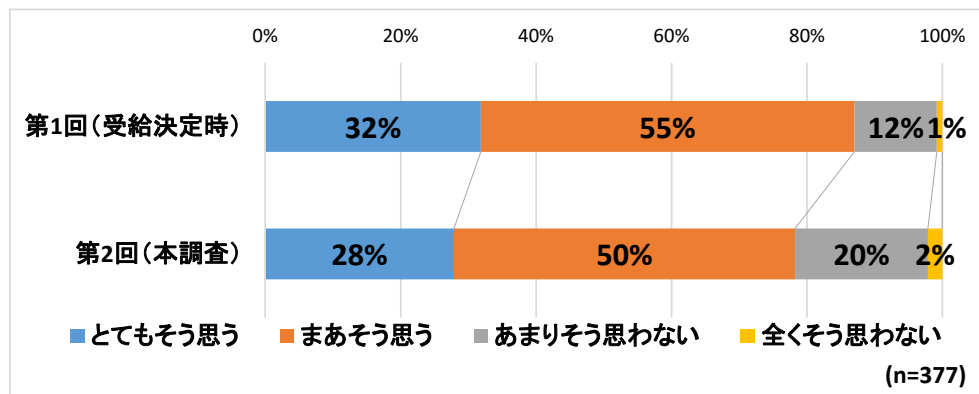


図 12 周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えているか⁶

⁶ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

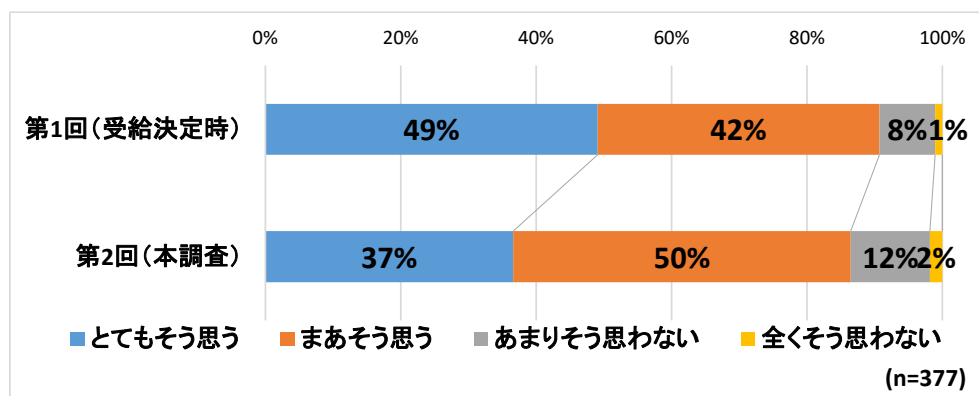


図 13 自分には夢や目標をかなえる力があると思うか⁷

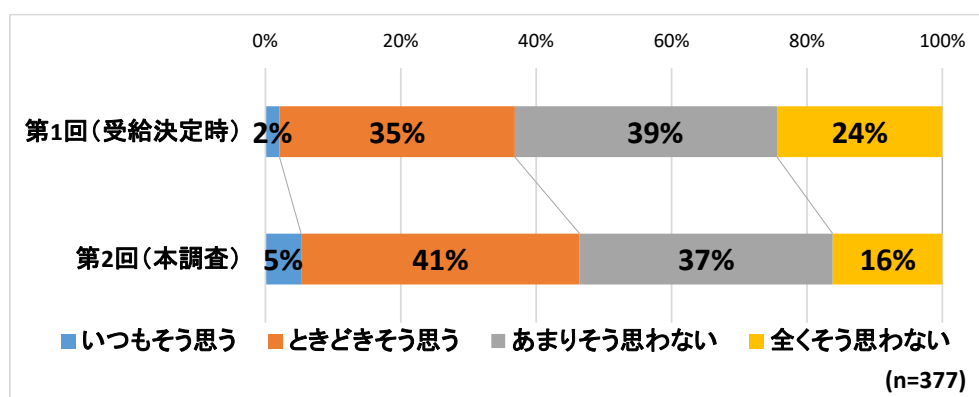


図 14 自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもあるか⁸

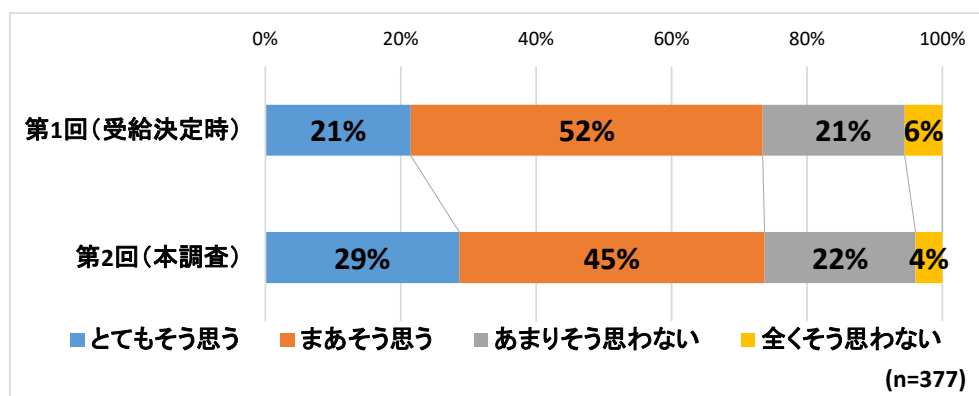


図 15 自分の将来に不安を感じているか⁹

⁷ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

⁸ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

⁹ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

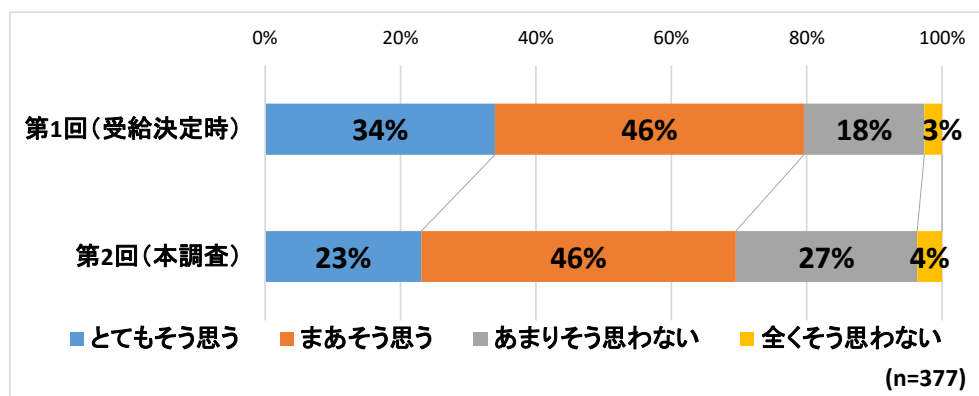


図 16 大人になるのが楽しみか¹⁰

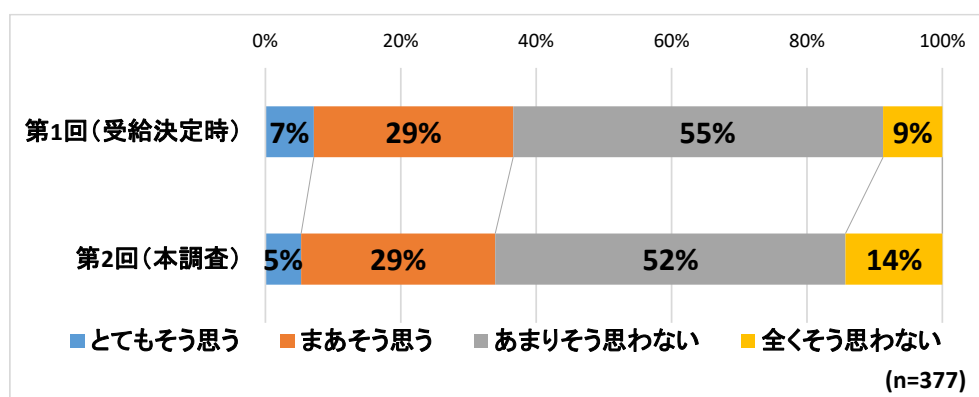


図 17 今の社会は公正だと思うか¹¹

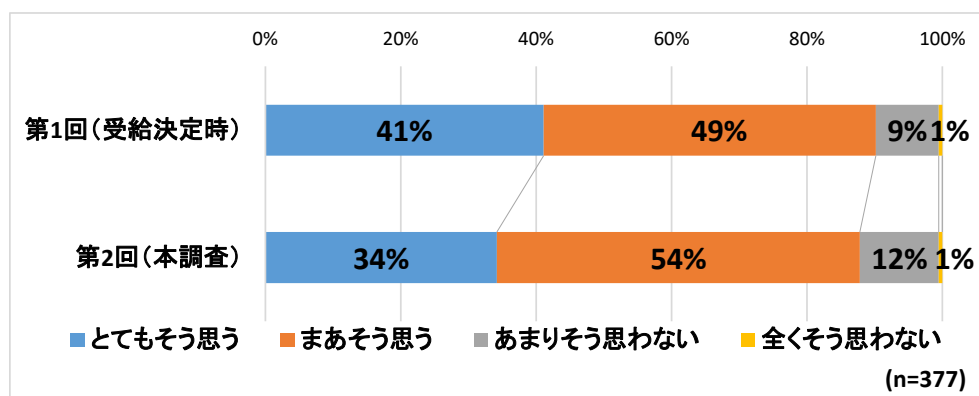


図 18 困っているとき、周囲の大人や友人が助けてくれると思うか¹²

¹⁰ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

¹¹ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

¹² 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

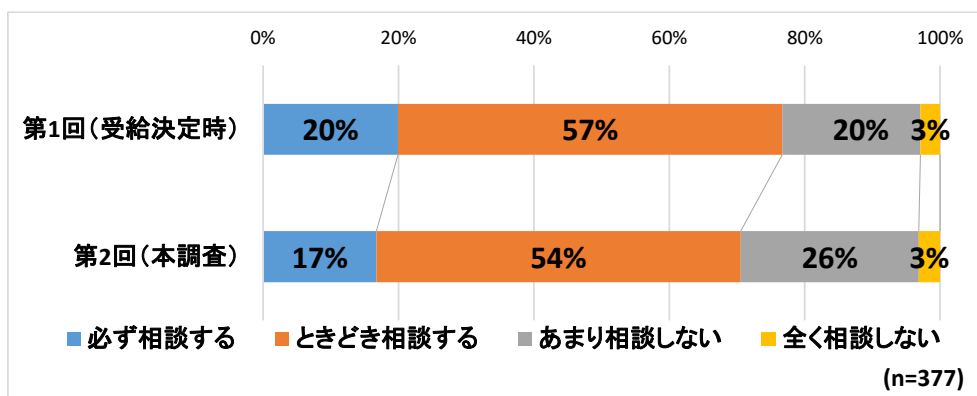


図 19 困ったときに人に相談することはどれくらいあるか¹³

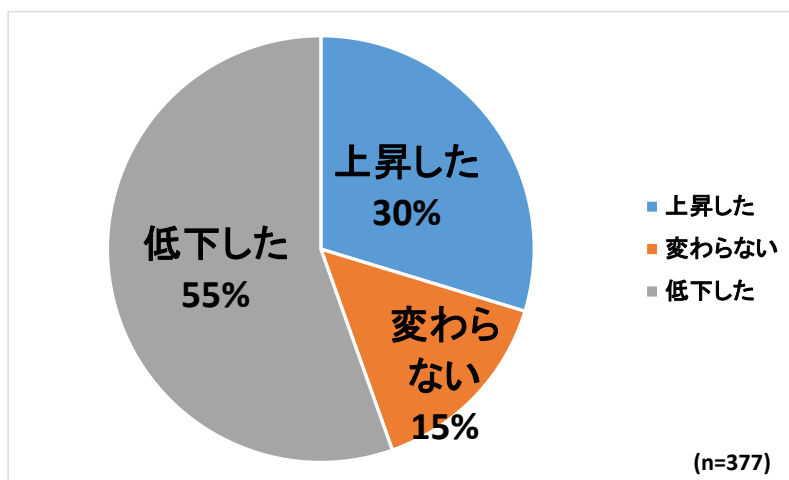


図 20 受給決定時と比べた回答の変化（8つの質問項目合計）¹⁴

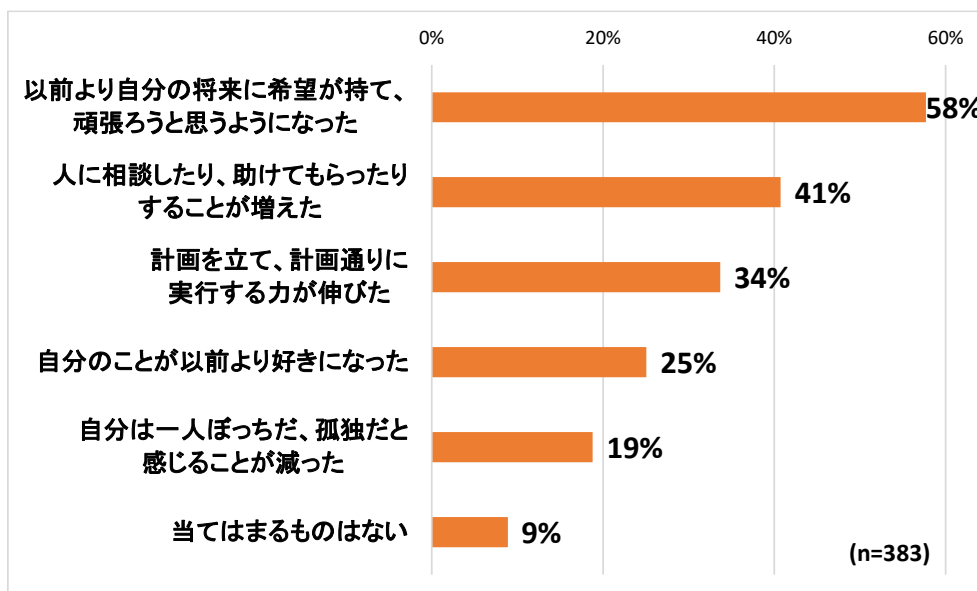


図 21 この1年での自身や気持ちの変化（複数回答）

¹³ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

¹⁴ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

3.5 受験をしてよかったと思うこと

「受験をしてよかったと思うか」という質問に対しては、約 8 割が「とてもそう思う」（76%）と回答した。「まあそう思う」（22%）と合わせると、ほとんどの回答者が受験をしたことを肯定的に捉えている。

受験をしてよかったと思うことの内容としては、将来の夢や目標に近づくことができたこと、学びたい分野について学ぶことができることなどが多く挙げられた。また、受験期間を通して、物事を前向きに捉えられるようになった、諦めないことの大切さを学べた、挑戦してみたら叶うかもしれないという希望を持てた、目標から逆算し、計画を立てて、実行していくスキルを身につけることができたなど、自身の様々な成長を感じたことを伝える回答も多く見られた。やり遂げたということが自信につながった、自分に価値があると感じることができたとの声もあった。受験に挑戦する中で、家族、先生や友人のありがたみを感じた、感謝の気持ちが強くなったといった回答も複数寄せられた。

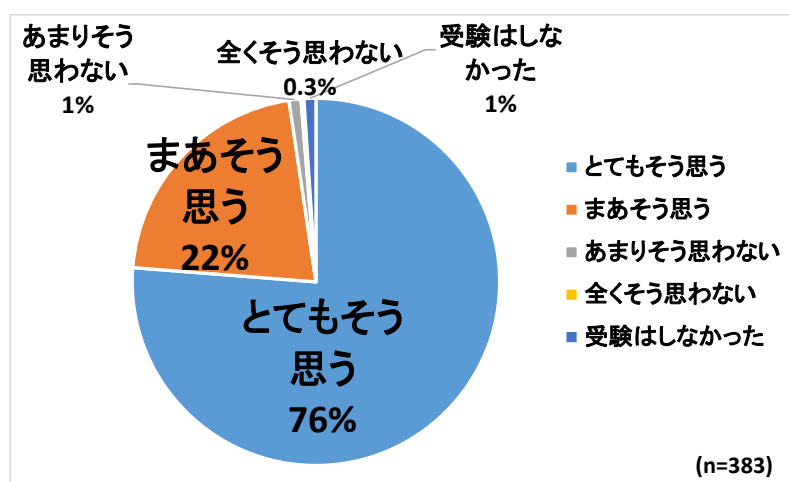


図 22 受験をしてよかったと思うか

表 5 受験をしてよかったと思うことの内容
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

- 将来の夢に近づくことができた
- ・ 英語コミュニケーション力を身につけ英語教師になる為の第 1 歩になるから。
 - ・ 将来の夢である教師となるためには大学に進学し資格を取得することが必要となってくるため大学を受験し合格することでやっと自分の夢へのスタートラインに立つことができたと思い受験してよかったと思います。
 - ・ 薬剤師になる目標の通過点でしかないけど、努力が報われて自信にもなった。
 - ・ 将来の夢は空港のグランドスタッフになることなのでそのために大学進学ができ、英語を学べることで将来の夢へ 1 歩近づくことが出来たため。
 - ・ 将来、救急救命士になる為に大学の準備をしている時。
 - ・ 将来の夢が養護教諭だったが、他にも青少年育成官などがあり、職業の選択肢が増えたため。
 - ・ 大学に合格できて、保健師や助産師の選択肢がふえたこと。
 - ・ 自分のずっと目指していた夢に向かって努力することができるからです。勉強できることは当たり前ではなく、とても幸せなことだと考えているからそう思います。

➤ **学びたい分野について学ぶことができる**

- 行きたい大学に行けたからです。自分の学びたいことを学べて将来の幅を広げることができたので受験はとても有意義だったと思います。
- 自分の学びたい学科で学びたい分野のある大学に合格したから受験して良かったです。
- 自分の少しでもやりたいと思った勉強ができるんだと実感した時に受験して良かったと思う。高校までとは違い専門的な分野の勉強が増えると思うため、より自分の興味にあった楽しい学びになると思うから。
- 将来の夢のことや、自分の興味があることを追求できると思うと、すごくワクワクしてきて、より勉学に力を入れることが出来ると思うから。
- 自分の可能性が広がること。大学進学をすることによって、世界遺産保全について詳しく知れる学べると思った時の喜びを感じました。
- 自分の将来の可能性を広げることができるから。大学では自分の得意な分野、好きな分野への理解を深めやすいと思ったから。
- 就職するという道もありましたが、大学に行くことで学びたいことを専門的に深め、視野を広げることが出来るし、大学生の方々とお話するときに尚更そのように感じるから。

➤ **自分自身の様々な成長を感じた**

- つらいこともたくさんあったけど、自分にとって精神的に大きく成長できたと思っているし、「〇〇に比べたら…いける」と、物事に前向きに捉えられるようになった。いいことだけじゃなかったけど経験したことは全部必要だったと思う。
- 受験をしたことで、精神的な面で成長することができたと感じています。模試の結果が悪かった時は「次こそはいい結果を出す」と前を向くことで、忍耐力と粘り強さを養うことができました。この成長は受験をしなければえられなかったものだと思います。
- 自分のこれからの人生をしっかり考えることが出来た。様々なことについて考える機会が増え、人として大いに成長できた。また、他人へ感謝する気持ちを持つようになった。学ぶことの面白さを実感することが出来た。さらに今まで一番の挫折を味わいながらも時には人の力をかりながら立ち上がる経験自体物凄く宝物になったと思う。
- 正直苦しい時もあったけれど人生で1番勉強したと思うのでこれから諦めないことの大切さを学べたからです。また、国家試験の時にこの勉強したことが役立つと思うからです。
- 体育教師になると決めて、自分なりにやり切ったことです。受験は孤独で本当に辛かったけど、辛さに屈せず、勉強をやり切れた人は必ず困難を乗り越えていけると思えるから。
- 辛く長い受験を乗り越えたからこそ、今後の困難にもきちんと立ち向かえるような忍耐力が得られたと思います。
- 長期的な目線で計画を立て、勉強法を模索し、それらを成績や自身の能力を考慮しながら修正していくという、社会的に生きる上で欠かせない能力を早くから身につけることができたため。
- 点数を取ることと、楽しむことのバランスを取りながら勉強をすることができた。そして、何よりも不安やプレッシャーにうまく対応する力がついたと思う。うまくいかないときにも継続し続けられるようになった。
- 判断力が身についたこと。想定外の質問を投げかけられた時の判断力や即答力が身についたと思いました。

- 自分の目標から逆算し、計画を立てて、実行していくというスキルを身につけることができたことです。理由は、ただ単純に勉強するのではなく、今の自分には何が足りないのかを徹底的に分析し、自分の勉強計画を修正していくことができたと思うからです。
- がんばる楽しさを知れたことです。なぜなら、受験勉強をがんばった分、受かったときの達成感が得られるからです。私は受験勉強の期間、最初はどのように勉強するか迷っていました。そんな私を見て、友人の1人が勉強を教えてくれることになり、放課後や夜に通話をしながら受験対策をしました。教えてくれた友人は教えるところを分かりやすくノートにまとめたりと手間をかけて工夫してくれました。それに応えるために私も復習を徹底しました。そして受験本番では、一緒にした内容が出ていて、最終的に私は志望校に合格することができました。合格したときその友人への感謝と達成感でいっぱいでした。その時これががんばることの楽しさなんだと強く思いました。
- できるかできないかわからないことを実現したいと思ったときに、端から諦めず挑戦してみたら叶うかもしれないという希望を持てたこと。高校受験では情報収集や勉強をしっかりとっておらず、行きたかった難しい高校を諦めて受けもせず、担任に勧められた難易度の学校の受験を受けて合格したが、入学した後もそのことがずっと心残りだった。そのため大学受験では行きたい学校を目指して多少自分の力でもギリギリとか、難しいような学校への受験をきちんとしたいと思っていた。この度はそれを実現できてしかも受からないだろうなと思っていた学校に受かることができたから。

➤ 自分に自信が持てるようになった

- 元々勉強が苦手で成績も良くは無かった高校生活でしたが、受験勉強を通して自主的に勉強する習慣が付いた事、また実際に大学合格を勝ち取り、自分に自信が付いたのが受験して良かったです。
- 行きたい大学に進学するために勉強に集中し、結果がどうであれ、ここまでやり遂げたということが自信に繋がった。
- 辛いことや苦しいことがたくさんあったけど、それらを乗り越えられた（経験した）ことが私の今の自信につながっていると感じる。自信満々な訳ではないが、前よりも自分を好きになれたし物事を前向きに考えられるようになったから。
- 第一志望の大学に合格でき、努力したことが結果として表れたので、受験して良かったです。そして、最後まで諦めず、頑張り続けることができたことが、自分の一つの自信となりました。
- 通信に進学してから高校2年生まで、自分の人生に希望が持てなくなっていたが、受験という目標が出来たことで、あと1年だけ生きてみようとおもい、その期間で夢や目標、私は頑張れるという自信が付き、応援してくれる人の存在も知ることができた。また受験を通して出会った人たちの考え方や価値観に感化され、自分の新たな価値観が形成されていった、この受験期を乗り越えたことで、これからどれだけしんどいことがあっても自分なら乗り越えて行けると思ったし、この苦労を無駄にしたくないからその都度良いと思える道を生きていこうと思えた。
- 厳しい状況の中、目標を達成でき、日々欠かさず実行することができる自分に価値があると感じる事ができました。

➤ 自分と向き合えた、自分に対する理解が深まった

- 今まで大変そうなことから目を背けてきた自分だったが、しっかり自分の弱さと向き合

うという貴重な経験だったと思います。

- ・ 自分で自分を分析して知る機会になりました。気分が落ち込んでるときなどに、自分を客観視して効果的な回復を図ることができるようになりました。
- ・ 受験に向けて、自己 PR や長所短所を考えたことで、自分と向き合うことができたからです。
- ・ 自分という人間を知れたことです。勉強法を模索するうえで自分と向き合うことは必須だと思います。自分がどういうものが好きでどういうものにモチベーションがあり、それを踏まえどういうふうにすれば勉強を集中して効率的に継続することができるのか、日々考えていました。このような経験を経たおかげで以前の自分より成長できたと思います。

➤ 周囲への感謝の気持ちが生まれた

- ・ 私は受験を通して、周りで支えてくれる人の存在の大きさに改めて気づき、感謝の気持ちを強く持つようになりました。家族や先生方の支えがあったからこそ、最後まで努力を続けることができたと感じています。
- ・ 母はプライドが高く、金銭的な話を直接することはできませんでした。悩んでいる中、一人の友人に全てを打ち明け、それから 1 年間、受験勉強を頑張ることができました。受験で遊ぶ時間はなかったけど、友人との仲は深まり、一生大切にしていきたいと思うことができました。
- ・ 受験を通して自分は多くの人に支えられているのだとわかった。進学面で親は金銭的に厳しいながらも自分の第一志望受けさせてくれたし、先生や友達など多くの人から助けてもらった。
- ・ 周りに支えてもらっていることへの感謝の気持ち、それを伝える大切さを学んだから。
- ・ 周りの人（特に母や奨学金を支援していただいている団体や企業）の支えに助けられたとより一層感じることができたことです。自分一人では何もできず、周りの人の支えによって生きていけることが改めて身に染みてわかりました。
- ・ 仲間との絆が深くなり、受験は団体戦だというのを実感しました。教えたり教えられたりしながら過ごした日々は一生の宝になりました。
- ・ 肉体的・精神的に追い込まれても支え合って頑張ることができた友達がいたことで、最後まで走り抜くことができた。また仲間のありがたさを知った。
- ・ 友達とささえ合えること。部活の友達と毎日勉強したことから絆が生まれて最高の仲間に出会えたと連絡を取り合う時などに思う。

3.6 高校生活の満足度、勉強、家庭の経済状況

高校生活の満足度については、「とても満足している」が 46%、「まあ満足している」が 44%と、9 割が満足しているとの結果となった。

「PC を持っているか」では、「自分専用の PC を持っている」との回答が、第 1 回（受給決定時）の 32% と比べて本調査では 53% に増加している。受給生の保護者を対象としたアンケートでは、GS 奨学金の使途として大学等で使うパソコンの購入を挙げている回答者も多く、PC 所有率が上昇した理由の一つだと考えられる。

家庭の経済的な状況については、苦しいと感じている回答者が約 8 割であった（「大変苦しい」（27%）と「苦しい」（51%）の合計）。

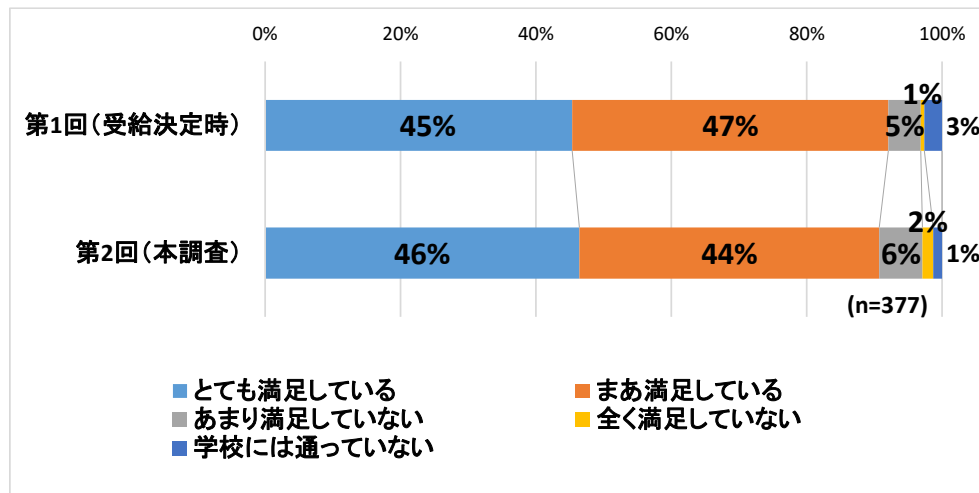


図 23 高校生活の満足度¹⁵

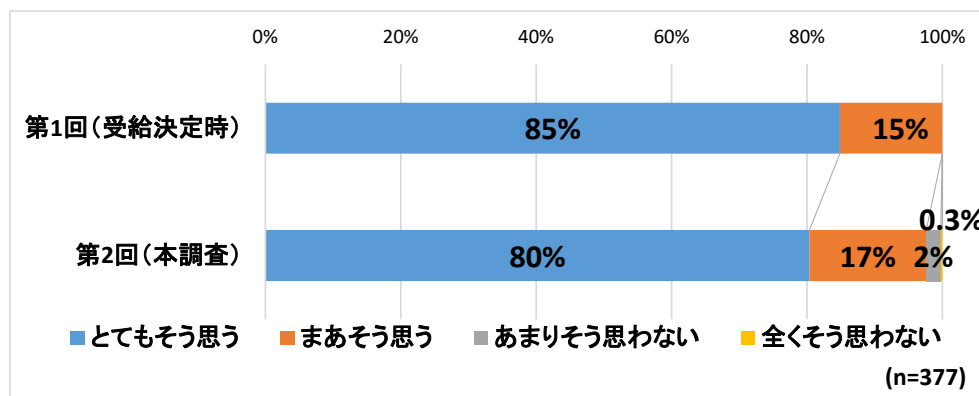


図 24 勉強を頑張りたいと思うか¹⁶

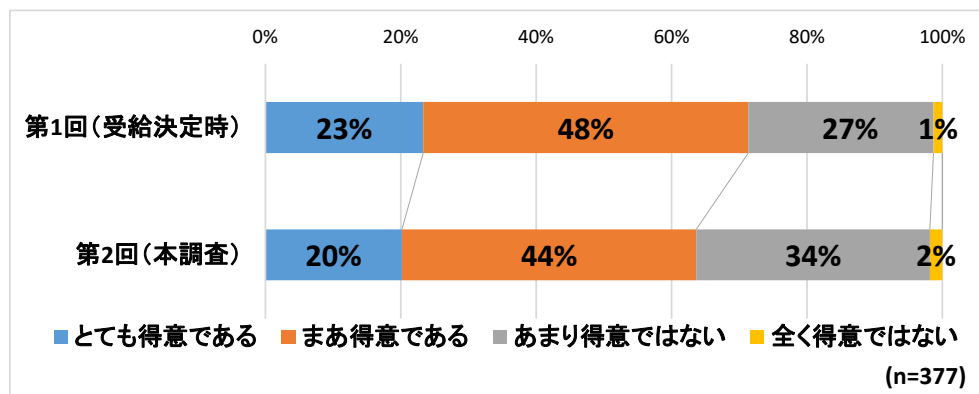


図 25 目標に向けて計画を立て、計画通り実行することは得意か¹⁷

¹⁵ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

¹⁶ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

¹⁷ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

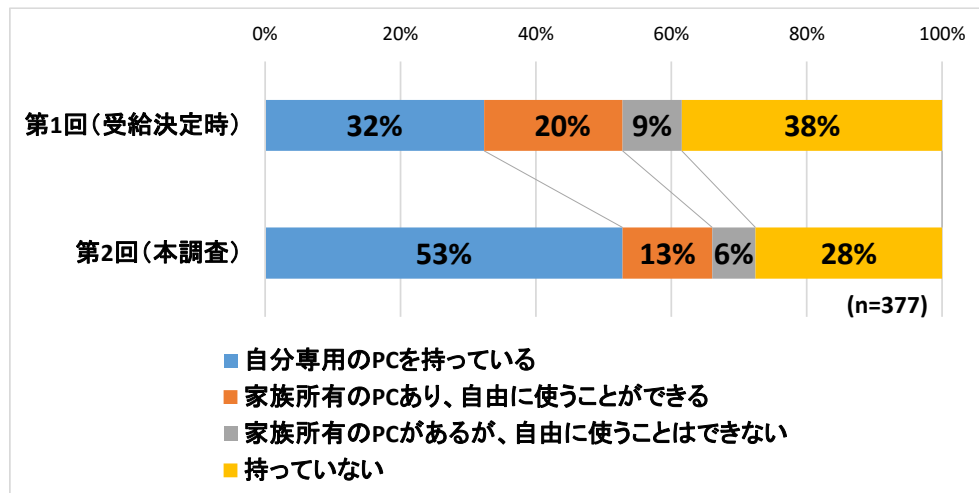


図 26 PC を持っているか¹⁸

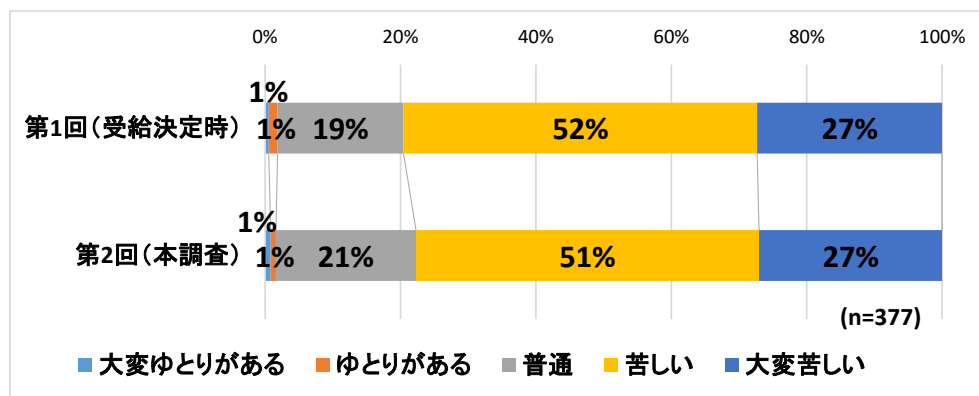


図 27 現在の家庭の経済的な状況をどのように感じているか¹⁹

3.7 GS 奨学金と受給生伴走支援

ほぼ全ての回答者が、GS 奨学金は受験の後押しになったと回答した。受給生に文房具等を送る応援パックや受験関連情報の配信といった伴走支援に対しても、「とても満足している」・「まあ満足している」との回答が多数を占めた。

支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージでは、給付型奨学金という支援に対する感謝の声が伝えられた。支援によって不安が軽くなった、安心して受験に取り組むことができた、夢だった大学進学を諦めないという選択肢を作ってくれた、将来は自身も社会に貢献したいといった回答が多く寄せられた。また、奨学金や伴走支援に対して、金銭的支えになっただけでなく精神的にも助けられた、勇気をもったといった声も複数あった。

¹⁸ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

¹⁹ 2025 年 6～9 月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

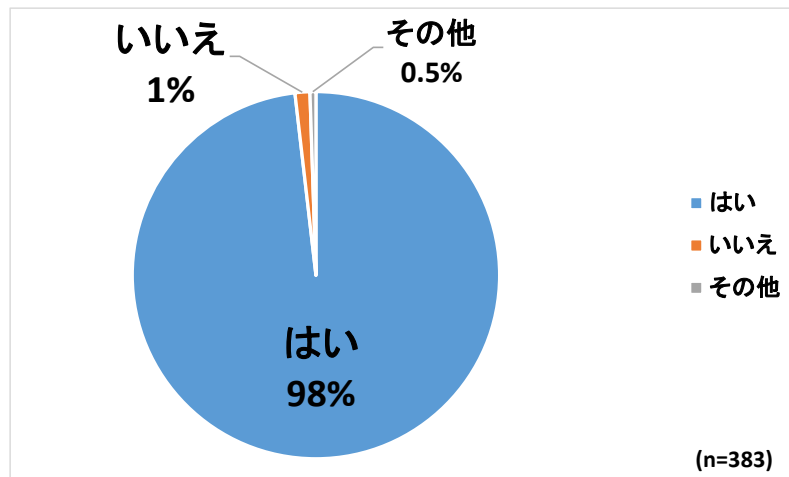


図 28 GS 奨学金は受験の後押しとなったか

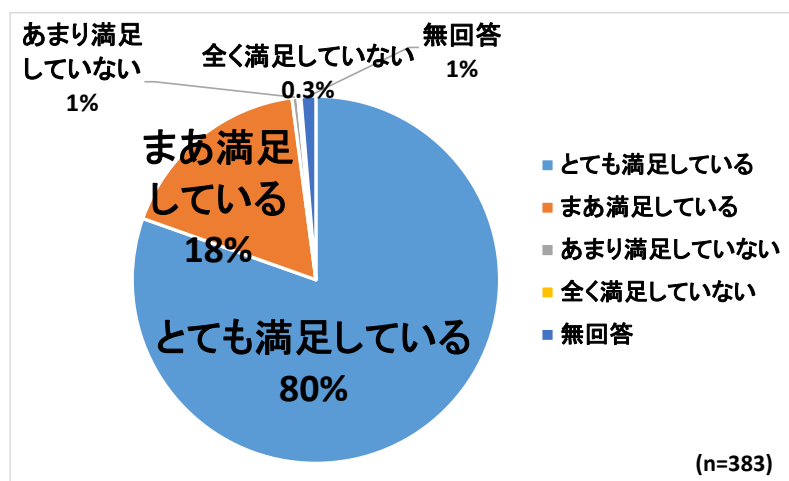


図 29 応援パックの満足度

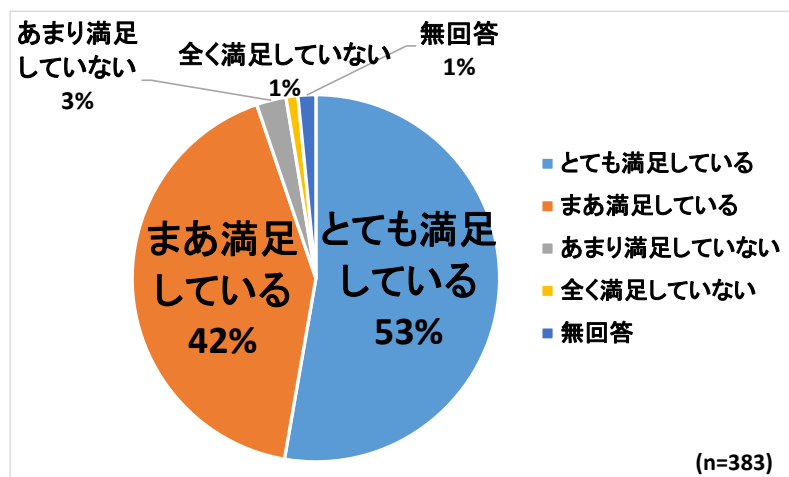


図 30 LINE での情報配信の満足度

表 6 支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージ
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

- 受験期間に大学のことを調べれば調べるほど、お金のことで不安が大きくなり、本当に進学してもいいのかと悩んだこともありました。ですが、貴社のご支援のお陰で安心して受験に取り組むことができました。お陰様で春から夢に向かって進むことができます。これからも努力し続けていきます。ありがとうございました。
- ゴールドマン・サックスのご支援のおかげで大学進学に対する不安が軽くなり、勉強により集中して取り組むことができました。大学進学後も様々なことに積極的に挑戦していきたいと思っています。本当にありがとうございます。
- この度は、奨学金という形でご支援いただき、誠にありがとうございます。父が寝たきりで、母のアルバイト収入に頼る家庭状況の中、私立大学への進学に対して大きな不安を抱えておりましたが、貴社のご支援により学びの機会を得られることに心より感謝しております。
- 支援していただいた奨学金のおかげで、受験期の経済的な不安を最小限に抑えて勉強に集中することができました。また、手厚い受験サポートもありありがとうございました。おかげさまで、無事に進学への一歩を踏み出すことができました。将来は、貴社のように社会へ新たな価値を提供できる人材になり、私と同じような境遇にある若い世代に可能性を与えられるような人になりたいです。
- 学費だけに焦点があたりがちですが、そもそも受験するのにすごくたくさんの、色々なお金がかかります。支援をしていただけてとてもたすかりました。本当にありがとうございます。このご恩をわすれず、将来は私が、私のような子供や家庭を助けられるように社会に貢献していきたいです。
- この奨学金は大学の受験料、入学金に使用させていただきました。大学進学、4年間通うことも実現しにくい状況でしたが、ゴールドマン・サックスの手厚い支援のおかげで、自身の夢の一歩を掴むことができました。感謝を忘れず、勉学に励み、将来、医療人として多くの人を助けられる人になれるよう頑張ります。
- 受験料や交通費などで入学前は金銭的な余裕がなくなります。そんなときに、入学準備金を給付していただけたということが私や家庭にとって大きな支えになりました。第一志望校への進学はなりませんでした。置かれた環境の中で最大限の成長ができるよう精進します。
- 返済不要の給付型奨学金で、夏季講習前に5万、入学前の準備費用かかる前に10万を支援してもらい本当に有り難い感謝しています。また、奨学金以外にも文具一式の支援や応援、受験アドバイスのLINE等、細かい受験支援があるのも嬉しいし役立つし感謝しています。何とか第2志望校ですが念願の経済経営を学べるので、御社には大変感謝しています。
- 母子家庭に生まれた私にとって、大学は無縁なものだと思っていました。兄弟は皆、進学していたけど私だけはそうはいかないと考えていました。ですが、奨学金を使えば大学にも行けることを親から教えてもらい、未来への期待が生まれました。こうして支援がなければ大学への道は厳しいものになっていたと思います。ありがとうございます。
- 夢だった大学進学を諦めないという選択肢を作ってくれて本当にありがとうございます。この感謝の気持ちを忘れずに、大学でも常に目標を作り、成長していく人間でありたいと思っています。
- 浪人が決まった瞬間、再受験にかかる費用の工面という問題が頭をよぎりました。しかし、奨学金という後押しを得たことで、自分の夢に向かって真剣に向き合う力が湧いてきました。浪人期間中は、その気持ちを大切にしながら、毎日の勉強に励み続けました。そして第一志望の大学への合格通知を受け取ったとき、努力が報われた喜びとともに、支えてくれた人々への感謝が込み上げました。今回給付奨学金の支援をしてくださり、ありがとうございました。毎日夜遅くまで受験勉強をしたり、模試の成績が思うように上らず辛い時期もありました。しかし、合格後の

10 万円給付や応援してくださるゴールドマン・サックスの方々の気持ちがモチベーションとなり、最後まで頑張り切ることができました。本当にありがとうございました。

- 今回の受験奨学金のお陰で、県外への受験の交通費宿泊費、受験料に使わせて頂きありがとうございました。経済的困窮のためあきらめてた進学をもう一度よく考えて諦めずに進めることに希望がもてました
- 受験で、受験料や、現地までの旅費等、支援金があるという強みがあった。すべては賄う事はできなかったが、金銭的な負担が、心理面でも軽減することができたので、ありがたかった。
- いただいた奨学金で模試を受けたり参考書を買ったりすることができたおかげで、塾へ行かずに大学に合格することができました。本当にありがとうございました。
- いただいた奨学金は教材費に使いました。奨学金とちょうど同額で、この奨学金がなければ教材費を用意できなく、とても困ったと思います。本当に感謝しております。教材は大切にに使わせていただきます。
- 採用していただきましてありがとうございました。おかげさまで、受験料の支払い、入学式用のスーツを無事購入する事ができました。大学で自分の研究したい分野を学べる事がとても楽しみです。
- 奨学金だけでなく、大学入試に関する情報のご提供や、職員の皆様からの温かいメッセージ、さらには文房具などの贈り物など、様々な支援をくださりありがとうございます。受験期の金銭的支えになっただけで無く、精神的にも大変助けられました。
- 受験準備金と入学準備金だけでなく、文房具やノート、カイロ、キットカットなどの支援、そして合格を応援するメッセージに大変支えられ、勇気を貰いました。何度も大学進学を諦めて就職することを考えていましたが、諦めずに続けてきて本当に良かったと思います。大学に進学できることが本当に嬉しいです。今後社会に貢献できる人材になれるよう、大学でも勉強に励みます。本当にありがとうございました！！
- PC 購入費や交通費等が必要になって改めて金銭支援をしていただいたことへのありがたみが感じられました。また、私は文房具にお金をかけたことが無かったので7月頃に頂いた質の良いシャープペンシルを手にして、芯が折れることがなくなり、勉強へのモチベーションが大きく変わりました。お金を使い物を買うということを躊躇いがちだった私にとって、既に形になった物を与えられるということは非常に意味があったと思います。金銭面でも精神面でも力強く支えてくださり本当にありがとうございました。
- 1年間たくさんのご支援ありがとうございました。1番初めに文房具が届いた時はとても驚き喜んだことを覚えています。今でも大切にに使わせていただいています。おかげさまで大学に進学することができます。いただいたご支援に対しいつかお返しができますよう、4年間一日一日を大切に過ごして参ります。
- 私自身、住んでいる地域が辺鄙な土地ということもあり、電車代等の負担が多かったため、当企業の支援が本当に助かりました。
- 入学準備金をいただき、本当に感謝しています。私のような家庭環境の方達へこの奨学金を知ってもらい必要な方へ必要な支援を繋いでほしいと思います。ありがとうございました。
- このような奨学金制度を実施してくださり、私はとても救われました。様々な家庭事情などで受験を諦めてしまう人は少なからずいると思います。そんな中このような奨学金制度を設けて下さったことにより、沢山の受験生に夢を与えられた事だと思います。
- 奨学金のおかげで私は大学に進学することができました。私は他の奨学金も受給していますが、そこで出会った後輩も奨学金を必要としています。この奨学金が次の世代にも残って欲しいと思っています。

以上

認定 NPO 法人キッズドア ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金 受給生アンケート

2026 年 7 月 認定 NPO 法人キッズドア

2022 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生を対象に、2025 年度の状況、進学後の生活や進路、現在の気持ち、困っていること等についてアンケート調査を実施した。調査及び結果について、以下のとおり報告する。

1. アンケート調査について（概要）

- 目的：高校を卒業した困窮家庭の子どもに対し、高校卒業後の生活や気持ち、悩み等を調査することで、進路選択の影響を把握し、奨学金事業の長期的な効果検証、高校卒業後に求められる支援策の検討につなげること。
- 対象：2022 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生
- 調査期間：2026 年 3 月 31 日～5 月 7 日
- 回答数：受給生 34 件

2. 調査結果まとめ

大学や専門学校に進学したほとんどの回答者が、進学したことを肯定的に捉えており、学生生活の満足度も高い。また、進学による将来の選択肢の広がりも感じている。この背景には、大学での専門的な学び、就職に役立つ資格の取得、多様な友人たちとの交流等があり、進学が困窮家庭の子どもにポジティブな影響をもたらしたことは確かだと考えられる。一方で、経済的な苦しさを抱えている回答者も半数近くおり、約 8 割が将来への不安を感じているなど、今後の学生生活や卒業後の自立に向けて懸念される点も見られた。

- 回答者の属性
 - 2025 年度の状況は「大学生・短期大学生・3 年制大学生」が全体の約 9 割と最多。
 - 暮らしの経済的な状況は「普通」が半数と最多、「大変苦しい」・「やや苦しい」の合計が 47%。
- 進学後の生活
 - 進学した回答者の全てが、大学や専門学校に進学したことを肯定的に捉えており、大学や専門学校での生活についても 97%が満足していると回答。
 - 大学や専門学校で力を入れていることでは、「専攻した内容の勉強・ゼミ活動」（75%）が最も多く、「部活動・サークル活動」（34%）が続いた。
 - 大学や専門学校に進学して良かったと思う理由では、学びたいことを学べていること、学びが将来の就職につながっていること、多様な友人等との交流による視野の広がりなどが挙げられた。以下に回答の一部を掲載する。
 - ✓ 大学では興味がある分野の勉強ができ、大学によっては、就職に備えた実践的な学びを得られるため。
 - ✓ 自分が興味を持ったことを幅広く学べた。また、さまざまな地域出身の友人との交流で視野が広がられた。

- 卒業後の進路
 - 卒業後の進路希望は、約 9 割が就職、1 割が大学院進学。
 - 進路選択で重視するものは、「経済的安定・生活の安定」(69%)、「自分の興味・関心」(44%)、「社会や人の役に立てる」(31%) など。また、大学や専門学校での経験のうち進路選択に影響しているもののトップは「授業・ゼミ」(81%)。
 - 94%が進学によって将来の選択肢が広がったと感じており、その理由としては、専門的な知識や経験を得られたこと、資格を取得できること、学びやそこで出会った人を通して自分のやりたいことが明確になったり視野が広がったことなどが挙げられた。以下に回答の一部を掲載する。
 - ✓ 高校時代では専門的な知識や経験がとても少なかったが、大学で培ったことにより就職の幅が広がった。
 - ✓ 資格取得のための実習を行う中で様々な支援者・関係機関の方々、ご利用者様に会い、卒業後の進路について、視野が広がったため。
- 現在の自身の気持ち
 - 「勉強を頑張りたいと思う」(前向きな回答の割合: 100%)、「自分には夢や目標を叶える力があると思う」(同 94%)、「困っているとき周囲の大人や友人が助けてくれると思う」(同 73%)、「困ったときに人に相談する」(同 71%)で、前向きな回答の割合が高い一方で、「今の社会は公正だと思う」(同 41%)、「自分の将来に不安を感じている」(同 21%)は前向きな回答が半数を下回った。
 - この 1 年での気持ちや行動の変化として、半数が「卒業後に就きたい職業など目標ができた」を選択。「将来に向けて専門的な勉強や資格取得に向けた勉強を始めた」(41%)、「以前より自分の将来に希望が持て、頑張ろうと思うようになった」(38%)、「人に相談したり、助けてもらったりすることが増えた」(35%)も 3~4 割程度が選択した。
- 困っていることや悩みごと
 - 経済的な問題が複数挙げられ、物価高騰の中で学費や生活費の工面に不安を抱えている様子が伝えられた。

3. アンケート結果

3.1 基本属性

2025年度の状況として最も多いのは、「大学生・短期大学生・3年制大学生」(91%)で、全体の約9割を占めた。また、現在の暮らしの経済状況については、「普通」(50%)が半数と最も多い。「苦しい」(29%)、「大変苦しい」(18%)を合わせると、経済的な苦しさを感じている回答者が47%となっている。

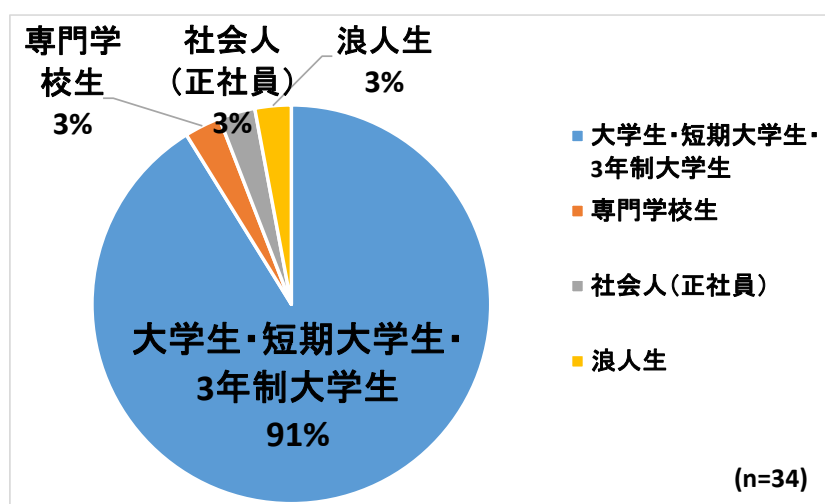


図 1 2025年度の状況

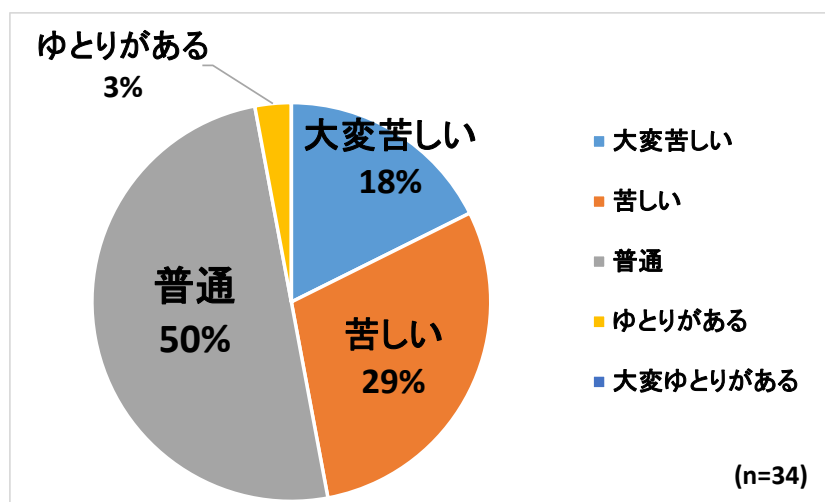


図 2 現在の暮らしの経済状況

3.2 大学や専門学校への進学後の生活

回答者のうち大学や専門学校に進学した94%を対象に、進学後の生活について聴取した。全員が進学して良かったと感じており（「とてもそう思う」(97%)と「まあそう思う」(3%)の合計）、大学や専門学校での生活についても97%が満足していると回答した（「とても満足している」(72%)と「まあ満足している」(25%)の合計）。大学や専門学校で力を入れていることでは、「専攻した内容の勉強・ゼミ活動」(75%)が最も多く、「部活動・サークル活動」(34%)が続いた。

進学して良かったと思う理由としては、「自分の学びたいことを学べていることが嬉しい」といった学

びに関すること、さらに、それが将来の就職にもつながっていることを挙げる回答が多く寄せられた。また、多様な友人等との交流による視野の広がりについて触れた回答も見られた。

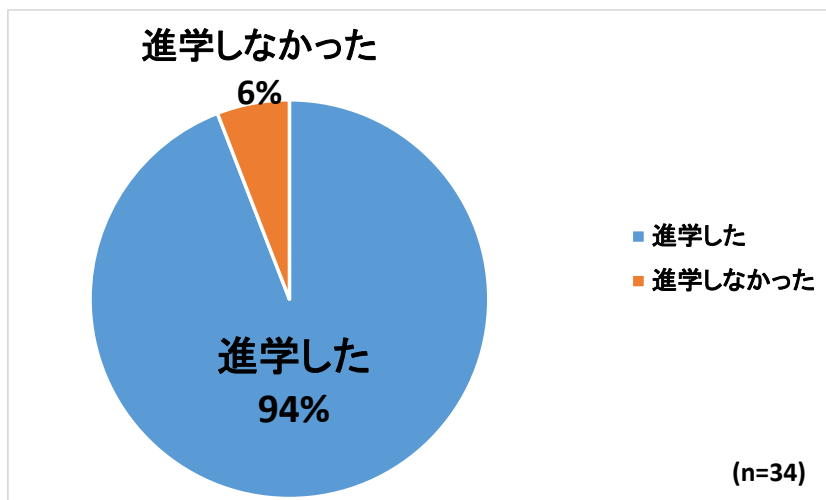


図 3 大学や専門学校に進学したか

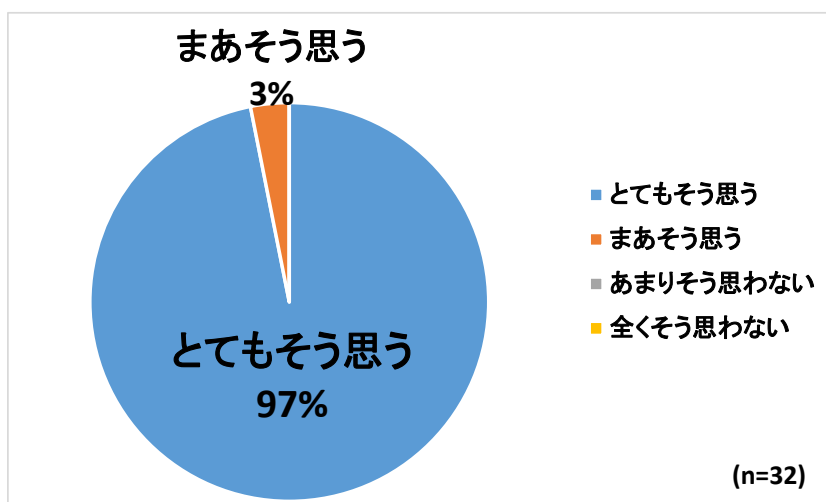


図 4 大学や専門学校に進学してよかったと思うか¹

¹ 大学や専門学校に「進学した」と回答した方が対象。

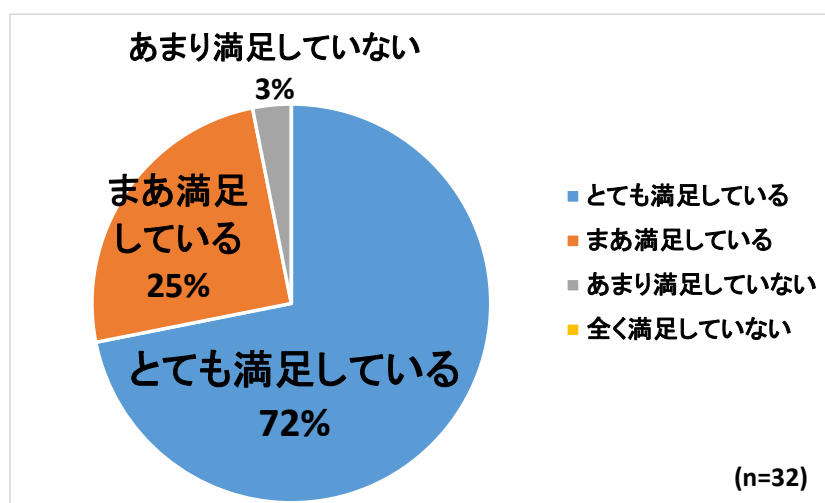


図 5 大学や専門学校での生活の満足度²

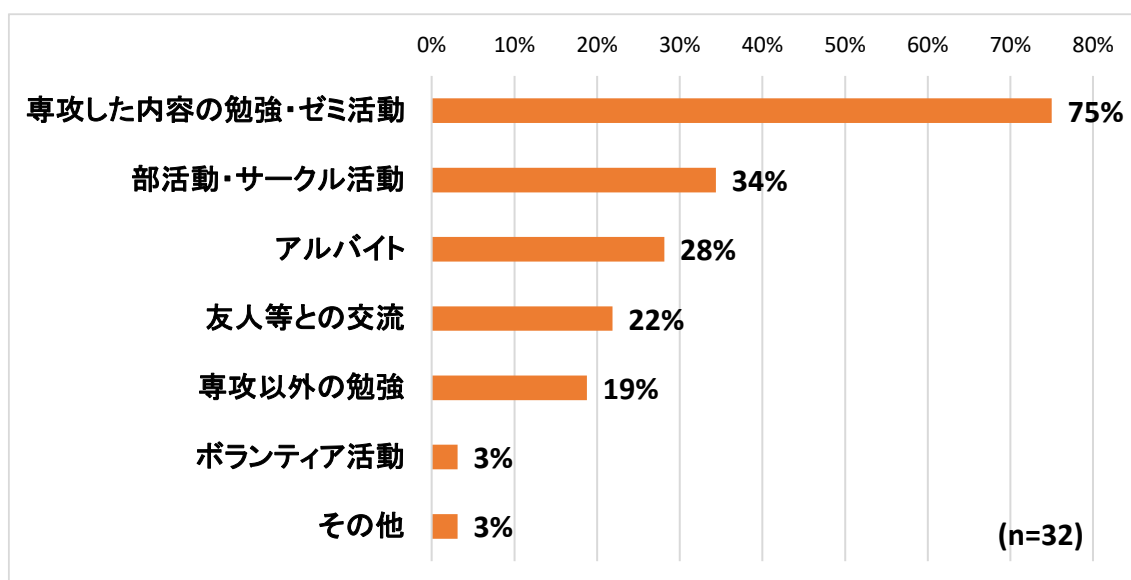


図 6 大学や専門学校で力を入れていること（最大 2 項目までの複数回答）³

表 1 大学や専門学校に進学をしてよかったと思う理由
（自由記述、一部抜粋・引用者にて編集）

- 自分の学びたいことを学べていることが嬉しい。
- ゼミで海外に行く機会があり、自分の専門分野を研究できている。
- 大学でしか勉強できないことを学べているから。
- 自分が将来やりたいことに関する勉強を専門的にできるから。
- 勉強を通じて、思考力や文章力などの基礎能力を高められ、大学に入って自分自身が変わったと成長を大きく感じられるから。
- 大学では興味がある分野の勉強ができ、大学によっては、就職に備えた実践的な学びを得られるため。
- 将来の夢を叶えるための資格を取る勉強ができているため。

² 大学や専門学校に「進学した」と回答した方が対象。

³ 大学や専門学校に「進学した」と回答した方が対象。

- 大学では、興味のある学問を追求できると同時に学んだ内容が少なからず就職活動に役立つため。
- 自分が興味を持ったことを幅広く学べた。また、さまざまな地域出身の友人との交流で視野が広がられた。
- 自分の関心に基づいて学びを深められ、自学の時間が取れるから。志の高い友人に出会い、努力する楽しさを実感できたから。
- 高校以上に関わる人が多く、またその性質も多様で刺激が多い。
- 視野が広がり、自分の可能性を見つけられたから。
- バイトなどを通じて、自分を見直し、本当に自分のやりたい事を見つけることができたから。

3.3 卒業後の進路

卒業後の進路の希望として最も多かったのは、「就職（就職したい会社や業種・職種を決めている）」（78%）であり、「就職（これから就職先を検討する）」（9%）も合わせると、全体の約9割が就職を希望している。「大学院進学」（10%）との回答も1割あった。

進路選択で重視するものとしては、「経済的安定・生活の安定」（69%）が約7割と最も多く、「自分の興味・関心」（44%）、「社会や人の役に立てる」（31%）が続いた。また、大学や専門学校での経験のうち進路選択に影響しているもののトップは「授業・ゼミ」（81%）であった。「アルバイト」（34%）や「大学や専門学校で知り合った友人や先輩後輩」（34%）も3割を超えた。

進学によって将来の選択肢が広がったと感じるかとの質問には、94%が肯定的な回答をしている（「とてもそう思う」（81%）と「まあそう思う」（13%）の合計）。その理由としては、専門的な知識や経験を得られたこと、資格を取得できること、大卒が志望する企業や職種に必要なことなどが挙げられた。また、学びやそこで出会った人を通して、自分のやりたいことが明確になった、視野が広がったことを理由として伝える回答もあった。

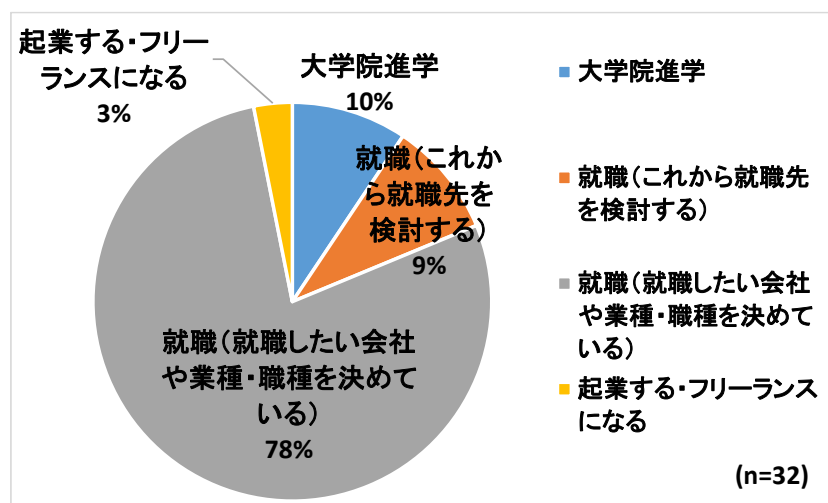


図 7 大学や専門学校卒業後の進路希望⁴

⁴ 大学や専門学校に「進学した」と回答した方が対象。

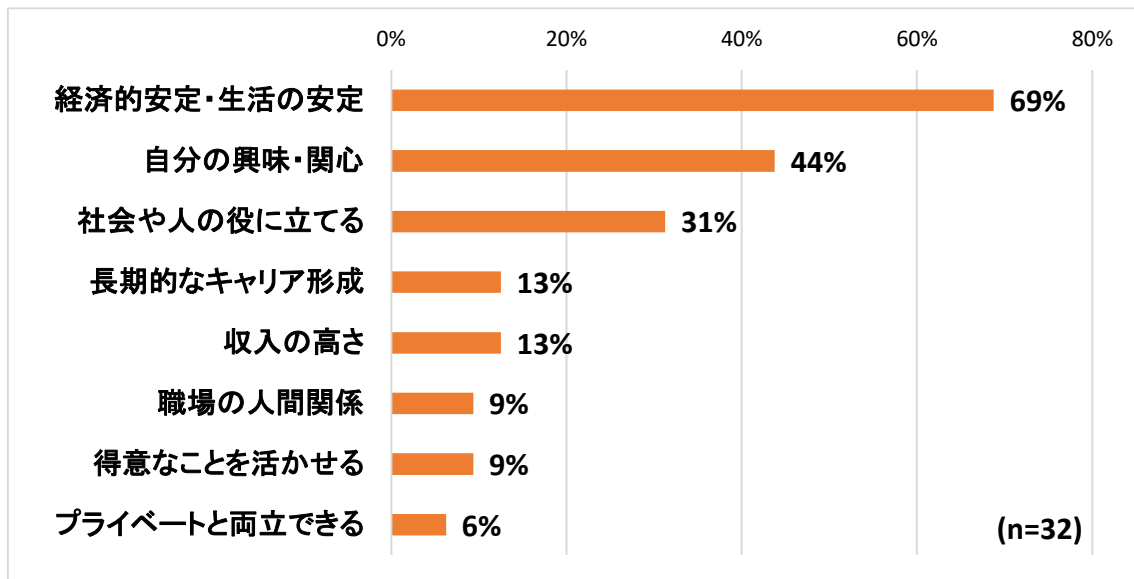


図 8 希望する進路の選択で重視するもの（最大 2 項目までの複数回答）⁵

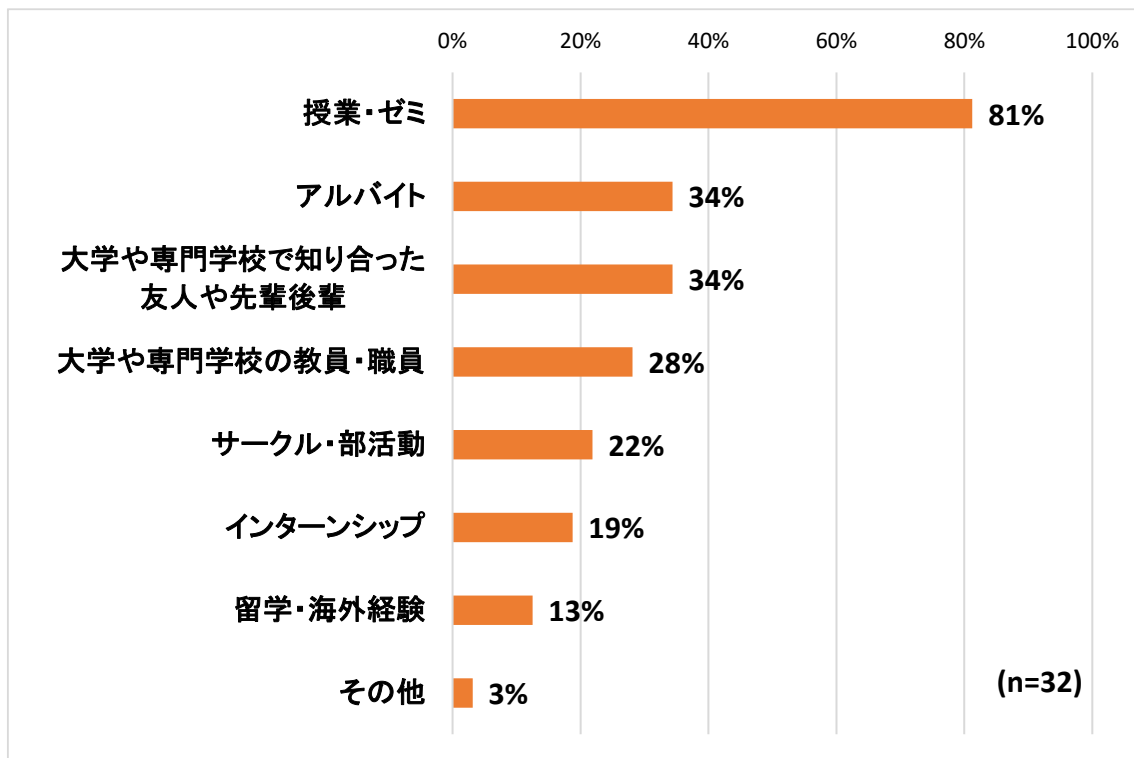


図 9 大学や専門学校での経験のうち進路選択に影響しているもの（複数回答）⁶

⁵ 大学や専門学校に「進学した」と回答した方が対象。

⁶ 大学や専門学校に「進学した」と回答した方が対象。

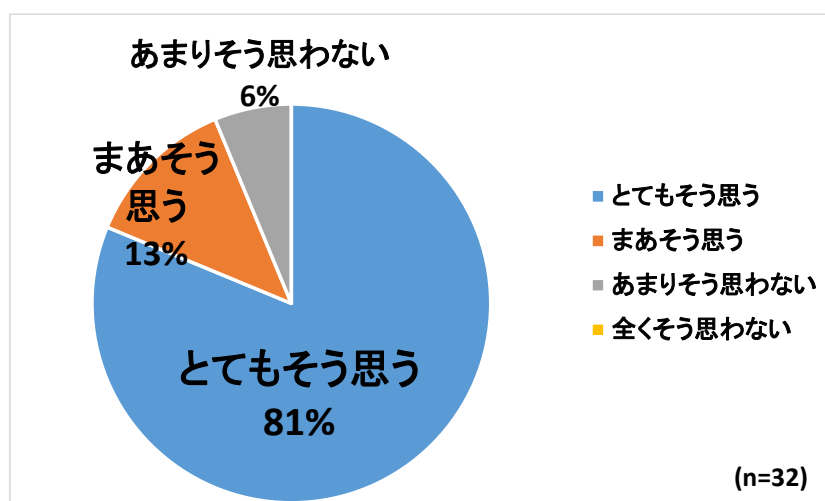


図 10 大学や専門学校に進学したことで将来の選択肢が広がったと感じるか⁷

表 2 大学や専門学校に進学をして将来の選択肢が広がったと思う理由
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

- ・ 高校時代では専門的な知識や経験がとても少なかったが、大学で培ったことにより就職の幅が広がった。
- ・ 就職に役立つ技術を身につけることができた。就職の援助を受けることができた。
- ・ 資格取得（見込み）によって、色々な職業への道がひらけたと思います。また、今まで詳しくなかった職業への理解も深まりました。
- ・ 看護師の資格を取るために進学したが、成績が上位だと助産師の資格取得にも挑戦できるため、勉強を頑張っている。
- ・ 教育学部なこともあり、進路自体は学校から変化していないが、その中でも特別支援教育など進学前に知らなかったことを学び、実践していきたいと感じたから。
- ・ 志望企業はほぼ全て「大卒」であることを条件としていたため。
- ・ 大学に進学しないと進むことのできない職業に就く予定だから。
- ・ 大学での学びを通して、自分のやりたいことを明確に出来たから。
- ・ 資格取得のための実習を行う中で様々な支援者・関係機関の方々、ご利用者様に会い、卒業後の進路について、視野が広がったため。
- ・ 就職に役立つ講義を通じて、自己分析や適性診断、卒業生の先輩方から勤められている仕事先と就職活動に関する話を聞いて、ホテル業界や小売業界への関心を持ち、それらも進路の道の一つとして考えているから。

3.4 現在の自身の気持ち

これまで、2022年度受給生に対しては、奨学金受給決定後と受験終了後、受験から1年後、本調査（受験から3年後）の4回の調査を実施している。現在の自身の気持ちを尋ねる10の項目について、各質問への前向きな回答の割合を

に整理した。

本調査について着目すると、前向きな回答の割合が高いのは、「勉強を頑張りたいと思う」（100%）、「自分には夢や目標を叶える力があると思う」（94%）、「困っているとき周囲の大人や友人が助けてくれると

⁷ 大学や専門学校に「進学した」と回答した方が対象。

思う」(73%)、「困ったときに人に相談する」(71%)であった。逆に、「今の社会は公正だと思う」(41%)、「自分の将来に不安を感じている」(21%)は前向きな回答が半数を下回った。

この1年での気持ちや行動の変化としては、半数が「卒業後に就きたい職業など目標ができた」を選択した。「将来に向けて専門的な勉強や資格取得に向けた勉強を始めた」(41%)、「以前より自分の将来に希望が持て、頑張ろうと思うようになった」(38%)、「人に相談したり、助けてもらったりすることが増えた」(35%)も3～4割程度が選択した。

表 3 各質問への前向きな回答の割合（()内の数字は前回調査比）

質問項目	第1回 (受給 決定後)	第2回 (受験 終了後)	第3回 (受験か ら1年後)	第4回 (本調査)
周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えている (「とてもそう思う」・「まあそう思う」)	85%	74% (-11)	75% (+1)	58% (-17)
困っているとき周囲の大人や友人が助けてくれると思う (「とてもそう思う」・「まあそう思う」)	88%	89% (+1)	86% (-3)	73% (-13)
困ったときに人に相談する (「必ず相談する」・「ときどき相談する」)	75%	71% (-4)	75% (+4)	71% (-4)
自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもある (「全くそう思わない」・「あまりそう思わない」)	59%	45% (-14)	55% (+10)	55% (±0)
自分には夢や目標を叶える力があると思う (「とてもそう思う」・「まあそう思う」)	88%	86% (-2)	79% (-7)	94% (+15)
自分の将来に不安を感じている (「全くそう思わない」・「あまりそう思わない」)	26%	20% (-6)	21% (+1)	21% (±0)
大人になるのが楽しみ (「とてもそう思う」・「まあそう思う」の合計)	76%	61% (-15)	59% (-2)	50% (-9)
今の社会は公正だと思う (「とてもそう思う」・「まあそう思う」の合計)	36%	26% (-10)	32% (+6)	41% (+9)
勉強を頑張りたいと思う (「とてもそう思う」・「まあそう思う」)	99%	99% (±0)	98% (-1)	100% (+2)
目標に向けて計画を立て、計画通り実行することは得意 (「とても得意である」・「まあ得意である」)	71%	62% (-9)	61% (-1)	62% (+1)

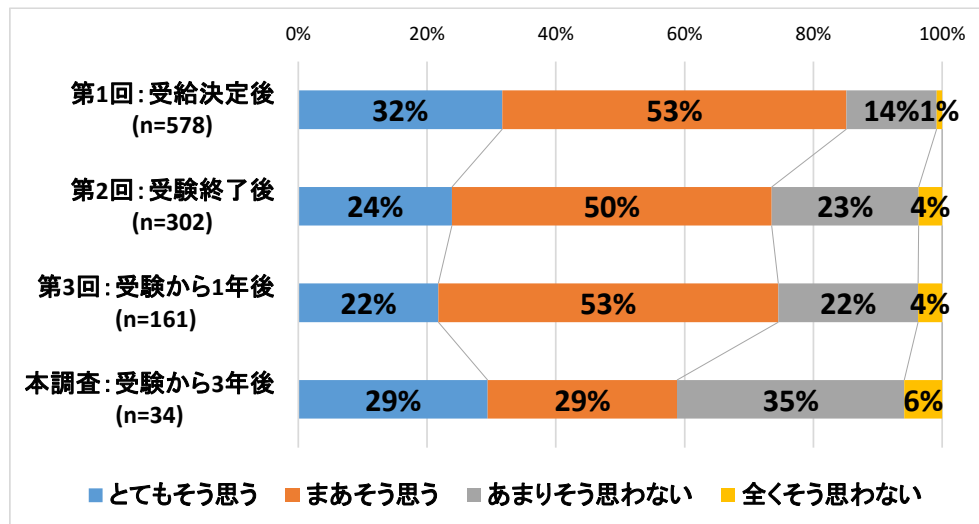


図 11 周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えているか

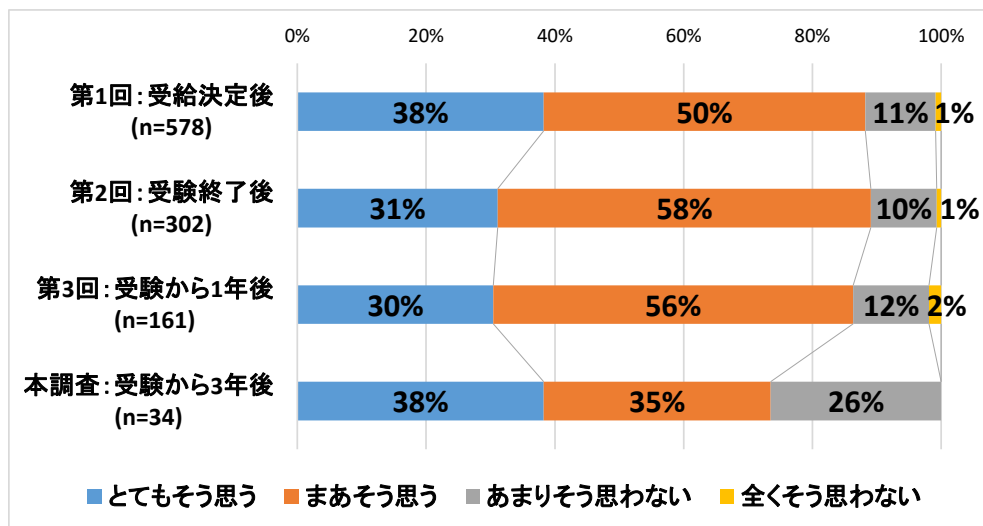


図 12 困っているとき周囲の大人や友人たちが助けてくれると思うか

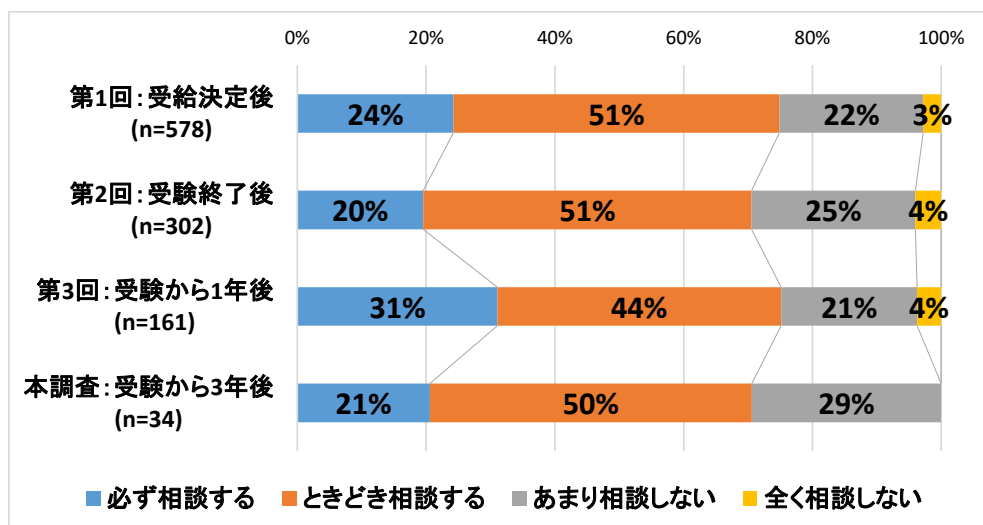


図 13 困ったときに人に相談することはどれくらいあるか

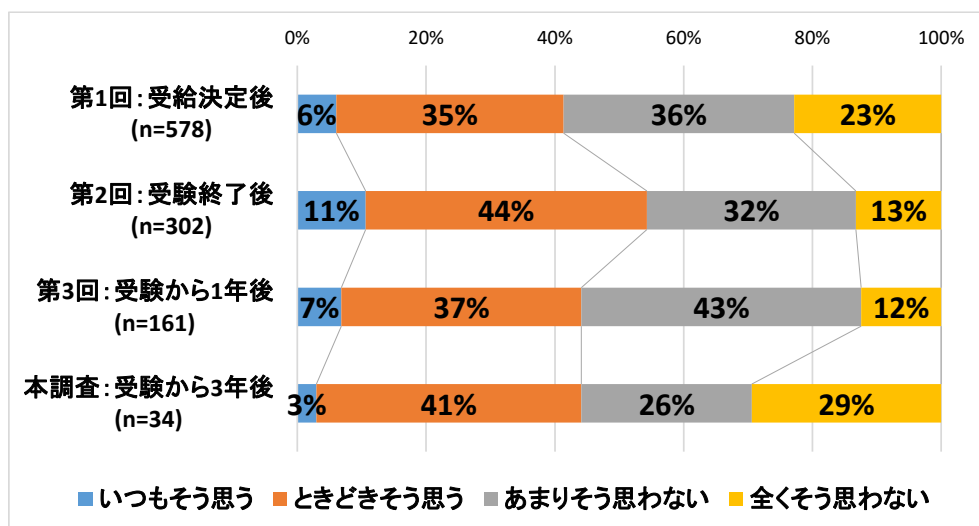


図 14 自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもあるか

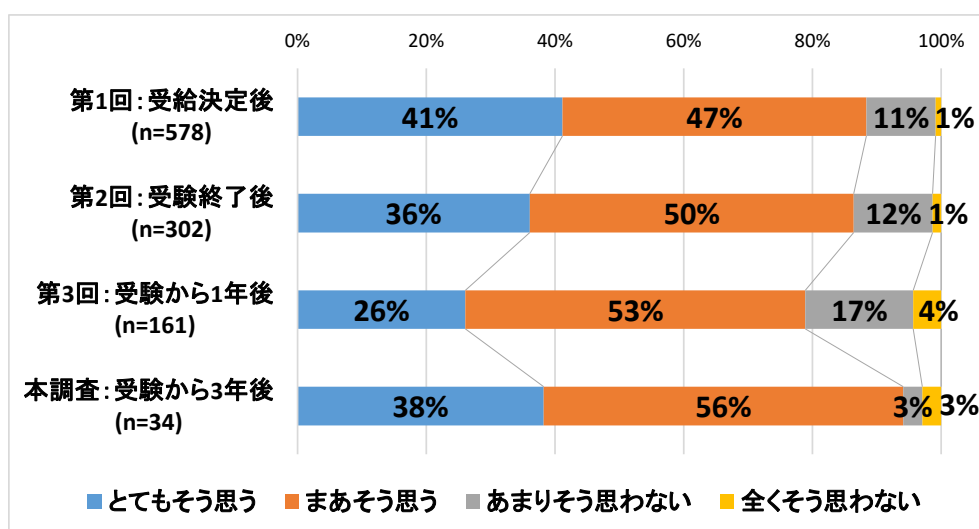


図 15 自分には夢や目標を叶える力があると思うか

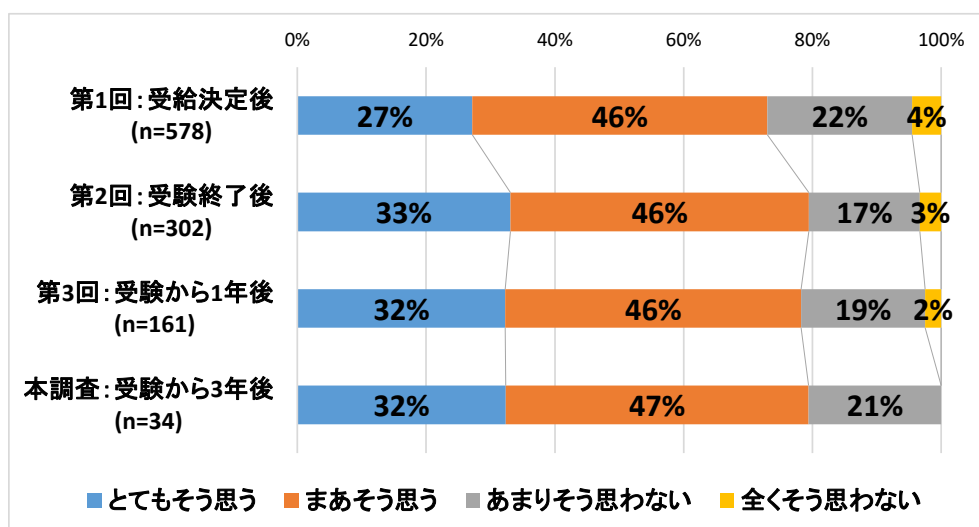


図 16 自分の将来に不安を感じているか

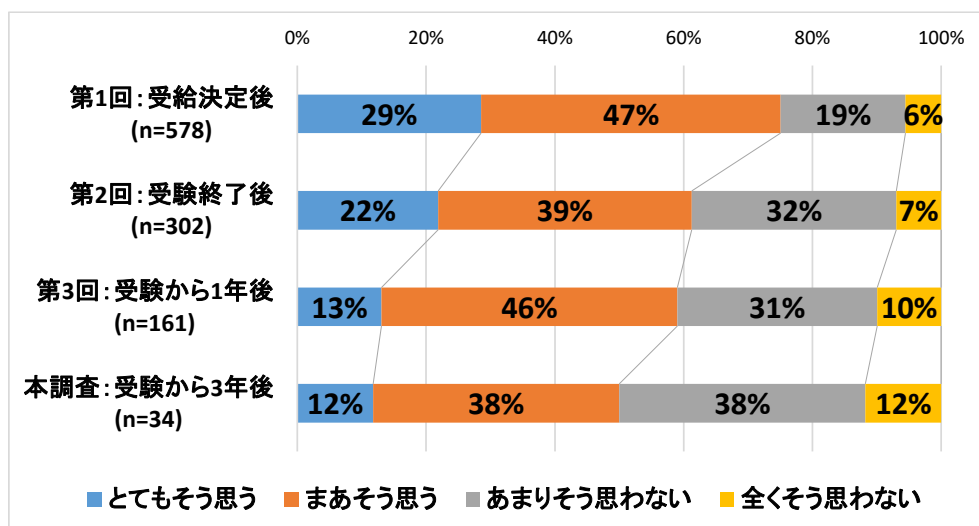


図 17 大人になるのが楽しみか

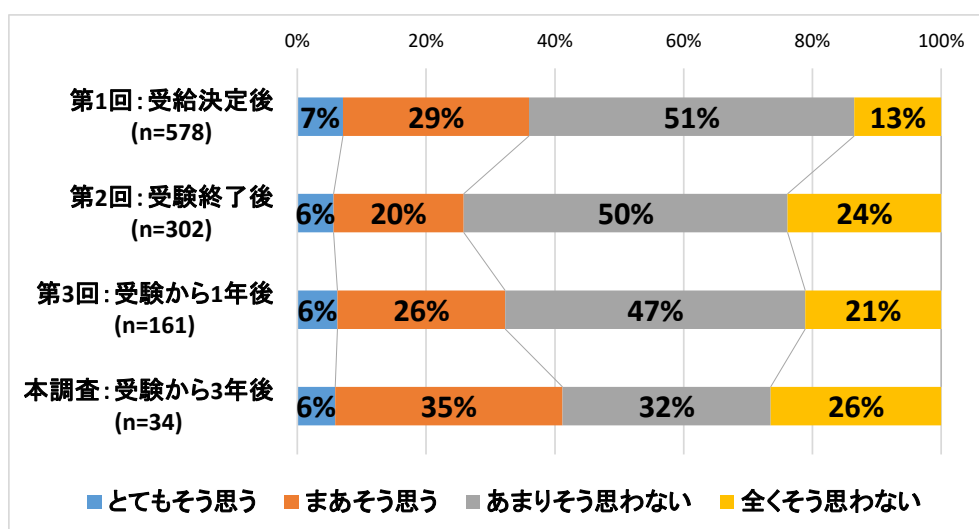


図 18 今の社会は公正だと思うか

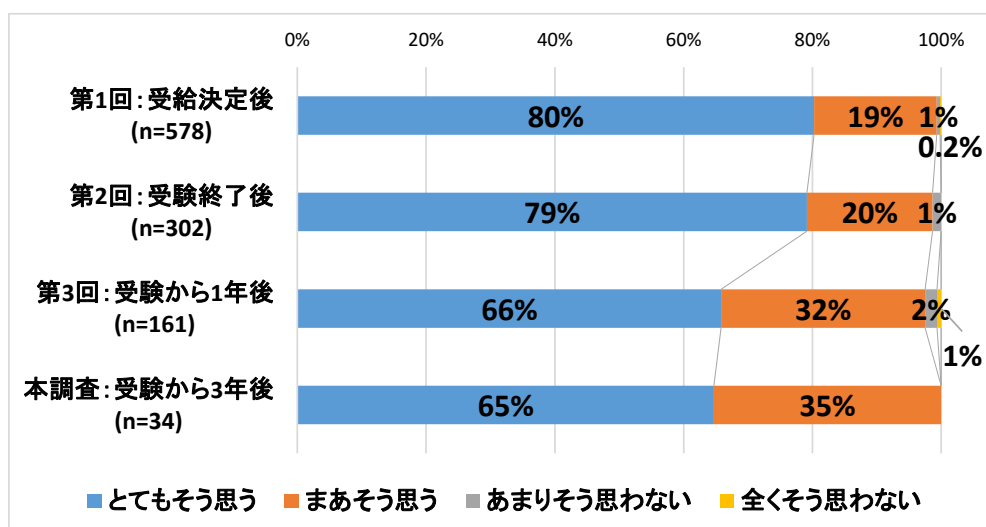


図 19 勉強を頑張りたいと思うか

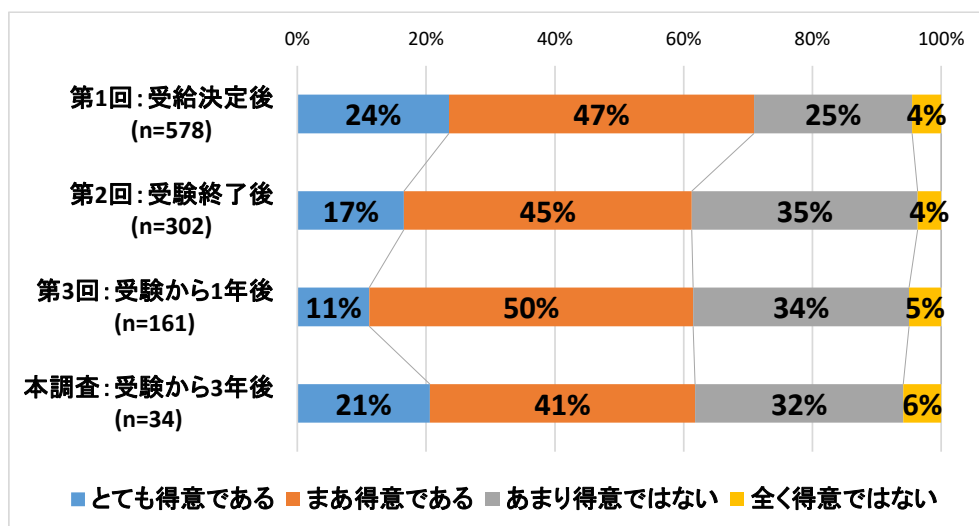


図 20 目標に向けて計画を立て、計画通り実行することは得意か

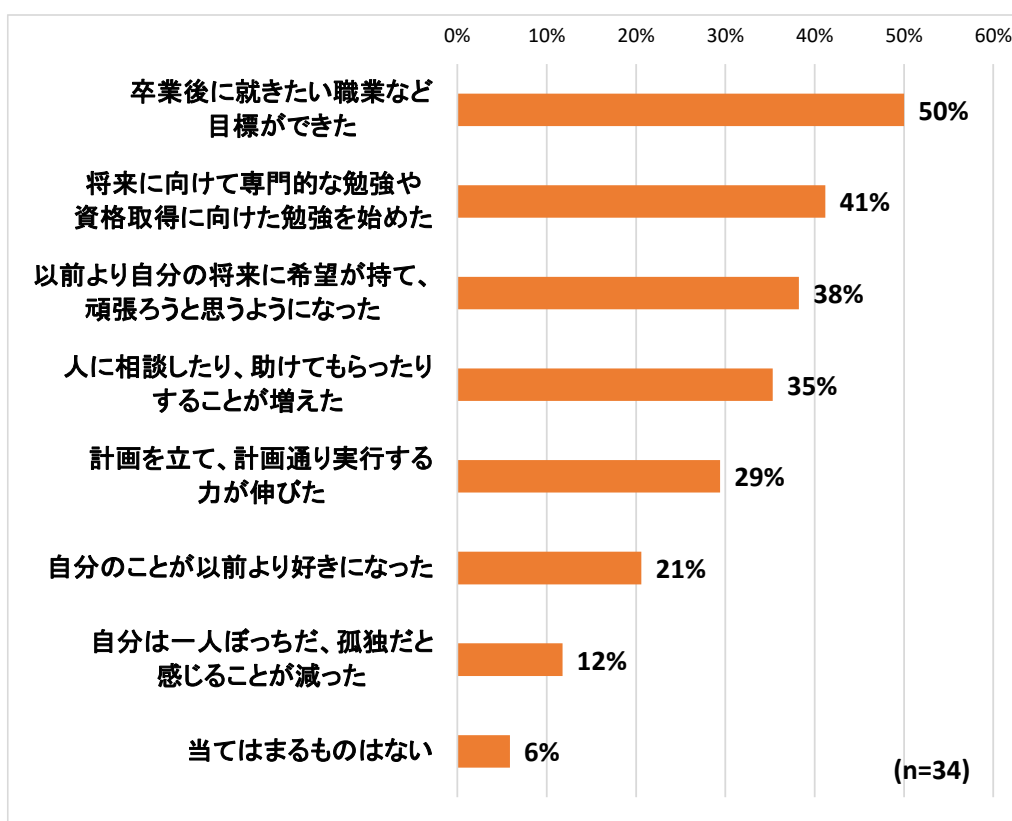


図 21 この1年での気持ちや行動の変化（複数回答）

3.5 困っていることや苦勞していること

困っていることや苦勞していることでは、経済的な問題が複数挙げられた。物価高騰の中で、学費や生活費の工面に不安を抱えている様子が伝えられた。

表 4 困っていることや苦勞していること
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 頼りたくても頼れない、理解されないと思ってしまい、自分を苦しめることが多々あります。また、値上げ続きで家計が厳しく、カリカリしてしまいます。・ 学費や生活資金がなく困っている。・ 経済的援助が欲しいです。・ 物価高騰を始め、生活全般にかかる費用が大きく値上がりしているため、母と二人で生活するにしても大変苦勞しています。少しでもお金がかからないよう、節約などを駆使して試行錯誤していますが、厳しい現状にいます。今後の社会情勢を鑑みても、この現状はさらに厳しいものとなり、長期化することが伺えます。私と同じ現状、それ以上に厳しい現状の世帯が少しでも経済・生活面における負担が減るような支援をお願いしたいです。・ 現在、就職活動に苦戦しておりますが、キッズドアの方々のおかげで今の土俵に立てていると感じます。・ 今の自分があるのは、あの時支えて下さったからです。本当にありがとうございました。自分自身、これから社会や困っている方々の力になれるように頑張ります。・ 大学進学にはキッズドアさんの奨学金にとっても助けられました。ありがとうございました。 |
|--|

以上

